

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのう
え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつ
でも見られるところに必ず保管してください。

HDV
HDV 1080i

DVCAM™

Mini **DV** Digital
Video
Cassette

InfoLITHIUM™ **L**
SERIES

HVR-Z1J

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9～13ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくためには、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使用を中止する

ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら



- ① 電源を切る。
- ② バッテリーを外すか、電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

別売りのアクセサリキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリキットの取扱説明書をご覧ください。

使えるビデオカセット

本機はHDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。

HDV規格とは

- DV規格カセットにデジタルハイディフィニション（HD）映像の記録・再生ができます。
- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です。

👁️ ちょっと一言

- 本機では「HDV規格」の中で、有効走査線数1080本を実現するHDV規格の1080i方式を採用しています。記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

録画・録音について

- 必ず事前のためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がさ

れなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶パネル、ファインダーおよびレンズについて

- 液晶パネルやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れる、または白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶パネルやファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

他機で再生するときのご注意

HDV規格で記録したテープは、HDV規格に対応していない機器で再生することができません。

他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

他機との接続についてのご注意

i.LINKケーブルなどで本機と他の機器やパソコンなどをつなぐ場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

本書について

- 液晶パネルやファインダーの映像を説明するのにスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

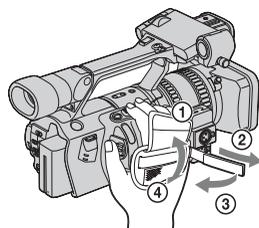
画面イラストは、 (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] を60iに設定したときの画面表示を元に作成しています。

電波障害自主規制について

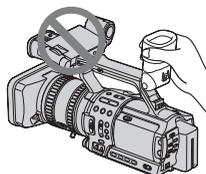
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の扱いかたについて

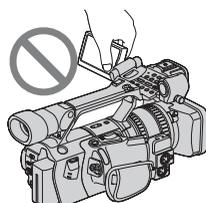
グリップベルトをしっかりとめて使ってください。



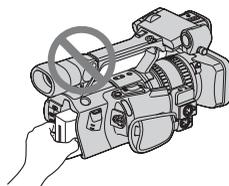
- 次の部分をつかんで持ち上げないでください。



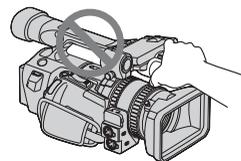
ファインダー



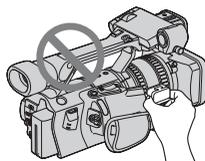
液晶パネル



バッテリー



マイク



端子ホルダー

目次

安全のために	2
はじめにお読みください	3
⚠ 警告	9
⚠ 注意	10
電池についての安全上のご注意とお願い	12
本機の性能を保持するために	13

早分かりガイド

撮影する	14
------------	----

準備する

準備 1 付属品を確かめる	16
準備 2 バッテリーを充電する	17
コンセントにつないで使うときは	19
準備 3 POWER スイッチを入れる	20
準備 4 液晶画面やファインダーを見やすく調節する	21
液晶画面を見やすく調節する	21
ファインダーを見やすく調節する	21
準備 5 時計を合わせる	22
準備 6 カセットを入れる	24

撮る

撮影する	25
使用できるカセット	27
ズームする	27
対面撮影する	29
撮影情報を表示する—ステータスチェック	29
明るさを調節する	30
逆光補正する	30
強い光が当たっている被写体を撮る—スポットライト	31
自然な色合いに調節する—ホワイトバランス	31

目次 (つづき)

手動調節で撮る	33
アイリスを調節する	33
ゲインを調節する	34
シャッタースピードを調節する	35
光の量を調節する—ND フィルター	35
ゼブラパターンを使って明るさを調節する	36
ピントを合わせる	37
手動でピントを合わせる	37
輪郭を強調してピントを合わせる	39
好みの画質に設定する—ピクチャプロフィール	39
好みの音に設定する	42
録音レベルを調節する—マイク音レベル	42
外部の音源をつなぐ	43
記録するチャンネルを選ぶ	44
使いこなして撮る	45
ショットトランジションを使う	45
好みの色に補正する—カラーコレクション	47
効果的な場面転換をする—フェーダー	49
録画開始時にインデックス信号を打ち込む	50
i.LINK で接続した機器で撮影する—外部 REC コントロール	51
テープの位置を確認する—レックレビュー	52

見る

再生する	53
テープのできるいろいろな再生	54
再生の便利な機能	55
最後に録画した場面を頭出しする—エンドサーチ	55
画面表示を出す・消す	55
日付時刻・カメラデータを表示する—データコード機能	56
ビデオ情報を表示する—ステータスチェック	56
テレビにつないで見る	57
ハイビジョンテレビで見る	57
ワイドテレビ /4 : 3 テレビで見る	59
テープの画像を頭出しする	60
撮影日でテープを頭出しする—日付サーチ	60
録画の開始位置を探す—インデックスサーチ	61

進んだ使いかた

メニューで設定する

メニュー項目の使いかた.....	62
 (CAMERA SET) メニューを使う —STDYSHOT TYP・FRAME REC など.....	63
 (AUDIO SET) メニューを使う —INT MIC SET・XLR SET など.....	69
 (LCD/VF SET) メニューを使う —LCD COLOR など.....	73
 (IN/OUT REC) メニューを使う — REC FORMAT・DOWN CONVERT など.....	74
 (TC/UB SET) メニューを使う — TC MAKE など.....	79
 (OTHERS) メニューを使う — CLOCK SET・WORLD TIME など.....	81
パーソナルメニューを使う.....	85
ASSIGN 機能を使う.....	89

ダビングや編集をする

他のビデオへダビングする.....	91
ビデオやテレビから録画する.....	95
パソコンと接続する.....	98
録画したテープに音声を追加する DVCAM — アフレコ.....	100
タイムデータを設定する.....	103
本機を経由してビデオをパソコンに つなぐDVCAM DV  —デジタル変換機能.....	106

目次 (つづき)

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	108
警告表示とお知らせメッセージ.....	114

その他

海外で使う.....	118
HDV 規格と使えるビデオカセット.....	119
DVCAM/DV フォーマットの互換性.....	121
InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーについて.....	123
i.LINK (アイリンク) について.....	125
取り扱い上のご注意とお手入れ.....	126
主な仕様.....	128
保証書とアフターサービス.....	130

各部のなまえ・索引

各部のなまえ.....	131
索引.....	139

文中のマークについて

HDV1080i	HDVだけで使える機能です。
DVCAM	DVCAMだけで使える機能です。
DV SP	DV SPだけで使える機能です。
50i	メニューの [50i/60i SEL] で [50i] に設定しているときにだけ使える機能です。
60i	メニューの [50i/60i SEL] で [60i] に設定しているときにだけ使える機能です。



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

運転中に使用しない



禁止

- ・自動車、オートバイなどの運転をしながら撮影 / 再生をしたり、ヘッドホンを使用したりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- ・また、歩きながら使用する時も、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

撮影時は周囲の状況に注意を払う



禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACアダプター / チャージャーをコンセントから抜いて、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

指定以外の充電器や AC アダプター / チャージャー、バッテリーを使わない



禁止

火災やけがの原因となることがあります。

部品の取り付けは正しく行う



指示

バッテリーやショルダーベルト、グリップベルトを正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトに傷などが無いかな、使用前に確認してください。



注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない



禁止

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

機器を布団などでおおった状態で使わない



禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ぬれた手で使用しない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

バッテリーを取りはずすときは、バッテリーに手をそえる



指示

バッテリーが落ちるとけがの原因になることがあります。

安定した場所に置く



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

乱暴に運搬しない



禁止

本機は重量物ですので、落下に注意して運搬してください。

コード類は正しく配置する



禁止

電源コードや AV 接続ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

カムコーダーの重量にあった三脚・雲台を使用する



指示

カムコーダーの重量に耐えきれない三脚、または三脚以外に取り付けて使用すると、本機が落下し、けがをすることがあります。

通電中の機器に長時間ふれない



禁止

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

また、三脚・雲台を確実に固定せずにカムコーダーから離れると、不意にカムコーダーが動いてけがをすることがあります。



注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

MIC PHANTOM 端子には外部電源 (PHANTOM) 対応以外の機器を接続しない



禁止

外部電源 (PHANTOM) に対応していない機器 (マイクなど) を MIC PHANTOM 端子に接続すると、機器が故障する可能性があります。

電池についての安全上 のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

(この項目はバッテリーパックのみに適用となります)

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- バッテリーパックは、火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池や乾電池パックは充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い



Li-ion

リチウム
イオン電池

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。

本機の性能を保持するために

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

• 異常に高温になる場所

炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

• 直射日光の当たる場所、熱器具の近く

変形したり、故障したりすることがあります。

• 激しい振動のある場所

• 強力な磁気のある場所

• 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所

海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

• レンズやファインダーを太陽に向けたままにしない

カムコーダーやファインダー内部を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。

使用について

• 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない

正しく録画・再生できないことがあります。

• TVやAMラジオやチューナーの近くで使わない

TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。

• 長期間使用しない場合は、ときどき電源を入れる

3分間ほどテープを再生するなどして、カムコーダーを動かしてください。

- ACアダプター /チャージャーや充電器を「電子式変圧器」などに接続しない
発熱や故障の原因となります。

お手入れについて

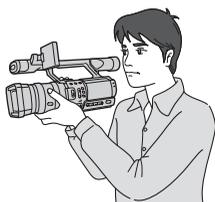
汚れがついたときは、柔らかい布などで、きれいに拭き取りましょう。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、表面の塗装を傷めたりすることがあります。

レンズのお手入れ

レンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングペーパーなどで拭き取ってください。



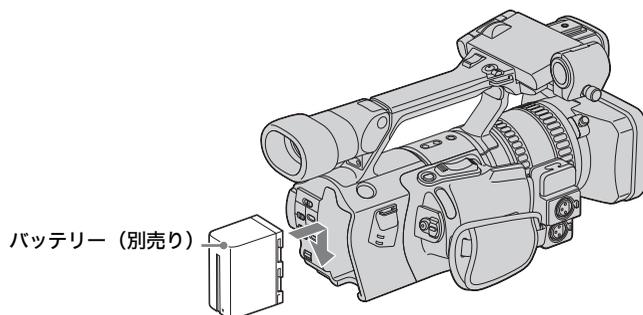
早分かりガイド

撮影する

1 充電されたバッテリーを取り付ける。

⇒充電のしかたは17ページ

バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



2 カセットを入れる。

① OPEN/EJECT つまみを矢印の方向へずらしたまま、カセットカバーを開ける。

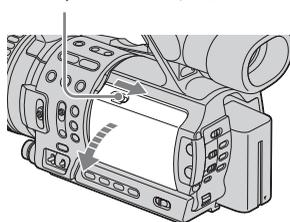
カセット入れが自動的に出てきます。

② テープ窓を外側にして、カセットの背の中央を押し入れる。

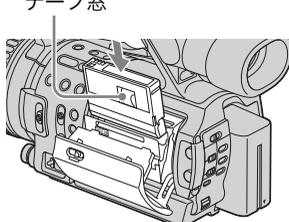
③ カセット入れの [PUSH] マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されたらカセットカバーを閉める。

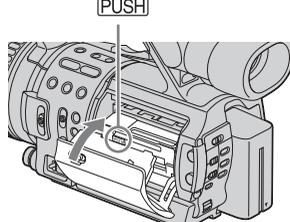
OPEN/EJECT つまみ



テープ窓

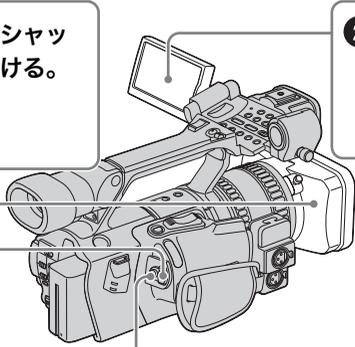


[PUSH]



3 液晶画面を見ながら撮影する。

お買い上げ時には日付・時刻の設定がされていません。設定のしかたは22ページ
お買い上げ時にはHDV規格で撮影するように設定されています。DVCAMまたはDV規格で撮影するには25ページ



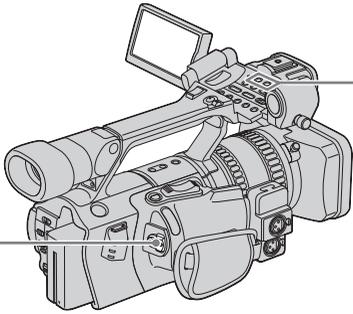
1 フードのシャッターを開ける。

2 液晶パネルを開けて、好みの角度に調節する。

3 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「CAMERA」にする。

4 REC START/STOPを押す。
撮影が始まります。
もう一度押すと止まってスタンバイ（撮影待機）になります。

4 液晶画面で見る。



1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「VCR」にする。

2 ◀◀REWボタンを押して、巻き戻す。

3 ▶▶PLAYボタンを押して、再生する。

■STOPボタンを押すと再生が止まります。

電源を切るにはPOWERスイッチを「OFF」にします。

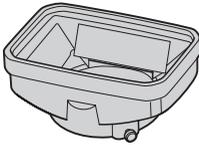
準備する

準備1 付属品を確かめる

箱を開けたら、本機のほかに次の物がそろっているか確認してください。
() 内は個数を表します。

レンズキャップ付きフード (1)

本機にあらかじめ取り付けられています。



⚠️ ご注意

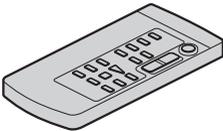
- 別売りの光学フィルターなどを取り付けるときは、レンズキャップ付きフードを外してください。

大型アイカップ (1)

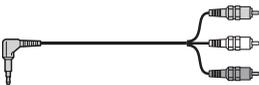
取り付けかたについては22ページをご覧ください。



ワイヤレスリモコン (1)



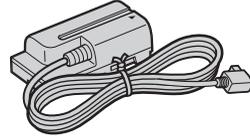
AV接続ケーブル (1)



コンポーネントビデオケーブル (1)

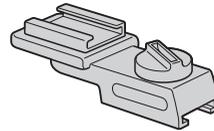


接続コード (DK-415) (1)



シューアダプター (1)

取り付けかたについては136ページをご覧ください。



単3形乾電池 (リモコン用) (2)

電池の入れかたについては137ページをご覧ください。

クリーニングカセット (1)

取扱説明書 <本書> (1)

保証書 (1)

ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

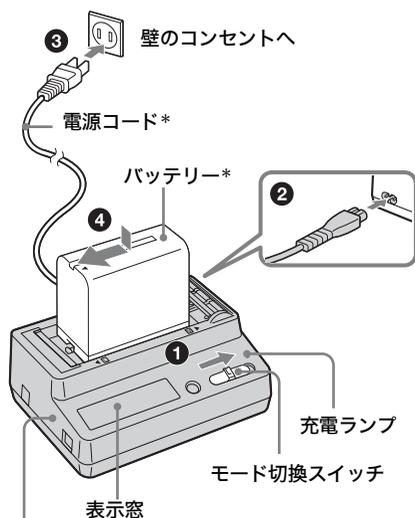
準備2 バッテリーを充電する

別売りのアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。

専用の“インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）をACアダプター /チャージャーに取り付けて充電します。

ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）（123ページ）以外のバッテリーは使えません。
- ACアダプター /チャージャーのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター /チャージャーは手近なコンセントを使用してください。充電中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター /チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。



ACアダプター /チャージャー
AC-VQ850*

*別売りのACCKIT-D10に付属

1 モード切換スイッチを「充電」にする。

2 電源コードをACアダプター /チャージャーにつなぐ。

3 コンセントにつなぐ。

4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

◆充電が終わると

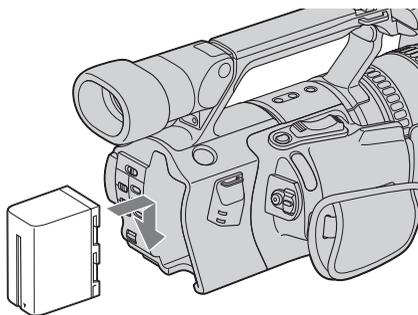
表示窓のバッテリーマークがすべて点灯します（「」実用充電）。

充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます（満充電）。

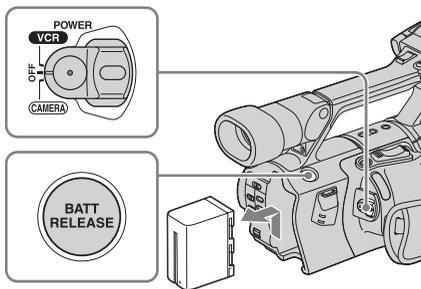
充電が終わったら、バッテリーをACアダプター /チャージャーから取り外してください。

◆本機にバッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。

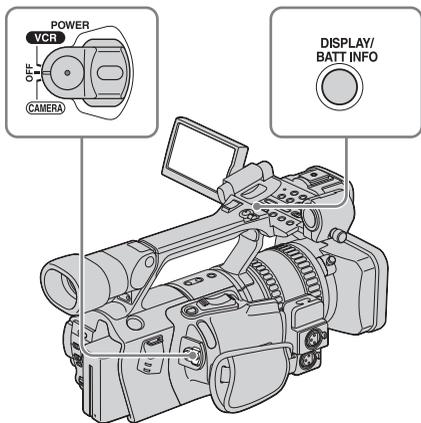


◆本機からバッテリーを取り外すには



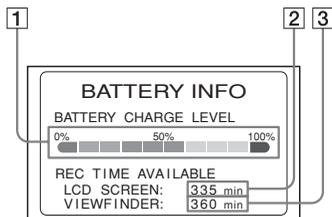
- 1 POWERスイッチを「OFF」にする。
- 2 BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを上にはずらす。

◆バッテリーの残量を確認するには — バッテリーインフォ



電源を切った状態でバッテリーの充電レベルとそのレベルで撮影可能な時間を確認できます。選択している録画フォーマットでの録画可能時間が表示されます。

- 1 POWERスイッチを「OFF」にする。
- 2 液晶パネルを開けて、好みの角度に調節する。
- 3 DISPLAY/BATT INFOボタンを押す。バッテリーの情報を約7秒間表示します。押し続けると、約20秒間表示します。



- 1 バッテリー充電レベル：およそのバッテリー残量
- 2 液晶パネル使用時のおよその撮影可能時間
- 3 ファインダー使用時のおよその撮影可能時間

◆充電時間

使い切ったバッテリーをAC-VQ850を使って25°C（10～30°Cが推奨）で充電したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電時間（実用充電）
NP-F570	145（85）
NP-F770	230（170）
NP-F970	310（250）

ご注意

NP-F330/F530/500/510/710はご使用いただけません。

◆撮影可能時間

満充電のバッテリーを使って25°Cで撮影したときのおよその時間(分)です。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F570	105	55
	115	60
	115	60
NP-F770	220	120
	245	120
	235	120
NP-F970	335	185
	370	190
	360	190

DVCAM/DV SP規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F570	110	60
	125	60
	120	60
NP-F770	235	130
	255	130
	250	130
NP-F970	355	195
	385	200
	380	200

上段：LCD BACKLIGHTスイッチが「ON」で、[VF POWER] が [OFF] のとき
 中段：LCD BACKLIGHTスイッチが「OFF」で、[VF POWER] が [OFF] のとき
 下段：液晶パネルを閉じてファインダー使用時「実撮影時」は、外部マイク1と2使用時で、録画やスタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。実際は短くなることもあります。

💡 ちょっと一言

NP-F550/F730/F750/F960バッテリーも使用できます。満充電した後に、事前にためし撮りをして、お使いください。使用環境によって使用可能時間が変わります。使用可能時間は、DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと確認できます。

◆再生可能時間

満充電のバッテリーを使って25°Cで再生したときのおよその時間(分)です。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶パネルで再生*	液晶パネルを閉じて再生
NP-F570	155	175
NP-F770	325	365
NP-F970	485	550

DVCAM/DV SP規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶パネルで再生*	液晶パネルを閉じて再生
NP-F570	175	200
NP-F770	365	410
NP-F970	550	625

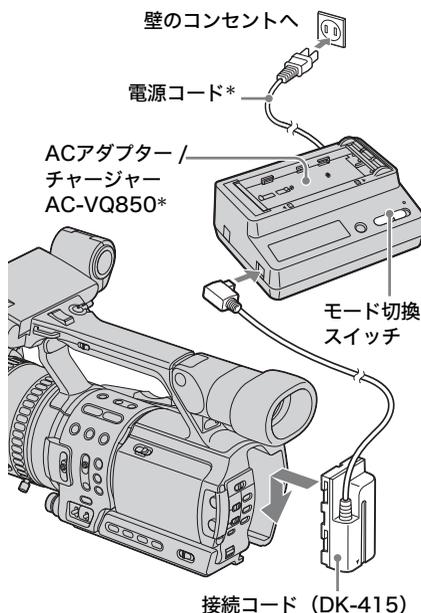
* LCD BACKLIGHTスイッチが「ON」のとき

ご注意

- 記載の数値は60Hzのときの数値です。50Hzの場合は若干長くなります。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生時間はそれぞれ短くなります。
- 液晶画面とファインダーの両方を使って撮影するときのバッテリー使用時間は、液晶画面を使った場合よりも少し短くなります。
- バッテリーが消耗しているときはバッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。

コンセントにつないで使うときは

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



*別売りのACCKIT-D10に付属

1 ACアダプター / チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にする。

「充電」側では電源は供給されません。

準備する

次のページへつづく➡

準備する

2 接続コード (DK-415) を本機に取り付ける。

接続コード (DK-415) の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら、下にずらす。

3 接続コード (DK-415) をACアダプター / チャージャーにつなぐ。

4 電源コードをACアダプター / チャージャーにつなぐ。

5 電源コードをコンセントにつなぐ。

ちょっと一言

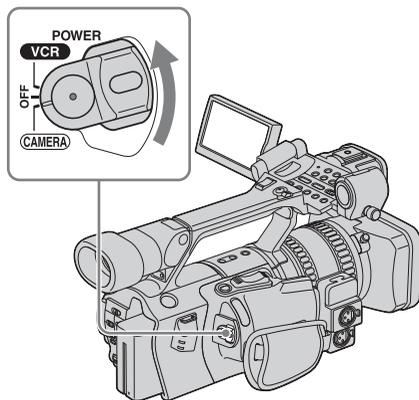
本機に対応している別売りのACアダプター / チャージャーは、AC-VQ850/AC-V700/DV-V700です。

準備3 POWERスイッチを入れる

撮影や再生をするときは、POWERスイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。初めて電源を入れたときは、[CLOCK SET]画面が表示されます (22ページ)。

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを切り換える。

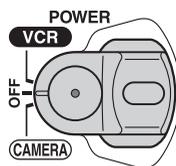
電源が入ります。



- 「CAMERA」：撮影するとき
- 「VCR」：画像を再生・編集するとき

◆電源を切るには

POWERスイッチを「OFF」にする。



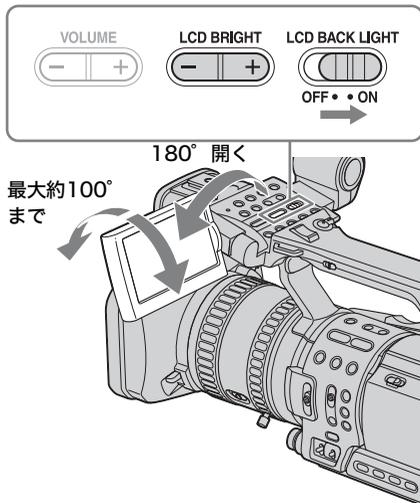
ちょっと一言

- お買い上げ時は、液晶画面上のメニュー項目や警告表示などは英語で表示されます。日本語または簡易英語で表示するには、81ページをご覧ください。

準備4 液晶画面やファインダーを見やすく調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶パネルは使用状況にあわせて見やすい角度や明るさに調節できます。被写体が人垣の向こう側で見えないときでも、パネルの角度を変えれば映像を液晶画面で確認しながら撮影できます。



180° に開ききった状態で、好みの角度に調節する。

◆液晶画面の明るさを調節するには

LCD BRIGHTボタンの-（暗くなる） / +（明るくなる）を押して調節する。

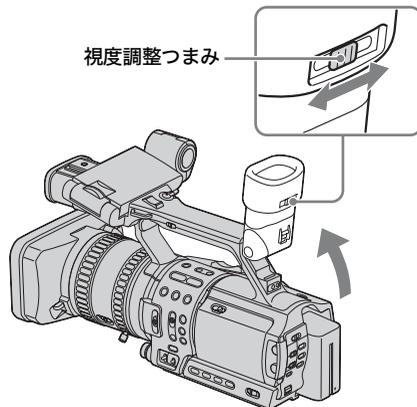
ちょっと一言

- 液晶画面を下に向けてから180°回転させると、外側に向けて元の位置に収められます。
- バッテリー使用時は、 (LCD/VF SET) × ニューの [LCD BL LEVEL] でも選べます (73ページ)。

- 屋外など明るい場所で使うときは、LCD BACKLIGHTスイッチを「OFF」にすると (LCD OFFが表示されます)、バッテリーを長持ちさせることができます。
- 液晶画面の明るさを変えても、録画される画像に影響はありません。

ファインダーを見やすく調節する

液晶パネルを閉じると、ファインダーで画像を見ることができます。バッテリー切れが心配なときや、液晶画面が見つらいときはファインダーを使います。



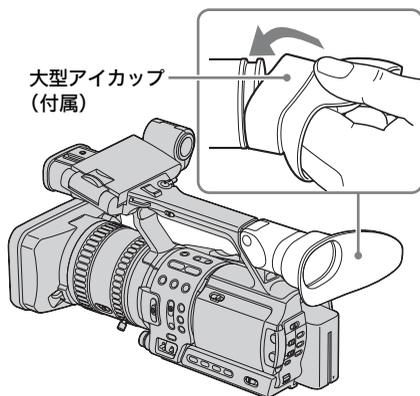
ファインダーを上げる。

画像がはっきり見えるように視度調整つまみを動かす。

◆ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。

大型アイカップを少し伸ばし、本体の溝に合わせて奥までスライドさせてください。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。



大型アイカップ
(付属)

ちょっと一言

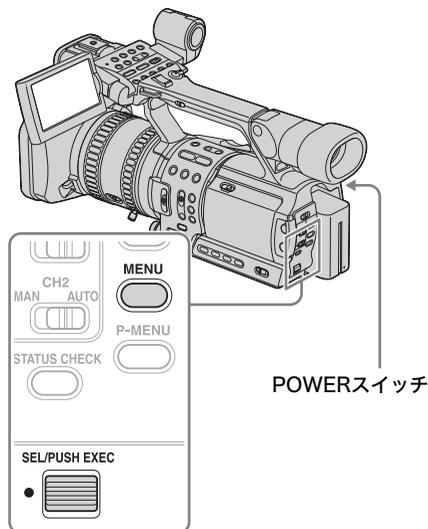
- ファインダーのバックライトの明るさは、バッテリー使用時に [LCD/VF SET] メニューの [VF B.LIGHT] で選べます (73ページ)。
- [LCD/VF SET] メニューの [VF POWER] を [ON] にすると、液晶画面とファインダーの両方に画像が映ります (73ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、[LCD/VF SET] メニューの [VF COLOR] を [OFF] にします (73ページ)。

準備5 時計を合わせ る

本機を初めて使うときは日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに [CLOCK SET] 画面が表示されます。

ご注意

- 3ヶ月近く使わないでいくと内蔵の充電式電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式電池を充電してから設定し直してください (127ページ)。



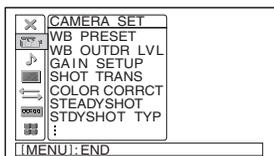
POWERスイッチ

電源を入れる (20ページ)。

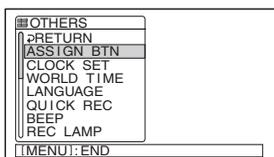
液晶パネルを開けて、好みの角度に調節する。

初めて時計を合わせるときは手順6に進んでください。

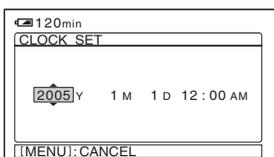
MENUボタンを押す。



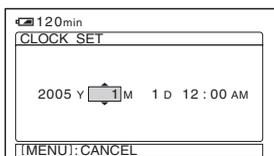
SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (OTHERS) メニューを選び、押して決定する。



SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [CLOCK SET] を選び、押して決定する。



6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して年を合わせ、押して決定する。



2079年まで設定できます。

7 手順6と同様に、SEL/PUSH EXECダイヤルで月、日、時、分を合わせて、押して決定する。
真夜中は12:00:00AM、
正午は12:00:00PMとなります。

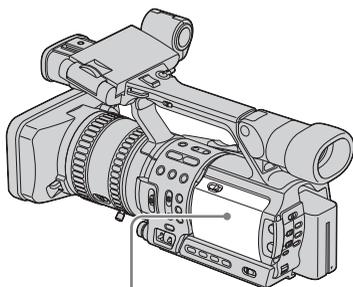
準備6 カセットを入れる

使えるカセットや、誤消去防止方法など、カセットについて詳しいことは、119ページをご覧ください。

ご注意

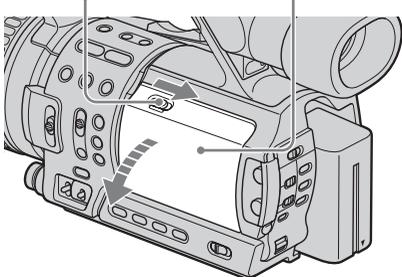
- カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

OPEN/EJECT  つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。



OPEN/
EJECT  つまみ

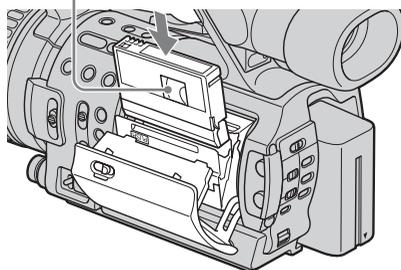
カセットカバー



カセット入れが自動的に出て開きます。

テープ窓を外側にして、カセットを入れる。

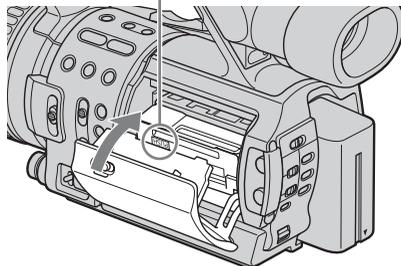
テープ窓
背の中央を軽く押す。



カセット入れの **[PUSH]** マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。

[PUSH]



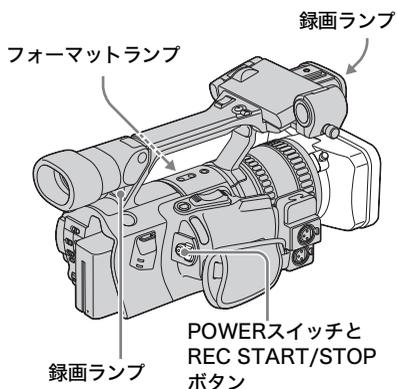
カセットカバーを手で閉める。

◆カセットを取り出すには

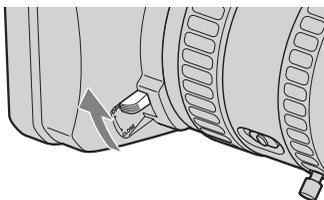
- 1 OPEN/EJECT  つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。カセット入れが自動的に出てきます。
- 2 カセットを取り出し、**[PUSH]** マークを押す。カセット入れが自動的に収納されます。
- 3 カセットカバーを手で閉める。

撮影する

HDV/DVCAM/DVのどの規格でも撮影できます。また、50i/60iどちらの方式でも撮影できます。あらかじめ準備1～6（16～24ページ）を行っておいてください。ステレオ音声で記録されます。



レンズキャップ付きフードのシャッターを開ける。

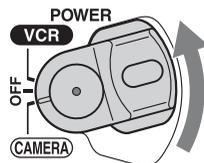


液晶パネルを開けて、好みの角度に調節する。

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「CAMERA」にする。

HDV1080iが表示されます。フォーマットランプのHDV部が点灯して、スタンバイ（撮影待機）になります。スタンバイになるまで少し時間がかかります。

お買い上げ時は1080/60i方式のHDV規格で撮影するように設定されています。1080/50i方式で撮影するには、「1080/50i方式（PAL方式）で撮影するには」をご覧ください。DVCAM/DV規格で撮影するには、「DVCAM/DV規格で撮影するには」をご覧ください。



REC START/STOPボタンを押す。

録画が始まり、画面に [REC] が表示され、録画ランプも点灯します。もう一度押すと、録画が停止します。

◆1080/50i方式（PAL方式）で撮影するには

☐ (OTHERS) メニューで [50i/60i SEL] の設定を変えてください（84ページ）。DVCAM/DVも50i（PAL）方式になります。

◆DVCAM/DV規格で撮影するには

DVCAM規格で撮影する

⇄ (IN/OUT REC) メニューで [REC FORMAT] を [DV] にして、[☐ REC MODE] を [DVCAM] にする（75ページ）。

メニュー画面を閉じると、DVCAMが表示されます。フォーマットランプのDVCAM部が点灯して、スタンバイになります。

DV規格で撮影する

⇄ (IN/OUT REC) メニューで [REC FORMAT] を [DV] にして、[REC MODE] を [DV SP] にする (75ページ)。メニュー画面を閉じると、DV  が表示されます。フォーマットランプのDVCAM部が点灯して、スタンバイになります。

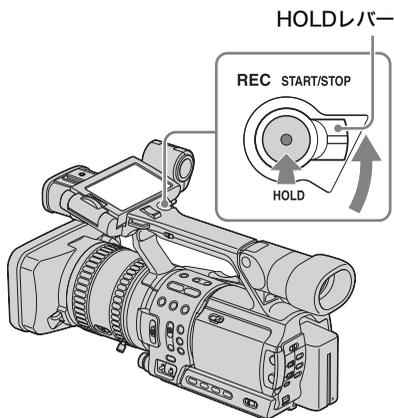
◆撮影が終わったら

POWERスイッチを「OFF」にする。

◆ローアングルで撮るときは

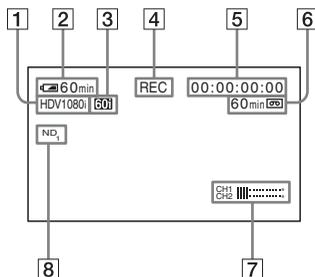
ハンドル部のREC START/STOPボタンを使うと便利です。HOLDレバーを解除してから、操作してください。

液晶画面を上に向ける、または液晶画面を下に向けてから閉じる、あるいはビューファインダーを上げて撮影することをおすすめします。



◆撮影中の画面表示

画面表示は録画されません。撮影中、カメラデータ (56ページ) は表示されません。



① 規格 (HDV1080i、DVCAM、DV SP)

② バッテリー残量と連続撮影時間の目安

使用状況・環境によっては正しく表示されないことがあります。液晶パネルを開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

③ 50i/60i表示 (84ページ)

④ 撮影状態 ([STBY] または [REC])

⑤ タイムコードまたはユーザービット

本機のタイムコードはプリセットできます。撮影中のテープでも、タイムコードをリセットまたはプリセットできます (104ページ)。

⑥ テープ残量 (82ページ)

⑦ マイク音レベル (42ページ)

⑧ NDフィルター

[ND1] / [ND2] 表示が点滅したら、NDフィルター設定をしてください (35ページ)。

⚡ ご注意

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 撮影スタンバイが約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。電源は切れませんので、もう一度REC START/STOPボタンを押せば、録画を再開できます。録画開始までに少し時間がかかりますが、故障ではありません。HDV規格で撮影する場合、 (OTHERS)メニューの [QUICK REC] を [ON] にすると録画開始までの時間を短縮できますが、つなぎ目が乱れることがあります (81ページ)。
- 同じテープにHDV/DVCAM/DV規格の撮影を混在させると、以下の機能が正しく働かないことがあります。
 - 日付サーチ
 - インデックスサーチ

🔦 ちょっと一言

- テープにカラーバーを記録できます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。カラーバーを表示するには、BARSボタンを押します。もう一度押すと、カラーバーは消えます。CAMERA SET)メニューの[BARS TYPE]でカラーバーのタイプを2種類から選べます(67ページ)。
- テープできれいな撮影するには、次の点に気をつけてください。
 - カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
 - 同じテープにHDV/DVCAM/DV規格の撮影を混在させない。
 - 同じテープに50i/60iの撮影を混在させない。
- 日付と時刻を直接画像に記録できます。OTHERS)メニューの[DATE REC]を設定してください(83ページ)。このとき、日付/時刻は常に表示されます。
- 録画日時やカメラデータは、表示されないまま自動で記録され、再生時にDATA CODEボタンを押すと見ることができます(56ページ)。
- TC/U-BITボタンを押すと、タイムデータを表示できます(105ページ)。
- 別売りのマイクを取り付けるときは、43ページをご覧ください。

使用できるカセット

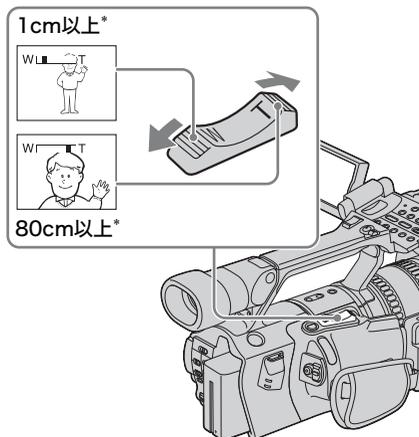
HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。
DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。

🔦 ご注意

- [DV SP] に設定して撮影したときは、つなぎ撮りがきれいにできないことがあります。
- DV規格のLPモードで録画することはできません。
- [REC MODE] を[DVCAM]にしてミニDVカセットを使った場合、録画可能時間は、テープに表記されている時間の約2/3になります。

ズームする

ズームレバーは本体とハンドルについています。ズームを使いすぎると見づらい画面になるため、効果的にズームしてください。



* ピントが合うのに必要な被写体との距離

1 ZOOMスイッチを「LEVER/REMOTE」にする。

2 ズームレバーを軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームする。

広角にするとき

ズームレバーを「W」の方向へ押す。
被写体が小さくなります。
広角=Wide(ワイド)。

望遠にするとき

ズームレバーを「T」の方向へ押す。
被写体が大きくなります。
望遠=Telephoto(テレフォト)。

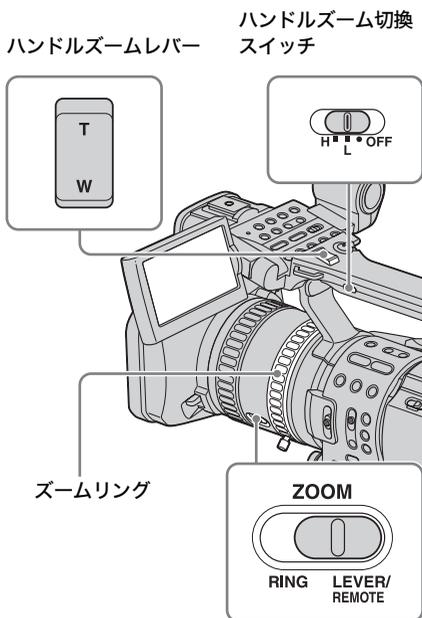
次のページへつづく➔

ちょっと一言

- ☰ (OTHERS) メニューの [ZOOM DISPLAY] でズーム位置の表現方法 ([BAR] (バー表示) または [NUMBER] (数値)) を選べます (83 ページ)。お買い上げ時はバー表示が出る設定になっています。

◆ハンドルズームを使うには

ハンドルズーム切換スイッチでズームの速さを調節できます。



- 1 ZOOMスイッチを「LEVER/REMOTE」にする。
- 2 ハンドルズーム切換スイッチを「L」または「H」にする。
☰ (CAMERA SET) メニューの [HANDLE ZOOM] で「L」または「H」のハンドルズームレバーの速度を設定することができます。お買い上げ時は [H] は6、[L] は3の速度に設定されています (67ページ)。
- 3 ハンドルズームレバーを押してズームする。

ご注意

ハンドルズームの押し具合でズーム速度を変えることはできません。ズーム速度を変えるには、

[HANDLE ZOOM] を設定してください (67ページ)。

ハンドルズーム切換スイッチが「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。ハンドルズーム切換スイッチで本体のズームレバーの速さを変えることはできません。

◆ズームリングを使うには

好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

- 1 ZOOMスイッチを「RING」にする。
- 2 ズームリングを回してズームする。

ご注意

ズームリングは適度な速さで回してください。速すぎると、ズームがリングの回転に追いつかないことがあります。

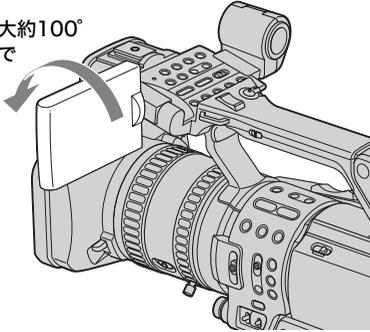
リモコンでズームするときは、ZOOMスイッチを「LEVER/REMOTE」にしてください。ZOOMスイッチを「LEVER/REMOTE」から「RING」に切り換えると、ズームの位置や画角が変わります。

ズームリングを速く回しすぎると、ズームモーターが高速で動作するため、モーター音が大きくなります。ズーム動作音が気になるときは、ズームレバーまたはリモコンでズームしてください。

対面撮影する

液晶パネルを相手に向けながら撮影すれば、撮影する側、撮影される側の両方で撮影中の画面を確認できます。小さい子供を撮影するときにカメラのほうへ注目させたり、撮影者が自分自身を撮影したりするときなどにも使えます。

最大約100°
まで



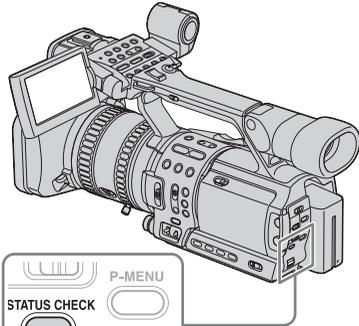
液晶パネルを180°まで開いてから、矢印の方向にカチッと音がするまで回転して、被写体に向ける。

液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

撮影情報を表示する—ステータスチェック

撮影またはスタンバイ中に、以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音レベルなどのAUDIO設定（42ページ）
- OUTPUT設定（[COMPONENT]、[i.LINK CONV]、[DOWN CONVERT]）（77ページ）
- ASSIGNボタンに割り当てた機能（89ページ）
- CAMERA設定
- PICTURE PROFILE



1 STATUS CHECKボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、項目を表示する。

回すたびに、

AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→

CAMERA→PICT. PROFILEに切り換わります。

◆撮影情報表示を消すには

STATUS CHECKボタンを押す。

次のページへつづく→

⚡ ご注意

- ピクチャープロファイルの設定が [OFF] のときは、ピクチャープロファイルは表示されません。

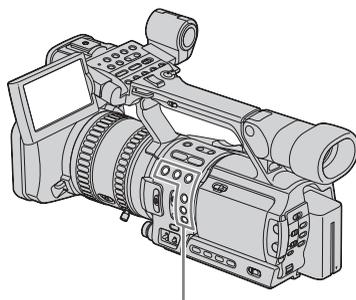
明るさを調節する

お買い上げ時は自動で画像の明るさが調節される設定になっています。

明るさを自動の状態より明るくまたは暗くする場合は、手動調節で撮影する（33ページ）、またはピクチャープロファイル（39ページ）であらかじめ好みの設定にして撮影してください。

逆光補正する

被写体の後ろに太陽などの光源があり（逆光）、被写体が陰になるときに使います。あらかじめASSIGNボタンに逆光補正機能を割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。



ASSIGN 1~6ボタン

撮影またはスタンバイ中に、逆光補正機能を割り当てたASSIGNボタンを押す。

☑が表示されます。

逆光補正を解除するには、もう一度逆光補正機能を割り当てたASSIGNボタンを押します。

⚡ ご注意

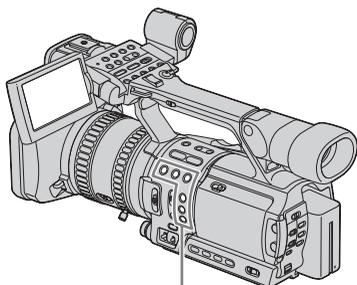
逆光補正中にスポットライト機能を割り当てたASSIGNボタンを押すと、逆光補正は解除されます。

アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、逆光補正は使えません。

強い光が当たっている被写体を撮る—スポットライト

舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐときに使います。

あらかじめASSIGNボタンにスポットライト機能を割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。



ASSIGN 1～6ボタン

撮影またはスタンバイ中に、スポットライト機能を割り当てたASSIGNボタンを押す。

☼が表示されます。

スポットライトを解除するには、もう一度スポットライト機能を割り当てたASSIGNボタンを押します。

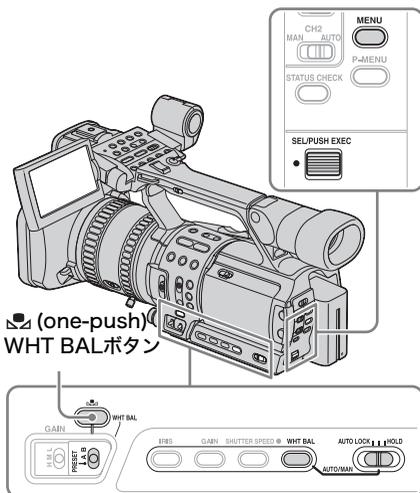
⚡ ご注意

スポットライト中に逆光補正機能を割り当てたASSIGNボタンを押すと、スポットライトは解除されます。

アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、スポットライトは使えません。

自然な色合いに調節する—ホワイトバランス

撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。ホワイトバランスの調整値をメモリー AとBに個別に記憶させます。撮影時はWHT BALスイッチで記憶させた調整値を選びます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても約3ヶ月間保持されます。



☼ (one-push) WHT BALボタン

- 1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にする。
- 2 WHT BALボタンを押す。
- 3 WHT BALスイッチを「A」または「B」にする。
- 4 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。

5 (one-push) WHT BALボタンを押す。

 Aまたは Bが速い点滅に変わります。

ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだAまたはBのメモリーに調整値が記憶されます。

◆記憶させた調整値を呼び出すには

- 1 撮影またはスタンバイ中にAUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にする。
- 2 WHT BALスイッチを「A」または「B」にする。
- 3 WHT BALボタンを押す。
記憶させたホワイトバランスに設定されます。

ご注意

 Aまたは Bが点滅しているときは、本機に強い衝撃を与えないでください。

 Aまたは Bが点滅から点灯に変わらないときは、ホワイトバランスを設定できません。プリセットホワイトバランスか、自動調節で撮影してください。

◆プリセットホワイトバランスを使うには

屋外と室内のホワイトバランス値を設定できます。屋外に設定すると、色温度5800Kを中心に±7段階の調節ができます（63ページ）。1段階はおよそ500Kに相当します。

- 1 撮影またはスタンバイ中にAUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (CAMERA SET) メニューを選び、押して決定する。
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[WB PRESET] を選び、押して決定する。
- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。

項目	撮影場面
[OUTDOOR] (☀)	• 夜景やネオン、花火など • 日の出、日没など • 昼光色蛍光灯の下
[INDOOR] (🍷)	パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所 スタジオなどビデオライトの下、ナトリウムランプや水銀灯、電球色蛍光灯の下

お買い上げ時は [OUTDOOR] に設定されています。

- 6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。
- 7 WHT BALスイッチを「PRESET」にする。
- 8 WHT BALボタンを押す。
選んだホワイトバランスに設定されます。

💡 ちょっと一言

[OUTDOOR] に設定しているときは、 (CAMERA SET) メニューの [WB OUTDR LVL] で屋外使用時のホワイトバランス値を調節できます（63ページ）。ASSIGNボタンを使って調節することもできます（89ページ）。

◆自動調節に戻すには

WHT BALボタンを押す。または、AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にする。

🔍 ご注意

AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節（アイリス、ゲイン、シャッタースピード）も一時的に解除されます。

手動調節で撮る

撮影する場面の明るさや、得たい効果に合わせて、アイリスやゲインなどを手動で調節できます。アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスは、AUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にして調節します。

AUTO LOCKスイッチの位置を変えて、各機能の設定を保持/解除します。

位置	意味
AUTO LOCK	自動で調節する。
中央（オートロック解除位置）	手動で調節する。
HOLD	手動調節したあとに「HOLD」にすると、各機能の設定を保持する。

ホワイトバランスについては、31ページをご覧ください。

⚡ ご注意

アイリス、ゲイン、シャッタースピードは、手動調節しないかぎり、周囲の明るさに合わせて自動的に調節されます。好みの明るさに設定したいときは、アイリス、ゲイン、シャッタースピードをすべて手動で調節してください。

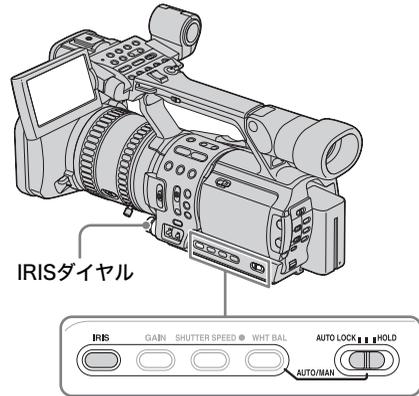
アイリス、シャッタースピード、ゲインのいずれか1つだけを手動で調節すると、それぞれアイリス優先、シャッタースピード優先、ゲイン優先撮影ができます。

💡 ちょっと一言

カメラの明るさを調節したいときは、アイリス、ゲイン、シャッタースピードをすべて手動にした状態で、アイリスダイヤルを回してください。

アイリスを調節する

レンズに入る光量を手動で調節できます。絞りを開く（アイリス値を小さくする）と光量が増えます。ピントの合う範囲が狭くなり、被写体のみがくっきり映ります。絞りを閉じる（アイリス値を大きくする）と、光量が減り、ピントの合う範囲が広がります。



1 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO LOCK**スイッチを中央（オートロック解除位置）にする。

2 IRISボタンを押す。
アイリス値（F値）が表示されます。

3 IRISダイヤルを回して、好みのアイリス値に合わせる。
アイリス値（F値）はF1.6～F11、CLOSEの間で変わり、調整値が表示されます。

◆自動調節に戻すには

IRISボタンを押す。または、AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にする。

ご注意

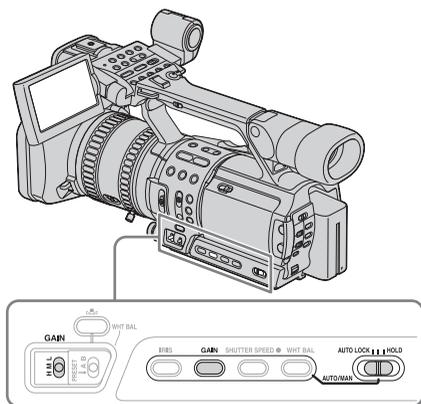
- AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節（ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス）も一時的に解除されます。
- ズームがW側（広角）からT側（望遠）になるにつれて、アイリス値はF1.6からF2.8に変わります。

ちょっと一言

- IRISダイヤルの回転方向を  (OTHERS) メニューの [IRIS DIAL] で変えることができます (82ページ)。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く（ピントの合う範囲が狭く）なり、絞りを閉じると深く（ピントの合う範囲が広く）なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

ゲインを調節する

黒っぽい被写体や暗い被写体を撮影するとき、AGC（オートゲインコントロール）によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。



1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にする。

2 GAINボタンを押す。
ゲイン値が表示されます。

3 GAINスイッチを好みの位置に合わせる。

H、M、Lの3段階に切り換えられます。
H、M、Lに対応する値は、

 (CAMERA SET) メニューの [GAIN SETUP] で設定できます (63ページ)。

お買い上げ時は、18dB (H)、9dB (M)、0dB (L) に設定されています。
数値が大きくなるほど、ゲインが上がり
ます。

◆自動調節に戻すには

GAINボタンを押す。または、AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にする。

ご注意

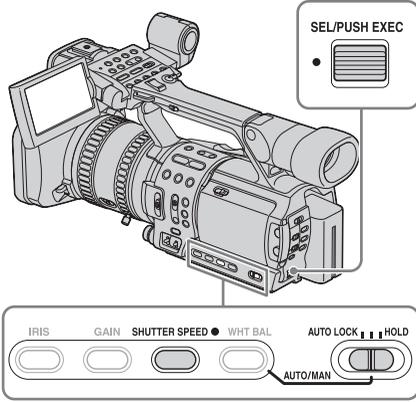
AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節（アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス）も一時的に解除されます。

ちょっと一言

ハイパーゲインを使うと、ゲインを約36 dBに上げることができます (90ページ)。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定することができます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するとき便利です。



1 撮影またはスタンバイ中に、**AUTO LOCK**スイッチを中央（オートロック解除位置）にする。

2 **SHUTTER SPEED**ボタンを押す。

3 **SEL/PUSH EXEC**ダイヤルを回して、シャッタースピードを調節する。

■ (OTHERS) メニューで [50i/60i SEL] の設定を60iにしているときは、1/4秒～1/10000秒の範囲で選べます。50iにしているときは、1/3秒～1/10000秒の範囲で選べます。シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒にすると [100] と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなり、画面上の数値が小さくなるほどシャッタースピードが遅くなります。

◆自動調節に戻すには

SHUTTER SPEEDボタンを押す。または、AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にする。

ご注意

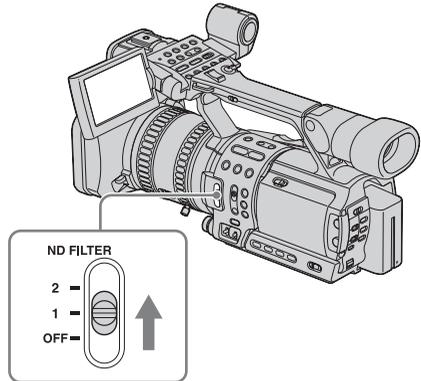
- AUTO LOCKスイッチを「AUTO LOCK」にすると、他の手動調節（アイリス、ゲイン、ホワイトバランス）も一時的に解除されます。

ちょっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり（フリッカー現象）、色が変わったりすることがあります。■ (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] を60iにしているような症状が出るときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

光の量を調節する—NDフィルター

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを使うと被写体を鮮明に撮影できます。NDフィルター 1は光量を約1/6に、NDフィルター 2は約1/32に削減するように設定されています。



スタンバイ中に、[ND1] または [ND2] が点滅したら、ND FILTER スイッチを切り換える。

[ND1]が点滅したとき
ND FILTERスイッチを「1」にして [ND1] を点灯させる。

[ND2]が点滅したとき
ND FILTERスイッチを「2」にして [ND2] を点灯させる。

[ND OFF]が点滅したとき
ND FILTERスイッチを「OFF」にして表示を消す。

ご注意

- 撮影中にNDフィルターを切り換えると、画像が乱れたり音声がノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルター表示が出ません。

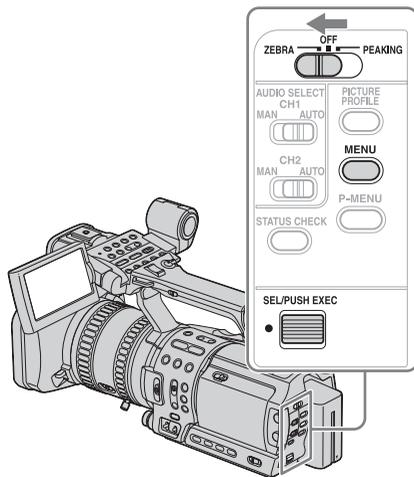
ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります。(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です。) NDフィルターを使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

ゼブラパターンを使って明るさを調節する

画面の中で輝度が一定レベルを超える部分は白とびが生じることがあります。この部分にしま模様（ゼブラパターン）を表示する機能です。明るさを調節するときの目安として使います。

メニューでゼブラパターンが現れる輝度レベルを選びます。



撮影またはスタンバイ中に、MENUボタンを押す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して  (CAMERA SET) メニューを選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ZEBRA LEVEL] を選び、押して決定する。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して輝度レベルを選び、押して決定する。

[70] ~ [100]、および [100+] から選びます。

例えば [70] を選ぶと、輝度レベルが 70±5%の輝度信号の部分にゼブラパターンが現れます。
[100+] の場合は、100%以上のすべての部分にゼブラパターンが現れます。
お買い上げ時は [100+] に設定されています。

5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

6 ZEBRA/PEAKINGスイッチを「ZEBRA」にする。
ゼブラパターンが表示されます。

◆ゼブラパターンを消すには

ZEBRA/PEAKINGスイッチを「OFF」にする。

ご注意

ゼブラパターンはテープには記録されません。
ピーキング機能を使用中 (39ページ) はゼブラパターンを使えません。

ピントを合わせる

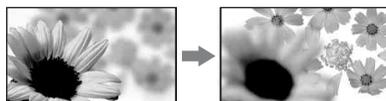
お買い上げ時は自動でピントが合う設定になっています。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

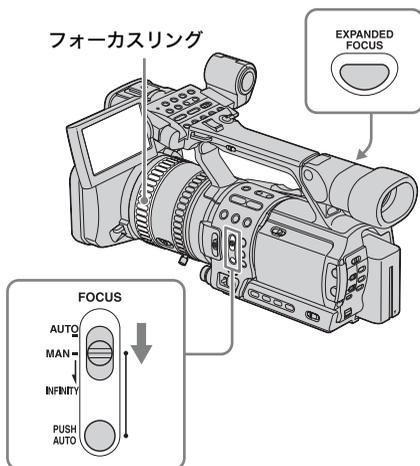
以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



—三脚で撮影する静止した被写体

フォーカスリング



次のページへつづく

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチを「MAN」にする。

が表示されます。

フォーカスリングを回し、ピントが合うように調節する。

は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき  に変わり、それ以上近くに合わせられないとき  に変わります。

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

◆遠くの被写体にピントを合わせるには

FOCUSスイッチを「INFINITY」にして撮影する。

が表示されます。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

◆拡大表示をしてピント合わせするには

EXPANDED FOCUSボタンを押す。

[EXPANDED FOCUS] が表示され、画面中央が約2倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。約5秒後に元に戻ります。

フォーカスリングを回している間は拡大したままですが、フォーカスリングから手を離すと約2秒後に元に戻ります。また、拡大表示中にREC START/STOPボタンを押すと、拡大表示は解除されます。

◆自動ピント合わせに戻すには

FOCUSスイッチを「AUTO」にする。

◆一時的にオートフォーカスで撮るには

PUSH AUTOボタンを押して撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

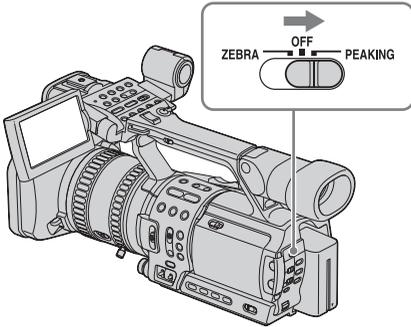
手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

💡 ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を約3秒間表示します。（別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。）
 - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
 - フォーカスリングを回したとき
-  (OTHERS) メニューの [EXP. FOCUS] を [MANUAL OFF] にすると、EXPANDED FOCUSボタンを押してから一定時間経過しても、拡大した状態を保持します（83ページ）。ただし、REC START/STOPボタンを押すと、拡大表示は解除されます。
-  (CAMERA SET) メニューで [AF ASSIST] を [ON] にすると、オートフォーカスのときにフォーカスリングを回して、一時的に手動でピントを合わせることができます（65ページ）。

輪郭を強調してピントを合わせる

画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります。



撮影またはスタンバイ中に、ZEBRA/PEAKINGスイッチを「PEAKING」にする。

◆ピーキングを解除するには

ZEBRA/PEAKINGスイッチを「OFF」にする。

⚡ ご注意

- ピーキングはテープに記録されません。
- ゼブラパターン機能を使用中（36ページ）はピーキング機能を使えません。

💡 ちょっと一言

- 拡大フォーカス表示と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
-  (CAMERA SET) メニューの [PEAKING] でピーキングの色やレベルを変更できます（65ページ）。

好みの画質に設定する

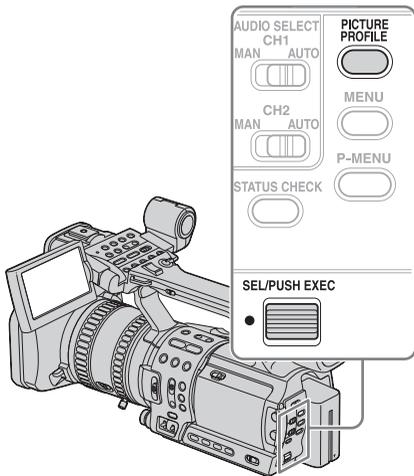
—ピクチャープロフィール

色の濃さや明るさ、ホワイトバランスなどを調節して好みの画質設定を作れます。6種類の画質を設定できるので、撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1] から [PP6] に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ピクチャープロフィール番号	撮影条件
PP1	HDV撮影に適した設定値
PP2	DVCAM (DV) 撮影に適した設定値
PP3	人物撮影向けの設定値
PP4	映画のような映像を撮影するときの設定値
PP5	夕焼けを撮影するときに適した設定値
PP6	モノトーン撮影するときの設定値

[PP1] から [PP6] のお買い上げ時の設定を変更できます。



1 スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。 [PP1]から[PP6]まで選べます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [SETTING] を選び、押しで決定する。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して調節したい項目を選び、押しで決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して画質を調節し、押しで決定する。

項目	調節する内容
[COLOR LEVEL]	-7 (薄くなる) ~ +7 (濃くなる) -8 : 白黒で撮影する。
[COLOR PHASE]	-7 (緑がかる) ~ +7 (赤みがかる)
[SHARPNESS]	0 (輪郭が柔らかくなる) ~ 15 (くっきりする)

項目	調節する内容
[SKINTONE DTL]	肌色部分の輪郭強調を抑えて、肌のしわを目立たなくする。 [OFF] : 設定しない。 [TYPE1] (肌色と認識する色の領域が狭い) ~ [TYPE3] (肌色と認識する色の領域が広い)
[SKINTONE LVL]	[SKINTONE DTL] 設定時の肌色部分の輪郭強調度合いを設定する。 [HIGH] (強調の度合いが大きい) ~ [LOW] (強調の度合いが小さい)
[AE SHIFT]	-7 (暗くなる) ~ +7 (明るくなる)
[AGC LIMIT]	オートゲインコントロール (AGC) の上限値を選ぶ ([OFF]、12dB、6dB、0dB)。 [OFF] は18dBになります。
[AT IRIS LMT]	アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を選ぶ (F11, F6.8, F4)。
[WB SHIFT]	-7 (白い部分が青みがかる) ~ +7 (赤みがかる)
[ATW SENS]	白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定する。 [HIGH] (赤みや青みが減る) - [MIDDLE] - [LOW] (赤みや青みが増す) 晴天時の日向では効果がありません。
[BLACK STRTCH]	[ON] : 暗部の γ カーブ特性を立ち上げ、暗部の諧調表現力を増加する。

項目	調節する内容
[CINEMA-TONE γ]	[OFF]：通常の撮影。 [TYPE1]：標準的なビデオガンマよりも良好なトーンスケールで肌色からニュートラルにかけて自然な中間色調を再現。そのため、人の肌が生き生きと撮れる。また、ハイライト部に対する極めて高い描写力により、深みのある映像を実現。 [TYPE2]：[TYPE1]の特長に加え、シャドウ部からハイライト部までの全露光域にわたって極めて高い描写力があり、より深い黒の表現が可能。
[CINE FRAME]	[50i/60i SEL] を60iに設定してあるとき [OFF]：通常の撮影。 [CINEFRAME30]：映画のような雰囲気を楽しめるモード。 [CINEFRAME24] より、映像にスムーズ感が出せる。 [CINEFRAME24]：映画で使用されている24コマの雰囲気を楽しめるモード。 [50i/60i SEL] を50iに設定してあるとき [OFF]：通常の撮影。 [CINEFRAME25]：映画のような雰囲気を楽しめるモード。
[COPY]	他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。
[RESET]	ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

6 4～5を繰り返して他の項目を調節する。

7 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [↵RETURN] を選び、押し決定する。

8 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押し決定する。

ピクチャープロファイルの表示が出ます。

◆ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で [OFF] を選び、SEL/PUSH EXECダイヤルを押し決定する。

◆ピクチャープロファイルの設定を確認するには

撮影またはスタンバイ中に、STATUS CHECK ボタンを押す (29ページ)。

◆ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。
- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押し決定する。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [SETTING] を選び、押し決定する。
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [COPY] を選び、押し決定する。
- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押し決定する。
- 6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押し決定する。コピーしないときは、[NO] を選びます。
- 7 PICTURE PROFILEボタンを押す。

◆お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。

- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [SETTING] を選び、押して決定する。
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [RESET] を選び、押して決定する。
- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押して決定する。
取り消さないときは、[NO] を選びます。
- 6 PICTURE PROFILEボタンを押す。

⚠️ ご注意

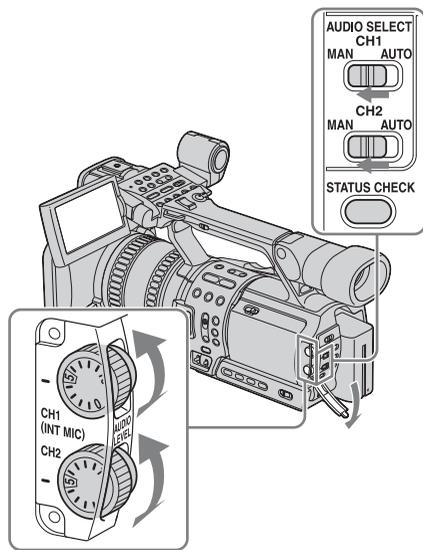
- [SKINTONE DTL] で [TYPE3] を選択している場合、肌色でない部分に効果が出る場合があります。
- [SKINTONE DTL] が [OFF] のときは、[SKINTONE LVL] の効果は表れません。(輪郭強調は最大になります。)
- アイリス、シャッタースピード、ゲインをすべて手動調節していると、[AE SHIFT] の効果が表れません。
- アイリスを手動調節していると、[AT IRIS LMT] の効果が表れません。
- [AT IRIS LMT] の設定よりも被写体が明るいときは、シャッタースピードが以下の速度まで自動的に調整されます。
 -  (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] が60iのときは、最大1/2000まで
 -  (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] が50iのときは、最大1/1750まで
- ゲインを手動調節していると、[AGC LIMIT] の効果が表れません。
- [CINEFRAME24] を選ぶと、シャッタースピードを1/30以下に設定していても、強制的に1/60に設定されます。**60i**
- [CINEFRAME30] を選ぶと、シャッタースピードを1/15以下に設定していても、強制的に1/30に設定されます。**60i**
- [CINEFRAME25] を選ぶと、シャッタースピードを1/12以下に設定していても、強制的に1/25に設定されます。**50i**
-  (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] の設定を切り換えると、PP1からPP6の [CINEFRAME] の設定は [OFF] になります。

好みの音に設定する

録音レベルを調節する—マイク音レベル

撮影するときのマイクの音量を調節できます。ヘッドホンをつけて音量を確認することをおすすめします。

外部入力するときは、チャンネル1とチャンネル2の録音レベルを別々に調節できます。内蔵マイクの音量は、CH1のAUDIO SELECTスイッチとCH1ダイヤルを使って、チャンネル1とチャンネル2の録音レベルを一緒に調節します。



1 調節するチャンネル (CH1またはCH2) のAUDIO SELECTスイッチを「MAN」にする。

内蔵マイクの音量を調節するとき、CH1のAUDIOスイッチを「MAN」にしてください。

音声レベルメーターが表示されます。

2 撮影またはスタンバイ中に、AUDIO LEVELダイヤルを回して、マイクの音量を調節する。

チャンネル1のマイク音レベルを調節するときはCH1ダイヤルを回し、チャンネル2のマイク音レベルを調節するときはCH2ダイヤルを回します。
内蔵マイクの音量を調節するときは、CH1ダイヤルを回します。

◆自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUDIO SELECTスイッチを「AUTO」にする。

ご注意

AUDIO/VIDEO端子またはHDMI/DV端子から入力された音声の音量は調節できません。

💡 ちょっ一言

音声設定の詳しい情報を確認するときは、STATUS CHECKボタンを押してください(29ページ)。自動調整時のマイク音レベルを確認することもできます。

外部マイクを使用するときは、(AUDIO SET)メニューの[MIC SELECT]を[XLR]に設定してください(70ページ)。

外部マイク使用時に、チャンネル1とチャンネル2のオーディオレベルを連動させるときは、(AUDIO SET)メニューの[XLR SET] - [XLR AGC LINK]で設定できます(71ページ)。両チャンネルのAUDIO SELECTスイッチは「AUTO」にしてください。

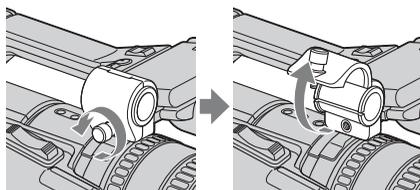
外部の音源をつなぐ

INPUT1/INPUT2端子に別売りのマイクやオーディオ機器を接続できます。

◆別売りのマイクを取り付ける

ソニー製の外形が $\phi 21$ mmのマイク(ECM-678)のみ取り付けられます。

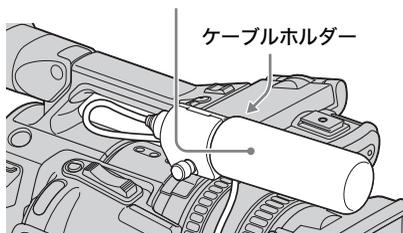
マイクホルダーのネジをゆるめ、取り付け部のカバーを開く。



マイクをマイクホルダーに取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーのネジを締める。

マイクケーブルは、ケーブルホルダーにかけてください。

外部マイク (別売り)

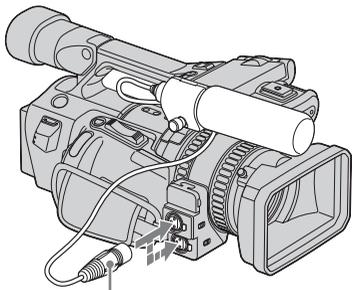


⚠ ご注意

ビデオライトなどをシューアダプターに取り付けたときに、マイク部分が長い外部マイクを取り付けると、光源をさえぎる場合があります。

◆INPUT1またはINPUT2端子につなぐ

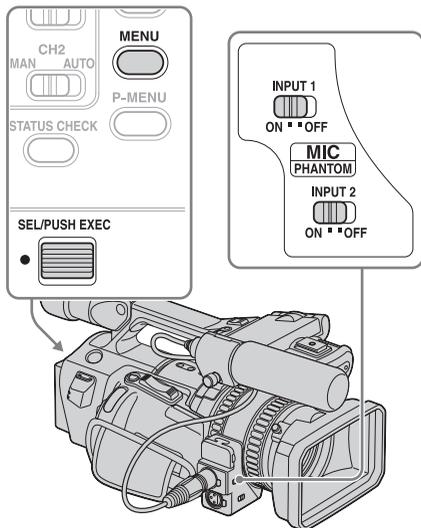
マイクケーブルやオーディオ機器のケーブルを、端子の配置を確認してつなぎます。



XLRコネクタ（オス）

記録するチャンネルを選ぶ

INPUT1またはINPUT2端子からの音声を記録するために、下記の設定を行います。



スタンバイ中に、MENUボタンを押す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (AUDIO SET) メニューを選び、押して決定する。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [MIC SELECT] を選び、押して決定する。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [XLR] を選び、押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [XLR SET] を選び、押して決定する。

6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [XLR CH SEL] を選び、押して決定する。

7 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してチャンネルを選び、押して決定する。

接続端子	[XLR CH SEL] の設定	記録されるチャンネル
INPUT1	CH1	チャンネル1
	CH1, CH2	チャンネル1 チャンネル2
INPUT2	CH1	チャンネル2
	CH1, CH2	-

8 接続端子ごとの設定を行う。
メニューの [INPUT1 LEVEL] または [INPUT2 LEVEL] と、それぞれの端子のPHANTOMスイッチを設定します。

音源	接続端子	メニューの設定	PHANTOMスイッチの設定
マイク	INPUT1	[INPUT1 LEVEL] — [MIC]	ON
	INPUT2	[INPUT2 LEVEL] — [MIC]	ON
オーディオ機器	INPUT1	[INPUT1 LEVEL] — [LINE]	OFF
	INPUT2	[INPUT2 LEVEL] — [LINE]	OFF

9 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

ご注意

別売りのマイクを取り付けるときは、簡易全画面表示（90ページ）で、ウィンドスクリーンが画面に入らないことを確認してください。PHANTOMに対応したマイク以外の機器を接続するときは、PHANTOMスイッチを「OFF」にしてください。「ON」にしたままで使用すると、接続した機器が故障することがあります。

ちょっと一言

風が強いときは、接続する端子に合わせてメニューの [INPUT1 WIND] / [INPUT2 WIND] を [ON] にしてください（72ページ）。以下の場合、[MIC NR] を [OFF] にすることをおすすめします（70ページ）。

- マイクを本体から離して使うとき
- [XLR CH SEL] を [CH1] に設定し、INPUT1端子からのみ音声を入力するとき
- [INPUT1 LEVEL] / [INPUT2 LEVEL] を [LINE] に設定しているとき

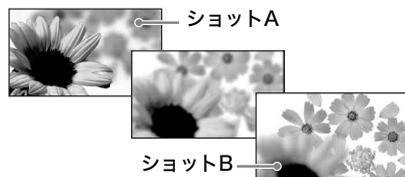
使いこなして撮る

ショットトランジションを使う

フォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスの設定を登録し、登録した設定へなめらかに遷移（ショットトランジション）することができます。

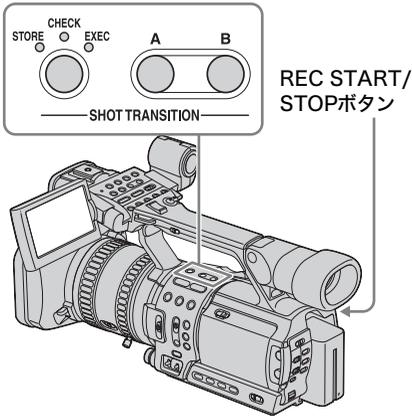
例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカス送りをしたり、アイリスを設定して被写界深度を変化させたりできます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間もなめらかに場面を切り換えることができます。

手ぶれを防ぐために三脚を使うことをおすすめします。



 (CAMERA SET) メニューの [SHOT TRANS] で遷移カーブや遷移時間を設定できます。また、スタートタイマーを使って撮影することもできます（64ページ）。

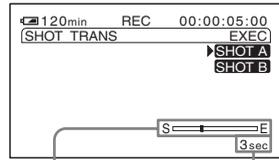
[START TIMER] で遷移する様子は確認できません。



◆ショットトランジションを使って撮影する

- 1 STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、EXECランプを点灯させる。
- 2 REC START/STOPボタンを押す。
- 3 希望の設定を登録したボタン（AまたはB）を押す。

現在の録画設定から、登録した設定に遷移します。



トランジションバー カウントダウン表示*
S：スタート
E：エンド

*スタートタイマー動作中に表示されます。

◆準備1：設定（ショット）を登録する

- 1 STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、STOREランプを点灯させる。
- 2 手で調節する。
アイリスなどのカメラ設定をするときは、AUTO LOCKスイッチを中央（オートロック解除位置）にしてください。各機能の調整のしかたについては、31～35ページをご覧ください。
- 3 登録するボタン（AまたはB）を押す。
選んだボタンに登録されます。

ご注意

ショットAとショットBに登録した設定値は、POWERスイッチを「OFF」にすると消去されます。

◆準備2：登録したショットを確認する

- 1 STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、CHECKランプを点灯させる。
- 2 設定を登録したボタン（AまたはB）を押す。
登録したショットの画像が変わります。
フォーカスやズームなどが登録した設定に自動的に調節されます。

ご注意

(CAMERA SET) メニューで設定した [TRANS CURVE] や [TRANS TIME]、

ご注意

ショットトランジションの確認と実行操作中は、手動調節やズーム、フォーカスは働きません。
 (CAMERA SET) メニューの [SHOT TRANS] を変更するときは、STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、ランプを消してから操作してください。

任意の設定からショットトランジションを実行したとき、登録したショット（AまたはB）から元の設定に戻すことはできません。

ショットトランジション操作中に次のボタンを押すと、ショットトランジションが解除されます。

- PICTURE PROFILE
- MENU
- P-MENU
- EXPANDED FOCUS
- STATUS CHECK

ちょっと一言

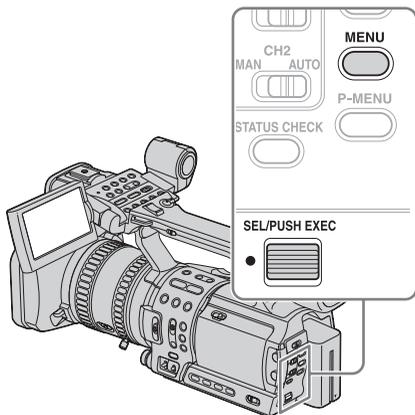
登録したショットAからショットBへ、またはその逆に遷移することもできます。例えばショットAからショットBに遷移するときは、CHECKランプを点灯させてAボタンを押し、REC START/STOPボタンを押します。次にEXECランプを点灯させてBボタンを押してください。手順2でREC START/STOPボタンを押す前に、希望の設定を登録したボタン（AまたはB）を押すと、ショットトランジションのリハーサルができます。

◆ショットランジションを解除するには

STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、ランプを消す。

好みの色に補正する —カラーコレクション

撮影画面中の葉の色や空の色だけを、イメージどおりの色にしたいときなどに使います。2種類の色を選択、補正できます。



- 1 撮影またはスタンバイ中に、MENUボタンを押す。
- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してCAMERA（カメラ）メニューを選び、押して決定する。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [COLOR CORRCT] を選び、押して決定する。
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [TYPE] を選び、押して決定する。

- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して補正タイプを選び、押して決定する。

[OFF]

カラーコレクションを行わない。

[COLOR REVISN]

メモリーに設定されている色を補正する。メモリー以外の色（[COLOR EXTRACT] の設定で白黒で表示される部分）は補正されない。

[COLOR EXTRACT]

メモリーに設定されている色のみカラーで表示する。他の部分は白黒になる。エフェクトとして利用する以外に、メモリーを設定するときの確認にも便利。

が表示されます。

- 6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [MEMORY SEL] を選び、押して決定する。

[1]（お買い上げ時の設定）

メモリー 1 の設定のみ有効。

[2]

メモリー 2 の設定のみ有効。

[1&2]

メモリー 1、2ともに有効。

- 7 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [MEM1 COLOR] または [MEM2 COLOR] を選び、押して決定する。

- 8 「色の選びかた」（48ページ）を参考に、[PHASE]、[RANGE]、[SATURATION] を調整する。

- 9 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [MEM1 REVISN] または [MEM2 REVISN] を選び、押して決定する。

次のページへつづく

10 色合いを調整する。

[R] を増やすとメモリーで選択した色に赤みが増し、減らすと減ります（シアンの色合いが増します）。

[B] を増やすとメモリーで選択した色に青みが増し、減らすと減ります（黄色の色合いが増します）。

[R]、[B] とともに0の場合、補正されません。

11 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

12 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

◆カラーコレクションを解除するには

手順5で [OFF] を選ぶ。

ご注意

選択した色の幅が狭すぎると、色の補正効果が見えにくいことがあります。

[COLOR EXTRACT] に設定しているとき、有効ではないメモリーの色はつきません。

[COLOR REVISN] に設定しているとき、有効ではないメモリーの色は補正されません。

ちょっと一言

2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。

カラーコレクションの設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。

ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの [WB SHIFT]、[COLOR LEVEL]、[COLOR PHASE] の設定を変更すると、色領域や補正される色合いが変化します。カラーコレクションの設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、カラーコレクションの設定を見直してください。

ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

◆色の選びかた

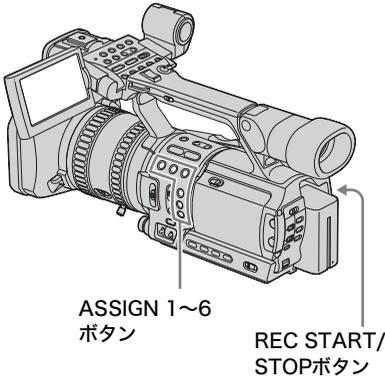
項目	設定内容
PHASE	色相を選ぶ（0～31）。 0（紫）～8（赤）～16（黄）～24（緑）～31（青） お買い上げ時は、メモリー 1 は19、メモリー 2は8に設定されています。
RANGE	色相の範囲を選ぶ（0～31）。 0：選択色なし 1：狭い（単色のみ選択する） ～31：広い（色相の近い他の色も選択する） お買い上げ時は、メモリー 1 は13、メモリー 2は8に設定されています。
SATURATION	色の飽和度を選ぶ（0～31）。 0：薄い色から濃い色まで選択する～31：濃い色のみ選択する お買い上げ時は、メモリー 1 は0、メモリー 2は15に設定されています。

◆色選択のコツ

- 1 [COLOR EXTRACT] に設定して、目的の色以外を白黒にする。
これにより、選択された領域が確認しやすくなります。
- 2 [RANGE] を4～5にして、単色のメモリーにする。
- 3 [SATURATION] を0にして、薄い色まで選択する。
- 4 目的の被写体に色がつくように、[PHASE] を変更する。
- 5 必要な部分全体に色がつくように、[RANGE] を変更する。
- 6 色の薄い部分が不要の場合は、[SATURATION] で必要な部分のみ色がつくようにする。
- 7 カラー補正として使用する場合は、[OK] を選び、[TYPE] 画面に戻り、[COLOR EXTRACT] を [COLOR REVISN] に変更する。

効果的な場面転換をする —フェーダー—

場面と場面の間に、次のような効果を入れながらつなぎ撮りするときに使います。あらかじめASSIGNボタンにフェーダー機能を割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。



[WHITE FADER]



[BLACK FADER]



- 1 スタンバイ中（フェードインのとき）または撮影中（フェードアウトのとき）に、フェーダー機能を割り当てたASSIGNボタンを繰り返し押し、希望の効果を選ぶ。押すたびに、[WHITE FADER] → [BLACK FADER] →（表示なし）に切り換わります。

2 REC START/STOPボタンを押す。

フェーダー表示が点灯に変わり、フェード終了後に消えます。

◆フェードイン・フェードアウトを解除するには

フェーダー機能を割り当てたASSIGNボタンを繰り返し押し、フェーダー表示を消す。

ご注意

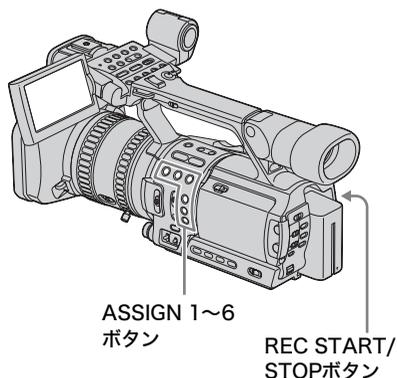
コマ撮り中は、フェードイン・フェードアウトは働きません。DVCAM DV

録画開始時にインデックス信号を打ち込む

ご注意

撮影したテープにインデックスを後から打ち込むことはできません。

インデックス信号を打ち込んで撮影すると、その場面を頭出しできます（61ページ）。インデックスの変わり目を確認したり、インデックスごとに編集するとき便利です。あらかじめASSIGNボタンにインデックス機能を割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。



インデックス機能を割り当てたASSIGNボタンを押す。

撮影中に押したとき

約7秒間  が表示され、インデックス信号が記録されます。

スタンバイ中に押したとき

 が点滅します。

REC START/STOPボタンを押して録画を始めると、約7秒間  が表示され、インデックス信号が記録されます。

◆インデックス打ち込みを取り消すには

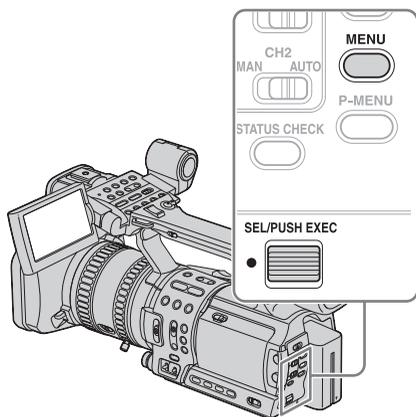
録画を始める前に、インデックス機能を割り当てたASSIGNボタンをもう一度押す。

i.LINKで接続した機器で撮影する

—外部RECコントロール

本機とHDV/DVCAM/DV対応の機器（デジタルHDビデオカメラレコーダーやデジタルビデオカメラレコーダー、ハードディスクレコーダーなど）をi.LINKケーブルでつなぎ、本機と他機で同時に撮影したり、本機から他機へ連続して撮影することができます。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 本機と他機をi.LINKケーブルでつなぎ（91ページ）。

2 POWERスイッチを「CAMERA」にする。

3 MENUボタンを押す。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して  (IN/OUT REC) メニューを選び、押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [EXT REC CTRL] を選び、押して決定する。

6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [REC CTL MODE] を選び、押して決定する。

7 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して録画コントロールモードを選び、押して決定する。

[OFF]

他機で録画を行わない。

[SYNCHRONOUS]（同時録画）

本機の録画操作に連動して、他機側でも同時に映像、音声を記録する。

（EXT  が表示されます。）

[RELAY]（リレー録画）

本機で撮影中のテープが終了近くになったら、他機で映像、音声を続けて記録する。（EXT  が表示されます。）

8 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [STBY COMMAND] を選び、押して決定する。

9 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して他機の録画停止状態を選び、押して決定する。

[REC PAUSE]

本機の録画停止操作で、他機をREC PAUSE状態にして録画停止する。

[STOP]

本機の録画停止操作で、他機をSTOP状態にして録画停止する。

10 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

REC START/STOP ボタンを押して、撮影を始める。

◆撮影が終わったら

もう一度REC START/STOPボタンを押す。

🚫 ご注意

- [REC FORMAT] が [HDV1080i] で、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] が [ON] のときは、撮影開始直後の映像が乱れてi.LINK経由で他機へ流れます。本機で撮影するときは、最初は編集用に使用しないシーンを撮影することをおすすめします。

コマ撮り設定中は、他機をコントロールできません。

本機と他機が通信可能な状態ではないとき、

EXT、**EXT** は表示されません。

[REC CTL MODE]が[OFF]以外するとき、以下の機能は働きません。

- EXPANDED FOCUSのボタン
- [ALLSCAN MODE]に割り当てたASSIGNボタン

💡 ちょっと一言

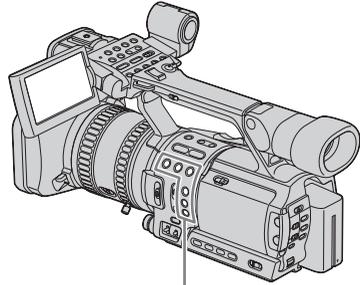
他機を録画状態のままにして本機のテープを交換するときは、テープが終わるまで撮影して、自動的に撮影が終了してから行ってください。

テープの位置を確認する

—レックレビュー

テープを停止させた場面を数秒間再生し、確認できます。

あらかじめASSIGNボタンにレックレビューを割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。



ASSIGN 1~6ボタン

スタンバイ中に、レックレビューを割り当てたASSIGNボタンを押す。

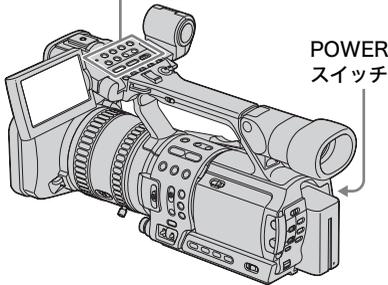
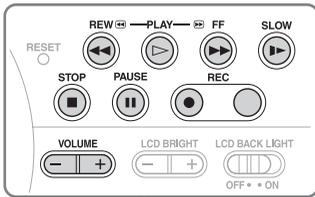
テープを停止した部分が数秒間再生され、スタンバイに戻ります。

再生する

あらかじめカセットを入れておいてください。

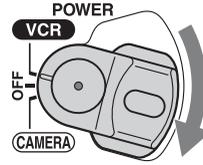
一部の操作はリモコンでも行えます。
テレビで見るときは、57ページをご覧ください。

再生時は、 (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] を [AUTO] にしてください (お買い上げ時の設定)。

POWER
スイッチ

- 1 液晶パネルを開けて、好みの角度に調節する。

- 2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「VCR」にする。



- 3 ◀◀REWボタンを押して、見たい位置まで巻き戻す。

- 4 ▶▶PLAYボタンを押す。

◆音量を調節するには

VOLUMEボタン (小さく) / + (大きく) を押して調節する。

◆再生を停止するには

■STOPボタンを押す。

◆一時停止するには

再生中に■PAUSEボタンを押す。

▶▶PLAYボタンまたは■PAUSEボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

一時停止状態が3分以上続くと、自動的に停止になります。

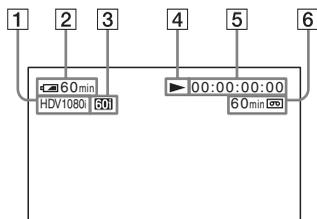
◆早送り・巻き戻しするには

停止中に▶▶FFボタン/◀◀REWボタンを押す。

◆ファインダーで見るには

液晶パネルを閉じて、ファインダーを見やすい角度に調節する。

◆テープ再生中の表示



- 1 再生信号の規格 (HDV1080i/DVCAM/DV SP)
- 2 バッテリー残量
- 3 50i/60i表示 (84ページ)
- 4 テープ走行表示
- 5 タイムコードまたはユーザービット
- 6 テープ残量表示

⚠️ ご注意

- 60i/50iが変わるところでは、システムの同期が変わるため、再生するとそのつなぎ目で画像や音声途切れします。
- HDV規格で記録したテープは、DVCAM/DV規格のビデオカメラやミニDVCAM (DV) デッキでは再生できません。
- DV規格のテープは、SPモードで記録されている場合のみ、本機で再生できます (DV SP表示が出ます)。LPモードで記録されたテープは再生できません。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードやユーザービットが正常に表示されません。

💡 ちょっと一言

-  (LCD/VF SET) メニューの [VF POWER] を [ON] にすると、液晶画面とファインダーの両方に画像が映ります (73ページ)。

テープのできるいろいろな再生

◆画像を見ながら早送り・巻き戻しするには — ピクチャーサーチ

再生中に FFボタン/ REWボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻ります。

◆早送り・巻き戻し中に画像を見るには — 高速アクセス

早送り中に FFボタン、巻き戻し中に REWボタンを押し続ける。

離すと、早送り・巻き戻しに戻ります。

◆その他の変速再生をするには

音声は出ません。また、前の映像がモザイク状に残ることがあります。

こんなときは	操作するボタン
逆方向に再生する*	再生中にリモコンの◀ (逆方向)
スロー再生する	再生中に▶▶ (スロー) 逆方向へは以下の順 DVCAM DV SP: ① リモコンの◀ (逆方向) ② (スロー)
2倍速で見る (倍速再生) DVCAM DV SP	再生中にリモコンの×2 (倍速) 逆方向へは以下の順: ① リモコンの◀ (逆方向) ② リモコンの×2 (倍速)
コマ送りで見ると	一時停止中にリモコンの▶▶▶ (コマ送り) 逆方向へは一時停止中にリモコンの◀◀◀ (コマ送り) DVCAM DV SP

▶▶▶PLAYボタンを押すと、ふつうの再生に戻りません。

*画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。

ご注意

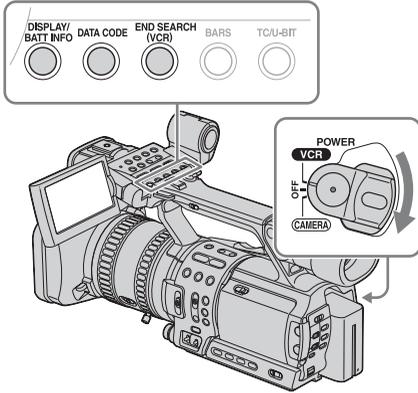
HDV規格の場合、一時停止や変速再生している映像を、HDV/DV端子から出力することはできません。

HDV規格のテープでは、以下のとき画面が乱れます。

- ピクチャーサーチ中
- 逆方向再生中

再生の便利な機能

最後に撮影した場面を頭出ししたり、撮影した日付やカメラデータ（設定情報）を表示したりできます。



最後に録画した場面を頭出しする —エンドサーチ

現在のテープ位置に関係なく、最後に録画終了した場面を頭出しできます。カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは動きません。

1 POWERスイッチを「VCR」にする。

2 END SEARCH (VCR) ボタンを押す。

最後に録画した場面の約5秒間が再生されます。

◆「エンドサーチ」を中止するには
END SEARCH (VCR) ボタンを押す。

⚠ ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、エンドサーチが正しく働かない場合があります。

画面表示を出す・消す

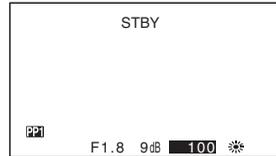
タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押す。

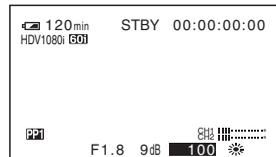
押すたびに、（非表示）→（表示）と変わります。

電源スイッチが「CAMERA」のときは、（簡易表示）→（非表示）→（詳細表示）の順に変わります。

簡易表示



詳細表示



☺ ちょっと一言

テレビにつないで見るときは、 (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [V-OUT/PANEL] に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます（83ページ）。ただし、HDVテープ再生時は、 (IN/OUT REC) メニューで [COMPONENT] を [1080i/480i] * に設定した場合、走行モード表示とテープカウンターのみ表示されます。

* [1080i/480i] は [50i/60i SEL] の設定が60iのとき。
50iに設定しているときは、[1080i/576i] になります。

日付時刻・カメラデータを表示する—データコード機能

撮影時に自動的に記録される日付時刻データやカメラデータ（設定情報）を再生中に見ることができます。

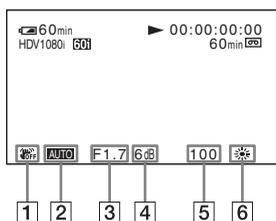
POWERスイッチを「VCR」にする。

再生または再生一時停止中に、本体またはリモコンのDATA CODEボタンを押す。

押すたびに、日付表示 カメラデータ（表示なし）に切り換わります。

◆カメラデータの表示

日付時刻データ表示のときは、同じエリアに日時が表示されます。日付・時刻を設定せずに撮影すると [----] と [---:--] が表示されます。



1 手ぶれ補正 [OFF]

2 明るさ調節

3 絞り値

手動で絞り値を最大にしておくと、絞り値の場合に **CLOSE** と表示されます。

4 ゲイン

5 シャッタースピード

6 ホワイトバランス

ショットトランジション撮影した画像を再生すると、**PWB** が表示されます。

◆カメラデータを表示しないようにするには

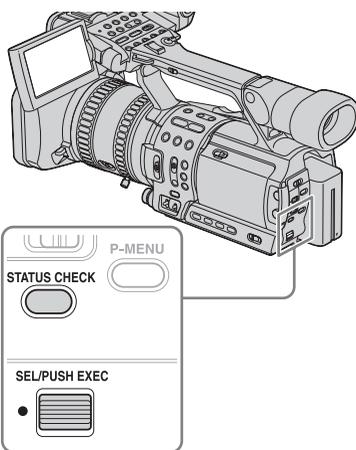
☰ (OTHERS) メニューの [DATA CODE] で [DATE] を選ぶ (82ページ)。

DATA CODEボタンを押すたびに、日付表示 (表示なし) に切り換わります。

ビデオ情報を表示する—ステータスチェック

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- AUDIO MIXなどのAUDIO設定 (69ページ)
- OUTPUT設定 ([VCR HDV/DV] など) (74ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能 (89ページ)



STATUS CHECKボタンを押す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、項目を表示する。

回すたびに、AUDIO OUTPUT ASSIGNに切り換わります。

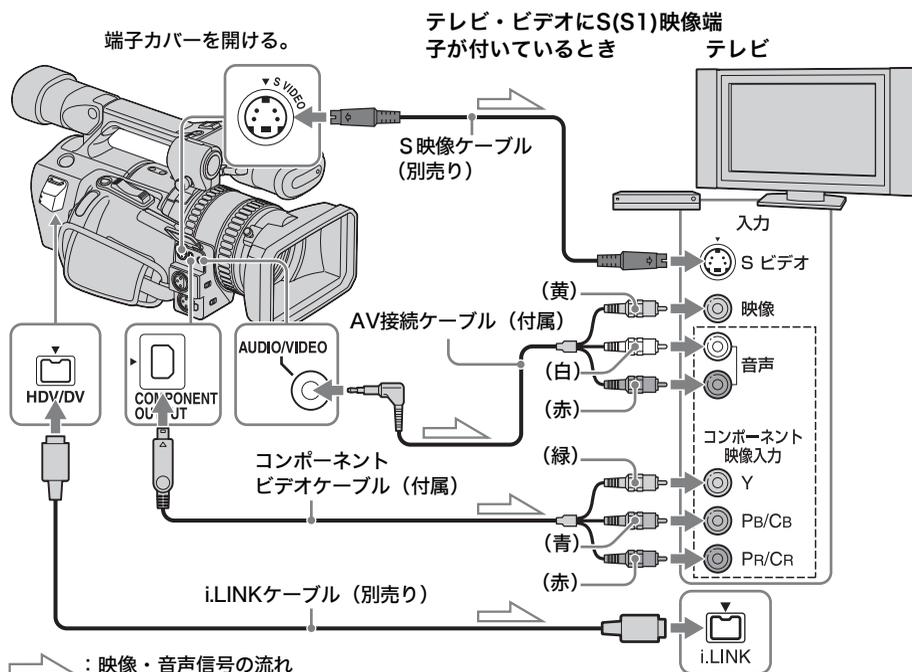
◆ビデオ情報表示を消すには

STATUS CHECKボタンを押す。

テレビにつないで見る

テレビによって接続のしかたが異なります。電源は、付属の接続コード (DK-415) と別売りのACアダプター /チャージャーを使ってコンセントからとってください (19ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。ダビングするときは、91ページをご覧ください。

ハイビジョンテレビで見る



次のいずれかです。

i.LINKケーブルでつなぐ

HDV/DV対応のi.LINK端子が搭載されているテレビと接続するときは、この方法をおすすめします。

- i.LINKケーブルをつなぐ前に、 (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] を [AUTO] にしてください (お買い上げ時の設定)。

- i.LINK接続の場合は、テレビに本機を認識させるために、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

コンポーネントビデオケーブルでつなぐ

- HDV規格で記録したテープを見るときは、 (IN/OUT REC) メニューの [COMPONENT] をテレビに合わせて設定してください (77ページ)。DVCAM/

次のページへつづく➔

DV規格で記録したテープは、
[COMPONENT] の設定に関わらず、
DVCAM (DV) フォーマット相当の画像
が出力されます。
コンポーネントビデオケーブルからは映像
のみ出力されます。音声を出力するには、
付属のAV接続ケーブルの白と赤のプラグ
も接続してください。

AV接続ケーブルでつなぐ

接続先の機器にS(S1)映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像ケーブル（別売り）で本機のS VIDEO端子と接続先のS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。画像をより忠実に再現できます。S映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- [VCR HDV/DV] はi.LINKケーブルをつなぐ前に設定してください。つないでから設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。
- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM (DV) 規格の映像を、COMPONENT OUTPUT端子から出力することはできません。

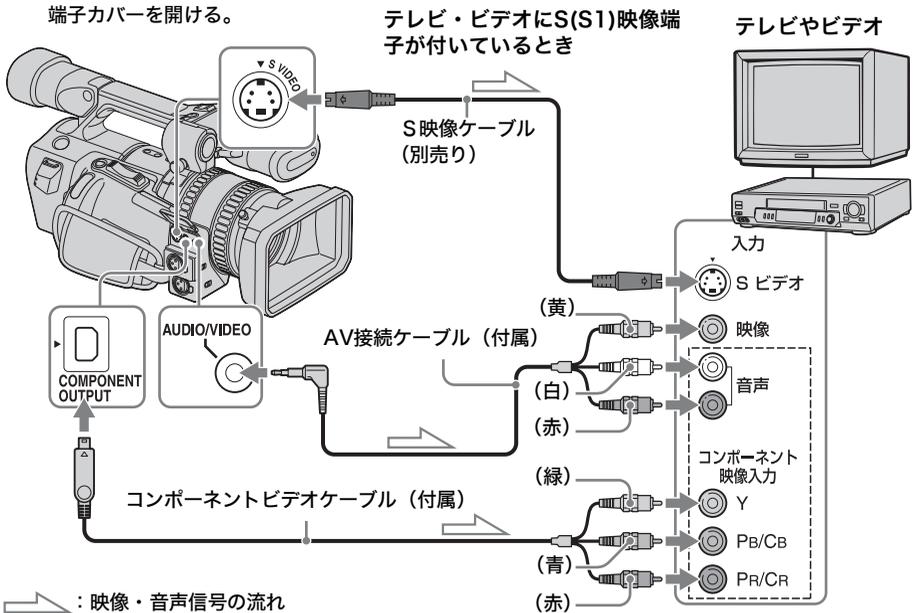
ちょっと一言

- アナログ系出力端子から映像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、COMPONENT OUTPUT端子→S VIDEO端子→AUDIO/VIDEO端子の順で優先されます。i.LINKについて詳しくは、125ページをご覧ください。

◆ビデオがテレビにつながっているときは

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力（ライン）」に切り換える。

ワイドテレビ/4：3テレビで見る



次のいずれかでつなぐ。

コンポーネントビデオケーブルでつなぐ

コンポーネントビデオ端子が搭載されているテレビと接続するときは、この方法をおすすめします。

HDV規格で記録したテープを見るときは、 (IN/OUT REC) メニューの [COMPONENT] をテレビに合わせて設定してください (77ページ)。DVCAM/DV規格で記録したテープは、[COMPONENT] の設定に関わらず、DVCAM (DV) フォーマット相当の画像が出力されます。

コンポーネントビデオケーブルからは映像のみ出力されます。音声を出力するには、付属のAV接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。

AV接続ケーブルでつなぐ

接続先の機器にS(S1)映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ (映像) の代わりにS映像ケーブル (別売り) で本機のS VIDEO端子と接続先のS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。画像をより忠実に再現できます。高解像度を生かすためには、S映像ケーブルで接続してください。S映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。

◆4:3テレビで見るには

HDV規格で記録したテープを4:3テレビで見るには、 (IN/OUT REC) メニューの [DOWN CONVERT] を希望のモードに設定してください (78ページ)。DVCAM/DV規格で記録したテープを4:3テレビで再生するときは、撮影時に  (IN/OUT REC) メニューの [DV

次のページへつづく→

見る

見る

WIDE REC] を [OFF] にしてください
(76ページ)。

◆ビデオがテレビにつながっているときは

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力 (ライン)」に切り換える。

◆モノラルテレビ (音声端子がひとつ) のときは

AV接続ケーブル (付属) の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ (左音声) か赤いプラグ (右音声) のどちらかを音声入力へつなぐ。

モノラル音声で聞くときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

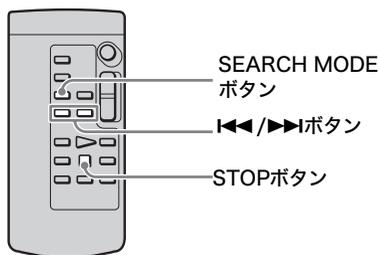
ご注意

著作権保護のための信号が記録されている DVCAM (DV) 規格の映像を、COMPONENT OUTPUT端子から出力することはできません。

テープの画像を頭出しする

撮影日でテープを頭出しする — 日付サーチ

撮影日の変わり目を頭出しできます。



- 1 POWERスイッチを「VCR」にする。
- 2 リモコンのSEARCH MODEボタンを繰り返し押して、「DATE SEARCH」を選ぶ。
- 3 リモコンのI<< (前の日付) / >>I (後の日付) ボタンを押して、頭出しする。
現在のテープ位置に対して前後の日付を選びます。
選んだ場面で自動的に再生します。

◆サーチを中止するには

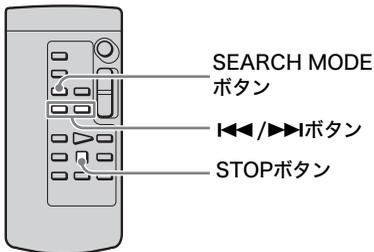
リモコンのSTOPボタンを押す。

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。
テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。

録画の開始位置を探す—インデックスサーチ

撮影開始時に打ち込んだインデックス（50ページ）を頭出しできます。



POWERスイッチを「VCR」にする。

リモコンのSEARCH MODEボタンを繰り返し押して、「INDEX SEARCH」を選ぶ。

リモコンのI◀◀（前のインデックス）/▶▶I（後のインデックス）ボタンを押して、頭出しする。

現在のテープ位置に対して前後のインデックスを選びます。
選んだ場面で自動的に再生します。

◆サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタンを押す。

ご注意

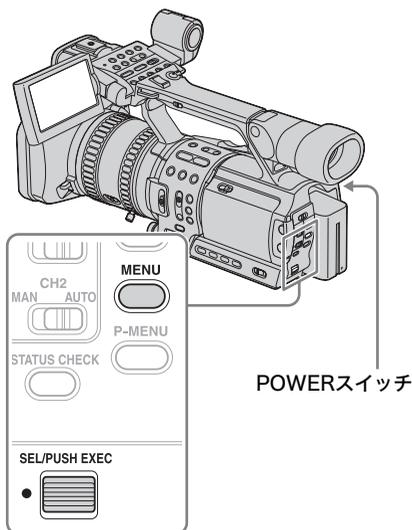
インデックスの間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく頭出しできないことがあります。
テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。

進んだ使いかた

メニューで設定する

メニュー項目の使いかた

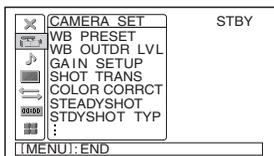
画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。



電源を入れる (20ページ)。

MENUボタンを押す。

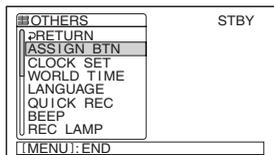
メニューインデックス画面が表示されます。



メニューで設定する

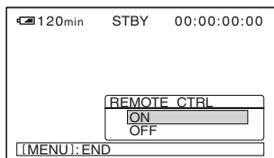
SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

- 📷 CAMERA SET (63ページ)
- 🔊 AUDIO SET (69ページ)
- 📷 LCD/VF SET (73ページ)
- 📷 IN/OUT REC (74ページ)
- 📷 00:00 TC/UB SET (79ページ)
- 📷 OTHERS (81ページ)

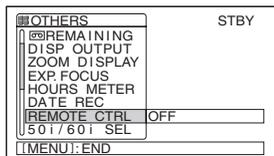


4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。

設定できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目は暗くなります。



5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

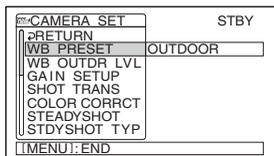
[RETURN] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

📷 (CAMERA SET) メニューを使う

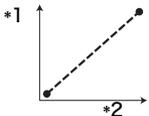
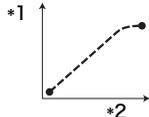
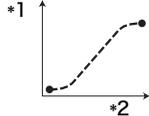
—STDYSHOT TYP・FRAME RECなど

📷 (CAMERA SET) メニューでは、「メニュー項目の使いかた」(62ページ) の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると () 内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目は暗くなります。

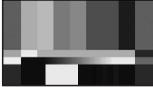


項目	設定
WB PRESET	プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは32ページをご覧ください。
WB OUTDR LVL	プリセットホワイトバランスを [OUTDOOR] に設定しているときに、SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、[OUTDOOR] のホワイトバランス値を変更できます。 -7 (青め) ~0 (標準) ~+7 (赤め) から選びます。お買い上げ時は0に設定されています。
GAIN SETUP	GAINスイッチ「H」「M」「L」の調整値を設定するときを選びます (34ページ)。 <ol style="list-style-type: none"> SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [H] [M] [L] のいずれかを選び、押し決定する。 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してゲインの調整値を選び、押し決定する。 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dBから選びます。 数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押し決定する。 MENUボタンを押し、メニュー画面を消す。

項目	設定
SHOT TRANS	<p>ショットトランジションの [TRANS TIME]、[TRANS CURVE]、[START TIMER] を設定をするときに選びます。ショットトランジションの操作方法については、45ページをご覧ください。</p> <p>🔊 ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [SHOT TRANS] を設定するときは、STORE/CHECK/EXECボタンを繰り返し押し、ランプを消してから操作してください (45ページ)。
	<p>TRANS TIME 遷移時間を選びます。[2.0 sec] ～ [15.0 sec] から選びます。お買い上げ時は [4.0 sec] に設定されています。</p>
	<p>TRANS CURVE</p> <p>遷移カーブを選びます。 各モードのトランジションカーブは図のように遷移します。 *1：パラメーター量 *2：時間の遷移</p> <hr/> <p>LINEAR 直線的に遷移したいときに選びます。</p>  <hr/> <p>▷SOFT STOP</p> <p>終了地点付近をゆっくり遷移したいときに選びます。</p>  <hr/> <p>SOFT TRANS</p> <p>開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移したいときに選びます。</p> 
	<p>START TIMER</p> <hr/> <p>▷OFF ショットトランジションをスタートするときにタイマーを使わないときに選びます。</p> <hr/> <p>5sec ショットトランジションの実行を、5秒後に開始するときに選びます。</p> <hr/> <p>10sec ショットトランジションの実行を、10秒後に開始するときに選びます。</p> <hr/> <p>20sec ショットトランジションの実行を、20秒後に開始するときに選びます。</p>
COLOR CORRCT	<p>撮影中の特定の色だけをイメージどおりの色にしたいときに選びます。カラーコレクションの操作方法については、47ページをご覧ください。</p>

項目	設定
STEADY SHOT	▷ON 手ぶれ補正が働きます。[STDYSHOT TYP] で手ぶれ補正の効果を選べます。
	OFF (OFF) 手ぶれ補正が働きません。三脚を利用しての撮影時に選ぶと、より自然な画像になります。ASSIGNボタンを使って、手ぶれ補正を解除することもできます (89ページ)。
	<p>ご注意</p> <p>VCL-HG0872ワイドコンバージョンレンズ (別売り) 以外のコンバージョンレンズを装着した場合は、手ぶれ補正が効きにくくなります。</p> <p>VCL-HG0872ワイドコンバージョンレンズ (別売り) を装着して撮影するときは、[STDYSHOT TYP] で [WIDE CONV.] を選択してください (65ページ)。</p>
STDY-SHOT TYP	撮影状況に合わせて手ぶれ補正の効果を選ぶことができます。手ぶれ補正を解除したいときは、メニューの [STEADYSHOT] で [OFF] を選ぶ、またはASSIGNボタンを使います (89ページ)。
	HARD 強めに手ぶれ補正を働かせるときに選びます。パン・ティルト撮影には向きません。
	▷ STANDARD 通常の手ぶれ補正を使うときに選びます。
	SOFT 自然な手ぶれ感を残しつつ、手ぶれ補正を働かせるときに選びます。
	WIDE CONV. ワイドコンバージョンレンズ (別売り) を使って撮影するときに選びます。ソニー製のVCL-HG0872ワイドコンバージョンレンズ (別売り) を使うときに最適な設定です。
PEAKING	ピーキング使用時に表示される輪郭の色とレベルを変更できます。
	COLOR 輪郭の色を [WHITE] [RED] [YELLOW] から選びます。お買い上げ時は [WHITE] に設定されています。
	LEVEL 輪郭のレベルを [HIGH] [MIDDLE] [LOW] から選びます。お買い上げ時は [MIDDLE] に設定されています。
AF ASSIST	▷OFF 通常の撮影。
	ON オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます。
AE RESPONSE	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[FAST] [MIDDLE] [SLOW] から選びます。お買い上げ時は [FAST] に設定されています。

項目	設定
MARKER	<p>▷OFF マーカー表示を画面に出さないときに選びます。</p> <hr/> <p>ON [MARKER SEL] で選んだマーカー表示を画面に出すときに選びます。ASSIGNボタンを使って、マーカー表示を出すこともできます (89ページ)。</p> <hr/> <p>ご注意 センターマーカーとその位置は、調整や設定、撮影には影響ありません。</p>
MARKER SEL	<p>メニューの [MARKER] を [ON] に設定したときに、表示するマーカーの種類を選べます。選んだマーカーごと [ON] または [OFF] で表示/非表示を選びます。複数のマーカーを同時に表示することもできます。お買い上げ時は [CENTER] のみ [ON] になっています。</p> <hr/> <p>CENTER 画面の中心にマーカーを表示します (センターマーカー)。 </p> <hr/> <p>4:3 4:3に切り出した位置を表示します。 </p> <hr/> <p>SAFETY ZONE 一般的な家庭用テレビで受像できる範囲 (80%) を表示します。 </p> <hr/> <p>ご注意 [4:3] は、DVの4:3画面で撮影しているときは表示されません。 マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます (外部に出力することはできません)。 マーカー表示中はアナログ端子から画面表示を出力することはできません。</p> <p> ちょっと一言 すべての設定を [ON] にして同時に表示することもできます。</p>
FLCKR REDUCE 60i	<p>▷ON 通常の撮影時に選びます。電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。</p> <hr/> <p>OFF フリッカーを低減したくないときに選びます。</p> <hr/> <p> ご注意  (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] が50iに設定されているときは、選択できません。常に [OFF] の設定になります。</p>

項目	設定
HANDLE ZOOM	<p>ハンドルズーム切換スイッチの「H」と「L」のズームスピードを設定するときを選びます (28ページ)。</p> <p>SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [H] または [L] を選び、押して決定する。</p> <p>SEL/PUSH EXECダイヤルを回してズームスピードを選び、押して決定する。</p> <p>1～8から選びます。</p> <p>数値が大きくなるほど、スピードが速くなります。</p> <p>SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。</p> <p>MENUボタンを押し、メニュー画面を消す。</p>
ZEBRA LEVEL	<p>詳しくは36ページをご覧ください。</p>
BARS TYPE	<p>BARSボタンを押したときに表示されるカラーバーのタイプを2種類から選べます。ASSIGNボタンを使ってカラーバーを表示することもできます (89ページ)。</p> <hr/> <p>▷TYPE1 下記のようなカラーバーが表示されます。</p>  <hr/> <p>TYPE2 下記のようなカラーバーが表示されます。</p> 
SETUP 60i DV CAM DV 亜	<p>▷0% セットアップレベル0%のシステムで記録するときを選びます。</p> <hr/> <p>7.5% セットアップレベル7.5%のシステムで記録するときを選びます。</p> <hr/> <p>🔊 ご注意</p> <p>🔊 (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] が50iに設定されているときは、自動的に [0%] になります。</p>

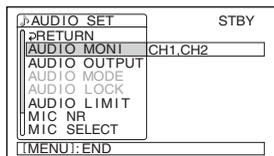
項目	設定
FRAME REC DVCAM DV 	<p>本機を固定した状態で人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをする と、アニメーションのような効果を出せます。リモコンを使うと手ぶれを防げます。</p> <hr/> <p>▷OFF 通常の撮影時に選びます。</p> <hr/> <p>ON () コマ撮りするときに選びます。</p> <p>SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ON] を選び、押し て決定する。</p> <p>MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。</p> <p>REC START/STOPボタンを押す。</p> <p>1コマ分*を撮影し、スタンバイに戻ります。</p> <p>被写体を動かし、手順3を繰り返す。</p> <hr/> <p>*  (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] が60iのときは1コマは6フレームになり、 50iのときは1コマは5フレームになります。</p> <p> ご注意</p> <p>連続してコマ撮りをすると、テープ残量は正しく表示されません。 最終カットは通常の1コマよりも長くなります。 コマ撮り中はインデックスは打ち込めません。</p>

▶ (AUDIO SET) メニューを使う —INT MIC SET—

XLR SETなど

▶の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると () 内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目は暗くなります。

▶ (AUDIO SET) メニューでは、「メニュー項目の使いかた」(62ページ) の操作で以下を設定できます。



項目	設定
AUDIO MONI	ヘッドホンや内蔵スピーカーで確認する音声を選択できます。
	CH1, CH2 CH1、CH2の音をヘッドホンのL、Rチャンネルで聞くときに選びます。ただし、スピーカーで聞くときは、CH1+CH2の音になります。
	CH1 CH1の音をヘッドホンのL、Rチャンネルで聞くときに選びます。
	CH2 CH2の音をヘッドホンのL、Rチャンネルで聞くときに選びます。
AUDIO MIX DVCAM DV 画	アフレコしたテープの再生時に、出力される音声を選びます (102ページ)。
	CH1, CH2 撮影時の音声 (CH1、CH2) のみを出力するときに選びます。
	MIX 撮影時の音声 (CH1、CH2) とアフレコ音声 (CH3、CH4) を合成して出力するときに選びます。
	CH3, CH4 アフレコした音声 (CH3、CH4) のみを出力するときに選びます。
	ご注意 • [AUDIO MODE] が [FS48K] で記録されたテープでは、設定できません。
AUDIO OUTPUT	スピーカーなどの出力音声レベルを選びます。
	1Vrms 出力音声レベルを1Vrms/FSに設定するときに選びます。
	2Vrms 出力音声レベルを2Vrms/FSに設定するときに選びます。

項目	設定
AUDIO MODE DVCAM	FS32K (32k) 12ビットモード（4チャンネルの音声）でDVCAM/DV SP記録するときに選びます。
	FS48K (48k) 16ビットモード（高音質で2チャンネルの音声）でDVCAM/DV SP記録するときに選びます。
	ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • 本機でアフレコできるのは、DVCAM方式でFs32Kモードで記録されたテープだけです。Fs48Kモードで記録されたテープにはアフレコできません。 • HDV規格のときは、自動的に [FS48K] で記録されます。
AUDIO LOCK DV 罫	UNLOCK MODE オーディオとビデオのサンプリングクロックをそれぞれ独立して記録するときに選びます。民生用のDVフォーマットでは、このモードが採用されています。
	LOCK MODE オーディオとビデオのサンプリングクロックを同期して記録するときに選びます。オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。
	ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • DVCAM/HDV規格のときは、自動的に [LOCK MODE] に固定されます。
AUDIO LIMIT	OFF 音割れ防止機能を使わないときに選びます。
	ON 音割れ防止機能を使うときに選びます。
	ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • AUDIO SELECTスイッチが「MAN」のときのみ有効です。
MIC NR	ON マイクから入るノイズを低減するときに選びます。
	OFF この機能を解除するときに選びます。
MIC SELECT	INTERNAL MIC 内蔵マイクを使用するときに選びます。
	XLR 外部マイクを使用するときに選びます（44ページ）。

項目	設定
INT MIC SET	内蔵マイクの風音低減と感度を設定します。
	INT MIC SENS
	NORMAL 通常はこの設定を選びます。
	HIGH 小さい音を採る場合にお使いください。ただし、大音量の場合、音がひずむことがあるので、事前にテストしてからお使いください。
INT MIC WIND	OFF 内蔵マイクの風音低減をしないときに選びます。
	AUTO 内蔵マイクの風音低減をするときに選びます。
	XLR CH SEL
XLR SET	外部マイクから入力する信号と記録チャンネルを選びます。
	CH1 INPUT1端子から入力するときはチャンネル1に記録し、INPUT2端子から入力するときはチャンネル2に記録するときに選びます。
	CH1, CH2 INPUT1端子からの入力がチャンネル1/2に記録されます。
	XLR AGC LINK 外部マイク使用時のチャンネル1、2のAGC (Auto Gain Control) の連動/非連動を切り換えます。
	SEPARATE AGC非連動にしたいとき (チャンネル1、2を別々の音声として記録したいとき) に選びます。
	LINKED AGC連動にしたいとき (チャンネル1、2をステレオのように1組の音声として記録したいとき) に選びます。ステータスチェック画面に【 L 】が表示されます。
ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • [LINKED] の設定は、AUDIO SELECTスイッチが両チャンネルともに [AUTO] で、かつ、INPUT1、2がともに [MIC] または [LINE] に設定されているときのみ、有効です。 	
INPUT1 LEVEL	INPUT1端子から外部入力する際のマイク/ラインを切り換えます。
	MIC INPUT1端子から外部マイクの音声を入力するときに選びます。ステータスチェック画面で【 MIC 】が表示されます。
	LINE INPUT1端子からオーディオ機器の音声を入力するときに選びます。ステータスチェック画面で【 LINE 】が表示されます。

項目	設定
XLR SET	INPUT1 TRIM INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。[INPUT1 LEVEL] が [MIC] のときのみ有効です。 -18dB、-12dB、-6dB、0dB、+6dB、+12dBから選びます。お買い上げ時は0dBに設定されています。
	INPUT1 WIND [INPUT1 LEVEL] が [MIC] のときのみ有効です。
	OFF INPUT1端子の風音低減をしないときに選びます。
	ON INPUT1端子の風音低減をするときに選びます。ステータスチェック画面で  が表示されます。
	INPUT2 LEVEL INPUT2端子から外部入力する際のマイク/ラインを切り換えます。
	MIC INPUT2端子から外部マイクの音声を入力するときに選びます。ステータスチェック画面で  が表示されます。
	LINE INPUT2端子からオーディオ機器の音声を入力するときに選びます。ステータスチェック画面で  が表示されます。
	INPUT2 TRIM INPUT2端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。[INPUT2 LEVEL] が [MIC] のときのみ有効です。 -18dB、-12dB、-6dB、0dB、+6dB、+12dBから選びます。お買い上げ時は0dBに設定されています。
	INPUT2 WIND [INPUT2 LEVEL] が [MIC] のときのみ有効です。
	OFF INPUT2端子の風音低減をしないときに選びます。
ON INPUT2端子の風音低減をするときに選びます。ステータスチェック画面で  が表示されます。	

◆INPUT1 TRIM/INPUT2 TRIMについて

ちょっと一言

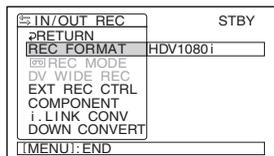
- INPUT TRIM機能は外部マイク入力のレベルを調節します。
 感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

IN/OUT REC メニューを使う

— REC FORMAT・DOWN CONVERTなど

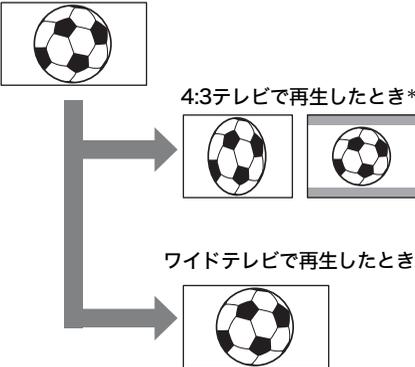
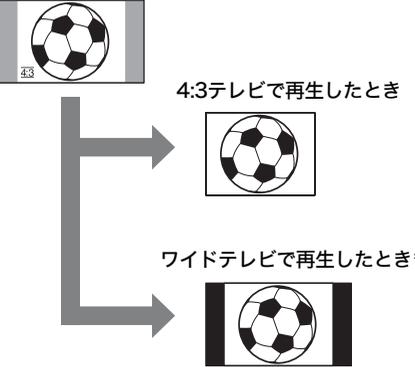
⇄ (IN/OUT REC) メニューでは、「メニュー項目の使いかた」(62ページ) の操作で以下を設定できます。

の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると () 内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目は暗くなります。



項目	設定
VCR HDV/DV	<p>テープを再生するときの信号を選びます。通常は [AUTO] に設定してください。</p> <p>i.LINK接続時は、i.HDV/DV端子から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。</p> <hr/> <p>AUTO テープ再生時、自動でHDV/DVCAM (DV) 規格の信号を切り換えて、再生します。</p> <p>i.LINK接続時は、自動でHDV/DVCAM (DV) 規格の信号を切り換えて、i.HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。</p> <hr/> <p>HDV テープ再生時、HDV規格で記録された部分のみ再生します。</p> <p>i.LINK接続時は、HDV規格の信号のみをi.HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。</p> <p>また、パソコンなどと接続するときに選びます (98ページ)。</p> <hr/> <p>DV テープ再生時、DVCAM (DV) 規格で記録された部分のみ再生します。</p> <p>i.LINK接続時は、DVCAM (DV) 規格の信号のみをi.HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します</p> <p>また、パソコンなどと接続するときに選びます (98ページ)。</p> <hr/> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。 [AUTO] を選ぶと、HDVとDVの信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声が入切れます。 [i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] が [ON] で、[AUDIO LOCK] が [LOCK MODE] のときは、以下の信号が出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> — [AUTO] のときは、HDV信号はAUDIO信号がロックされたDV信号に変換され、DV信号はそのまま出力されます。 — [HDV] のときは、HDV信号はAUDIO信号がロックされたDV信号に変換され、DV信号の部分は出力されません。 — [DV] のときは、DV信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。

項目	設定
VCR HDV/DV (つづき)	<p>[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] が [ON] で、[AUDIO LOCK] が [UNLOCK MODE] のときは、以下の信号が出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> — [AUTO] のときは、HDV信号はAUDIO信号がアンロックされたDV信号に変換され、DV信号はそのまま出力されます。 — [HDV] のときは、HDV信号はAUDIO信号がアンロックされたDV信号に変換され、DV信号の部分は出力されません。 — [DV] のときは、DV信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。HDV信号をDVCAM信号にダウンコンバートすることはできません。
REC FORMAT	<p>POWERスイッチが「CAMERA」のときの録画方式を選びます。撮影時には選ばれているフォーマットのランプが点灯します。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">HDV1080i (HDV1080i)</p> <p style="text-align: center;">HDV1080i方式で撮影するときに選びます。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">DV (DVCAM DV 罫)</p> <p style="text-align: center;">DVCAM/DV規格で撮影するときに選びます。DVCAM/DV規格で撮影するときは、[ REC MODE] の設定も必要です。</p> <hr/> <p>ちょっと一言</p> <p>撮影中の画像をi.LINK出力するときは、[i.LINK CONV] もあわせて設定してください。</p>
 REC MODE DVCAM DV 罫	<p>[REC FORMAT] が [DV] のときのみ、有効です。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">DVCAM (DVCAM)</p> <p style="text-align: center;">DVCAM方式で録画するときに選びます。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">DV SP (DV 罫)</p> <p style="text-align: center;">DV方式のSPモードで録画します。長時間録画するときに選びます。</p> <hr/> <p>ご注意</p> <p>DV SPモードで撮影したテープには本機でアフレコできません。 DV SPモードで本機で録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。 テープの途中でDVCAM/DV SPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。</p>

項目	設定
DV WIDE REC DVCAM DV 罫	<p>DVCAM/DV規格で撮影した画像を、ワイドテレビ/4:3テレビで画面いっぱいに映るように撮影できます。つなぐテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。</p> <p>ON ワイドテレビで再生するときに選びます。</p> <p>液晶画面・ファインダーで見たとき</p>  <p>4:3テレビで再生したとき*</p> <p>ワイドテレビで再生したとき</p> <hr/> <p>OFF (4:3) 4:3テレビで再生するときに選びます。</p> <p>液晶画面・ファインダーで見たとき (左右が半透明で表示される)</p>  <p>4:3テレビで再生したとき</p> <p>ワイドテレビで再生したとき*</p> <p>*接続するテレビによって、再生時の表示のされかたが異なります。</p>
EXT REC CTRL	<p>詳しくは、51ページをご覧ください。</p>

項目	設定
COMPONENT	[50i/60i SEL] の設定が60iのとき
	480i 480iに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	480p/480i 480pに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	1080i/480i 1080iに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	[50i/60i SEL] の設定が50iのとき
	576i 576iに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	576p/576i 576pに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	1080i/576i 1080iに対応したテレビとつなぐときに選びます。
	ご注意 [576p/576i] または [480p/480i] 選択時に、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [ON] にしたときは、  HDV/DV端子から映像を出力することはできません。
	i.LINK CONV
HDV→DV CONV	
OFF [REC FORMAT] と [VCR HDV/DV] の設定に従って、  HDV/DV端子から信号を出力します。	
ON  HDV/DV端子からDV信号を出力します。	
AUDIO LOCK [HDV→DV CONV] が [ON] のときに有効です。	
LOCK MODE  HDV/DV端子から、オーディオとビデオのサンプリングロックを同期した信号を出力します。	
UNLOCK MODE  HDV/DV端子から、オーディオとビデオのサンプリングロックが独立した信号を出力します。	
ご注意 i.LINK入力については、[VCR HDV/DV] を参照してください。 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。	

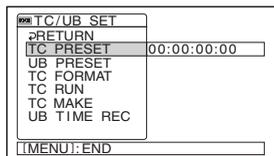
項目	設定
DOWN CONVERT	<p>HDV規格で撮影したテープを再生する際の映像信号出力形式を設定します。 以下の出力に対して有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> －COMPONENT OUTPUT出力（480p/480i出力および576p/576i出力） －S VIDEO出力 －AUDIO/VIDEO出力 －i.LINK出力（[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] が [ON] のとき） <hr/> <p>SQUEEZE（スクィーズ） ワイド対応機器へ出力するときに選びます。</p> <p>ワイドテレビ ワイド対応4:3テレビ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <hr/> <p>LETTER BOX（レターボックス） ワイドに対応しない機器へ出力するときに選びます。</p> <p>4:3テレビ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <hr/> <p>EDGE CROP（エッジクロップ） 映像の左右を切り取り、中央部を4:3のアスペクト比で出力するときに選びます。</p> <p>4:3テレビ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <hr/> <p>ちょっと一言 [DV WIDE REC] を [ON] にしてDVCAM (DV) 規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[DV WIDE REC] を [OFF] にして撮影してください。</p>
A/V→DV OUT DVCAM DV 罫	<p>デジタル機器とアナログ機器の間に本機をつなぎ、本機でデジタルとアナログの信号を変換できます。</p> <hr/> <p>OFF デジタル変換機能を使わないときに選びます。</p> <hr/> <p>ON (A/V→DV) ビデオなどのアナログ信号を、本機を通してパソコンなどデジタル機器にダビングするときに選びます（デジタル変換機能）（106ページ）。</p>

00:00 (TC/UB SET) メニューを使う

— TC MAKEなど

00:00 (TC/UB SET) メニューでは、「メニュー項目の使いかた」(62ページ) の操作で以下を設定できます。

の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると () 内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目は暗くなります。



項目	設定						
TC PRESET	タイムコードをプリセットまたはリセットするときに選びます (103ページ)。						
UB PRESET	ユーザービットをプリセットまたはリセットするときに選びます (104ページ)。						
TC FORMAT 60i	タイムコードの記録方式を選びます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">AUTO</td> <td>タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせるときに選びます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DF</td> <td>タイムコードをドロップフレーム方式で記録するときに選びます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">NDF</td> <td>タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録するときに選びます。</td> </tr> </table> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ (OTHERS) メニューの [50i/60i SEL] を50iにしているときは、自動的にノンドロップフレーム方式で記録されます。 	AUTO	タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせるときに選びます。	DF	タイムコードをドロップフレーム方式で記録するときに選びます。	NDF	タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録するときに選びます。
AUTO	タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせるときに選びます。						
DF	タイムコードをドロップフレーム方式で記録するときに選びます。						
NDF	タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録するときに選びます。						
TC RUN	タイムコードの歩進を選びます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">REC RUN</td> <td>記録中のみタイムコードが歩進します。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録するときに選びます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">FREE RUN</td> <td>本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進します。タイムコードを実時間に合わせるときに選びます。</td> </tr> </table>	REC RUN	記録中のみタイムコードが歩進します。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録するときに選びます。	FREE RUN	本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進します。タイムコードを実時間に合わせるときに選びます。		
REC RUN	記録中のみタイムコードが歩進します。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録するときに選びます。						
FREE RUN	本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進します。タイムコードを実時間に合わせるときに選びます。						
TC MAKE	REGENERATE つなぎ撮り中に、テープに記録させたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録するときに選びます。[TC RUN] の設定に関わらず、タイムコードは [REC RUN] モードで歩進します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">PRESET</td> <td>新たに設定したタイムコードをテープに記録するときに選びます。</td> </tr> </table>	PRESET	新たに設定したタイムコードをテープに記録するときに選びます。				
PRESET	新たに設定したタイムコードをテープに記録するときに選びます。						

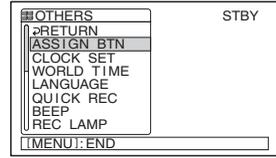
項目	設定	
UB TIME REC	OFF	時刻をユーザービットコードとして記録しないときに選びます。
	ON	時刻をユーザービットコードとして記録するときに選びます。

☰(OTHERS) × メニューを使う

— CLOCK SET・WORLD TIMEなど

☰(OTHERS)メニューでは、「×メニュー項目の使いかた」(62ページ)の操作で以下を設定できます。

の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると()内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。そのとき使える項目が表示されます。使えない項目は暗くなります。



項目	設定
ASSIGN BTN	ASSIGNボタンに機能を割り当てるときに選びます。詳しくは89ページをご覧ください。
CLOCK SET	日付・時刻を合わせます(22ページ)。
WORLD TIME	本機を海外で使うときなど、時差の設定をします。SEL/PUSH EXECダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わります。時差を0に設定すると、補正前の時刻に戻ります。
LAN-GUAGE	ENGLISH メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示するときを選びます。
	ENG (SIMP) メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示するときを選びます。
	日本語 メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示するときを選びます。
QUICK REC HDV1080i	撮影スタンバイが約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。録画を再開するには、もう一度REC START/STOPボタンを押してください。
	OFF ドラム停止状態から録画を再開するときに、開始まで少し時間がかかりますが、つなぎ目はきれいに撮れます。
	ON ドラム停止状態から録画を再開するときに、開始までの時間が少し短縮されますが、つなぎ目が乱れます。録画チャンスを逃がしたくないときを選びます。
BEEP	MELODY 撮影スタート/ストップ時や誤った操作をした場合にメロディーで知らせるときを選びます。
	NORMAL メロディーの代わりにブザーで知らせるときを選びます。
	OFF メロディーとブザー音を出さないときを選びます。

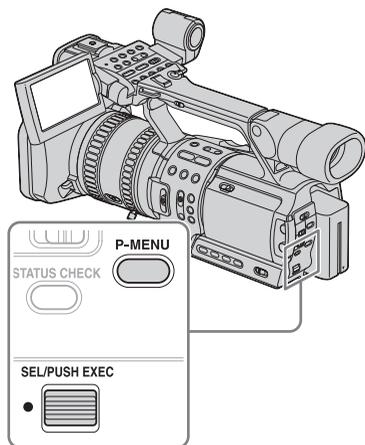
項目	設定
REC LAMP	ON 本体前面/後面の録画ランプが撮影中に点灯します。
	OFF 以下のときに選びます。本体前面/後面の録画ランプが撮影中に点灯しません。 ー被写体に撮影していることを意識させたくないとき ー被写体に接近して撮影するとき ー録画ランプの赤色が被写体に反射してしまうとき
FORMAT LAMP	ON フォーマットランプが点灯します。 POWERスイッチが「CAMERA」のときは、メニューの [REC FORMAT] で選んだ規格のランプが点灯します。 POWERスイッチが「VCR」のときは、メニューの [VCR HDV/DV] で選んだ規格のランプが点灯します。
	OFF フォーマットランプが点灯しません。また、i.LINKランプも点灯しません。
	ご注意 ・メニューの [VCR HDV/DV] を [AUTO] に設定しているときは、再生または他機から入力している信号にあわせてフォーマットランプが点灯します。
IRIS DIAL	IRISダイヤルの回転方向を選びます。
	NORMAL レンズ側から見てIRISダイヤルを時計回りに回すと、絞りが締まり光量が減ります。
	OPPOSITE レンズ側から見てIRISダイヤルを反時計回りに回すと、絞りが締まり光量が減ります。
DATA CODE	DATA CODEボタンを押したときに表示される項目を選びます (56ページ)。
	DATE/CAM 日付・時刻またはカメラデータを表示するときに選びます。
	DATE 日付・時刻を表示するときに選びます。
LETTER SIZE	NORMAL 通常の高さでメニューを表示するときに選びます。
	2× 選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示するときに選びます。
RE-MAINING	AUTO 次のときにテープ残量を約8秒間表示するときに選びます。 ーカセットが入った状態でPOWERスイッチを「VCR」か「CAMERA」にして、テープ残量が確定したとき ー▶PLAYボタンまたはDISPLAY/BATT INFOボタンを押したとき
	ON テープ残量を常に表示するときに選びます。

項目	設定
DISP OUTPUT	▷LCD PANEL タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出すときに選びます。
	V-OUT/PANEL つないだテレビの画面にも画面表示を出すときに選びます。
	ご注意 [V-OUT/PANEL] のとき、DISPLAY/BATT INFOボタンやDISPLAY機能を割り当てたASSIGNボタンを押すと、外部入力ができなくなります。
ZOOM DISPLAY	▷BAR ズーム位置をバー表示で表すときに選びます。
	NUMBER ズーム位置を数値 (0~99) で表すときに選びます。
EXP. FOCUS	▷AUTO OFF 拡大フォーカス使用時に、一定時間経過後に自動的に拡大フォーカスを解除するときに選びます (38ページ)。
	MANUAL OFF 拡大フォーカス使用時に、一定時間経過しても拡大したままにするときに選びます。拡大フォーカスを解除するには、もう一度EXPANDED FOCUSボタンを押します。
HOURS METER	本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示します。
	OPERATION 本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。
	DRUM RUN ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示します。
	TAPE RUN テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示します。
	THREADING カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示します。
DATE REC	▷OFF 日付と時刻を画像に直接記録しないときに選びます。
	ON 撮影時に日付と時刻を画像に直接記録するときに選びます。
	ご注意 ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字に影響はありません。
REMOTE CTRL	▷ON 付属のワイヤレスリモコンを使うときに選びます。
	OFF リモコンを使わないときに選びます。他機のリモコンによる誤動作を防ぎます。

項目	設定
50i/60i SEL	<p>1080/60i (NTSC方式) と1080/50i (PAL方式) を切り換えます。お買い上げ時は60iに設定されています。</p> <ol style="list-style-type: none">1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押して決定する。 <div data-bbox="341 223 613 376" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>120min 00:00:00:00 50i/60i SEL Change to 50i? Reboots after change. YES NO</p></div> <ol style="list-style-type: none">2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してもう一度 [YES] を選び、押して決定する。 いったん画面が消えて、録画方式が切り換わります。 <p>ちょっと一言 DVCAM (DV)のときも、50i (PAL) 方式に切り換えることができます。</p>

パーソナルメニューを使う

パーソナルメニューを使って設定できる項目はPOWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目は暗くなります。よく使用するメニュー項目をパーソナルメニューに追加することもできます。また、追加した項目を並べ替えるなど、ご自分の使いやすいパーソナルメニューにできます（カスタマイズ）。POWERスイッチの位置ごとにカスタマイズできます。



1 P-MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECボタンを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 SEL/PUSH EXECボタンを回して希望の設定にし、押して決定する。

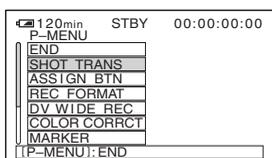
選べる項目を追加する—ADD

よく使用するメニュー設定項目をパーソナルメニューへ追加しておく、次回からP-MENUボタンを押すだけで操作画面に入れます。

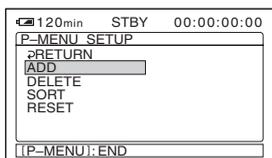
ご注意

POWERスイッチの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいときは、不要な項目を削除してから追加してください（86ページ）。

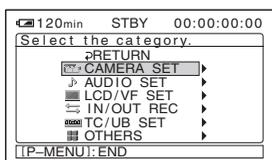
1 P-MENUボタンを押す。



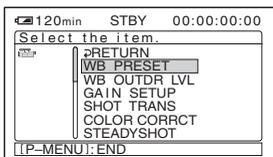
2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [P-MENU SETUP] を選び、押して決定する。



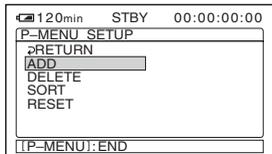
3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ADD] を選び、押して決定する。



- 4** SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押しして決定する。

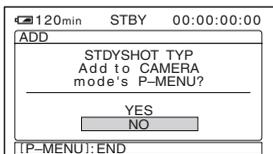


- 2** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [P-MENU SETUP] を選び、押しして決定する。

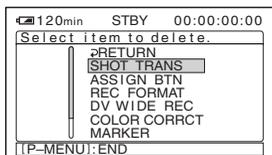


- 5** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して追加する項目を選び、押しして決定する。

表示される設定は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できないときは表示されません。



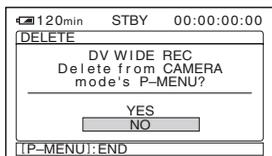
- 3** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [DELETE] を選び、押しして決定する。



- 6** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押しして決定する。

項目がパーソナルメニューの最後に追加されます。

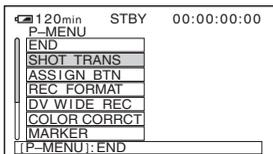
- 4** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して削除する項目を選び、押しして決定する。



- 7** P-MENUボタンを押す。

不要な項目を削除する —DELETE

- 1** P-MENUボタンを押す。



- 5** SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押しして決定する。

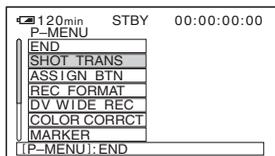
項目がパーソナルメニューから消えます。

- 6** P-MENUボタンを押す。

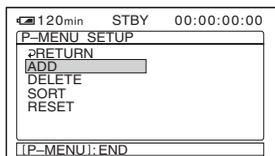
パーソナルメニューの表示位置を替える—SORT

たくさんの項目をパーソナルメニューに追加しているとき、よく使う項目順に並べ替えると便利です。

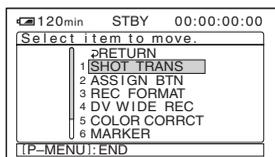
1 P-MENUボタンを押す。



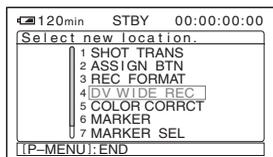
2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [P-MENU SETUP] を選び、押して決定する。



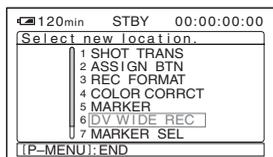
3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [SORT] を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して移動する項目を選び、押して決定する。



5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、項目を移動する。



6 SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。

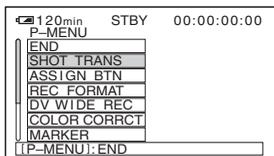
つづけて並べ替えるときは手順4～6を行います。

7 P-MENUボタンを押す。

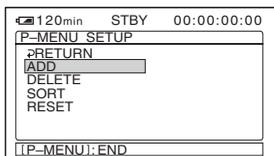
お買い上げ時の設定に戻す —RESET

パーソナルメニューの項目を追加・削除した後でも、お買い上げ時のパーソナルメニューに戻せます。

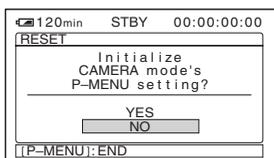
1 P-MENUボタンを押す。



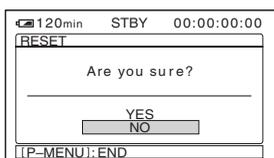
2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [P-MENU SETUP] を選び、押して決定する。



3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [RESET] を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押して決定する。



5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [YES] を選び、押して決定する。

お買い上げ時の設定に戻ります。

リセットを中止するときは、[NO] を選んでください。

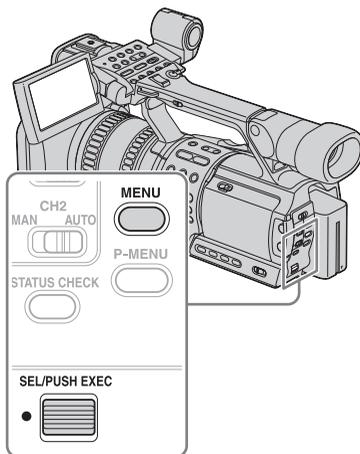
6 P-MENUボタンを押す。

ASSIGN機能を 使う

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作するものがあります。ASSIGNボタン1～6に1つずつ割り当てられます。

割り当てられる機能

- フェーダー [FADER] (49ページ)
 - 逆光補正 [BACK LIGHT] (30ページ)
 - スポットライト [SPOTLIGHT] (31ページ)
 - AEオーバーライド [AE OVERRIDE] (90ページ)
 - WB屋外レベル+ [WB OUTDR LVL +] (63ページ)
 - WB屋外レベル- [WB OUTDR LVL -] (63ページ)
 - ハイパーゲイン [HYPER GAIN] (90ページ)
 - マーカー [MARKER] (66ページ)
 - 簡易全画面表示 [ALLSCAN MODE] (90ページ)
 - 手ぶれ補正 [STEADYSHOT] (65ページ)
 - インデックス打込み [INDEX MARK] (50ページ)
 - アフレコ [AUDIO DUB] (100ページ)
- DVCAM
- レックレビュー [REC REVIEW] (52ページ)
 - 画面表示 [DISPLAY] (55ページ)
 - カラーバー [BARS] (27ページ)



MENUボタンを押す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して  (OTHERS) メニューを選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ASSIGN BTN] を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定したい番号 (ASSIGN-1～6) を選び、押して決定する。
番号は、ASSIGNボタンの番号です。
機能が割り当てられていないボタンには、[-----] が表示されます。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

ハイパーゲインを使う

撮影またはスタンバイ中に、[HYPER GAIN] を割り当てたASSIGNボタンを押すと、ゲインの設定を36dB上げることができます。もう一度押すと、元の設定に戻ります。非常に暗い被写体を撮影する場合にハイパーゲインを使うと、被写体を可視化できます。

ご注意

- ハイパーゲイン使用中は、以下の機能は働きません。
 - ピクチャープロファイルの [AE SHIFT]
 - [AE OVERRIDE] (AEオーバーライド)
 - [BACK LIGHT] (逆光補正)
 - [SPOTLIGHT] (スポットライト)
 - ゲイン調節
- ハイパーゲイン使用中は、ノイズにより画質が劣化します。
- ハイパーゲインを使用すると、シャッタースピードを1/15以下に設定していても、強制的に1/30に設定されます。**[60i]**
- ハイパーゲインを使用すると、シャッタースピードを1/12以下に設定していても、強制的に1/25に設定されます。**[50i]**

ちょっと一言

- 手動フォーカスでのご使用をおすすめします。

AEオーバーライドを使う

[AE OVERRIDE] を割り当てたASSIGNボタンを押してアイリスダイヤルを回すと、一時的にAEシフトの設定値を上書きして、明るさを調整します。AEオーバーライド設定中は、**OVERRIDE**が表示されます。

ご注意

- 手動でアイリスを調整すると、AEオーバーライドは解除されます。

ちょっと一言

- AEオーバーライドの上限/下限は、AEシフトの設定値に依存します。AEシフトとAEオーバーライドを足した値が、-7~+7の間で可変します。

マーカー表示を出す・消す

[MARKER] を割り当てたASSIGNボタンを押すと、マーカーが表示されます。表示されるマーカーの種類は、 (CAMERA SET) メニューの [MARKER SEL] で設定できます (66ページ)。

全画角を表示する HDV1080i

[ALLSCAN MODE] を割り当てたASSIGNボタンを押すと、テレビなどでは確認できない画面の周辺部を確認できます。簡易全画角表示中は、画面の周りが黒く表示されます。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

- [ALLSCAN MODE] にすると、COMPONENT OUTPUT端子とi.LINK端子からのHDV信号以外の出力信号はインターレース出力のレターボックスになります。

ちょっと一言

- [STEADYSHOT] を割り当てたASSIGNボタンを押すと、手ぶれ補正が解除されます ( が表示されます)。 (CAMERA SET) メニューの [STDYSHOT TYP] で、手ぶれ補正の効果を選ぶことができます (65ページ)。
- [DISPLAY] と [BARS] はそれぞれボタンがありますが、ASSIGNボタンに割り当てることができます。この場合、両方のボタンを使えます。

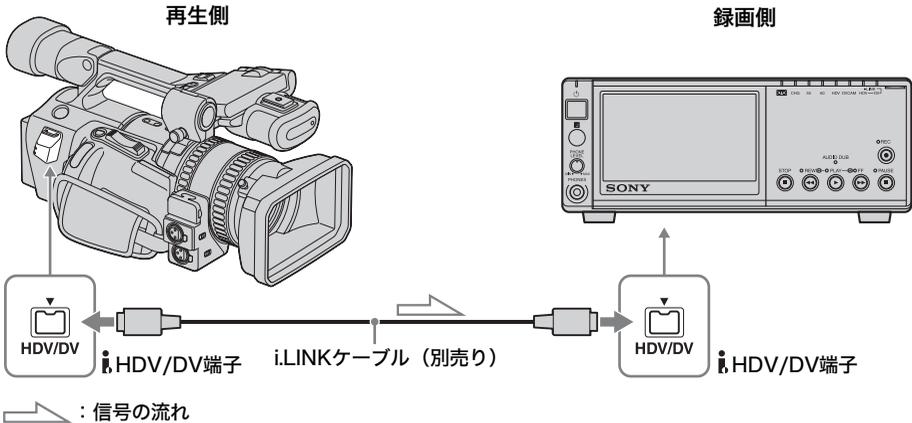
他のビデオへダビングする

本機の画像を他のビデオへダビングできません。
図のように本機を録画機につなぎます。

接続する

◆HDV対応機器へダビングする

本機とHDV対応のビデオ機器をi.LINKケーブル（別売り）でつなぎます。



ダビングを始める前に

⇒ (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] (74ページ) と [i.LINK CONV] (77ページ) の設定によってダビングする録画フォーマットが異なります。設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。

- [VCR HDV/DV] を [AUTO] にして、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [OFF] にすると、HDVで記録した部分はHDVで、DVCAM (DV) で記録した部分はDVCAM (DV) でダビングします。[VCR HDV/DV] を [HDV] または [DV] にすると、選んだ規格で記録された部分のみダビングします。それ以外は無記録部分

としてダビングします（画像、音声は記録されません）。

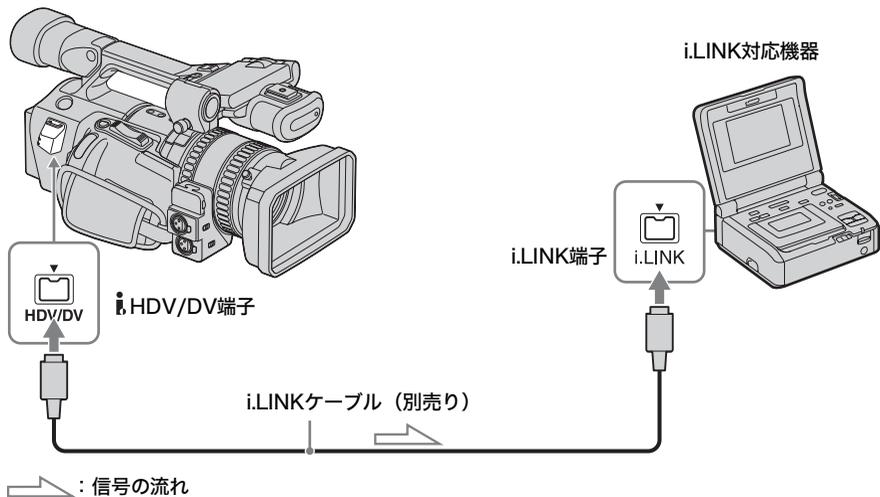
ご注意

[VCR HDV/DV] と [i.LINK CONV] の設定を変えるときにi.LINKケーブルが繋がっていると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

[VCR HDV/DV] が [AUTO] のときは、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。録画側にHVR-Z1Jを使用する場合は、⇒ (IN/OUT REC) メニューで [VCR HDV/DV] を [AUTO] にしてください (95ページ)。

◆DVCAM (DV) 機器へダビングする

本機と録画機をi.LINKケーブル（別売り）でつなぎます。



ダビングを始める前に

⇄ (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] (74ページ) と [i.LINK CONV] (77ページ) の設定によってダビングする録画フォーマットが異なります。設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。

[VCR HDV/DV] を [AUTO] にして、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [ON] にし、[AUDIO LOCK] を [LOCK MODE] にすると、HDVで記録した部分はオーディオ信号をロックした信号でダビングされ、DVの部分は [AUDIO LOCK] の設定に従わずそのままダビングされます。

[VCR HDV/DV] を [AUTO] にして、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [ON] にし、[AUDIO LOCK] を [UNLOCK MODE] にすると、HDVで記録した部分はオーディオ信号をアンロックした信号でダビングされ、DVの部分は [AUDIO LOCK] の設定に従わずそのままダビングされます。

HDVとDVCAM (DV) 規格が混在したテープのDVCAM (DV) 部分のみをダビングしたいときは、[VCR HDV/DV] を [DV] に設定してください。このとき、HDV規格で記録された部分は無記録部分としてダビングします（画像、音声は記録されません）。

ご注意

[VCR HDV/DV] と [i.LINK CONV] の設定を変えときにi.LINKケーブルがつながっていると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

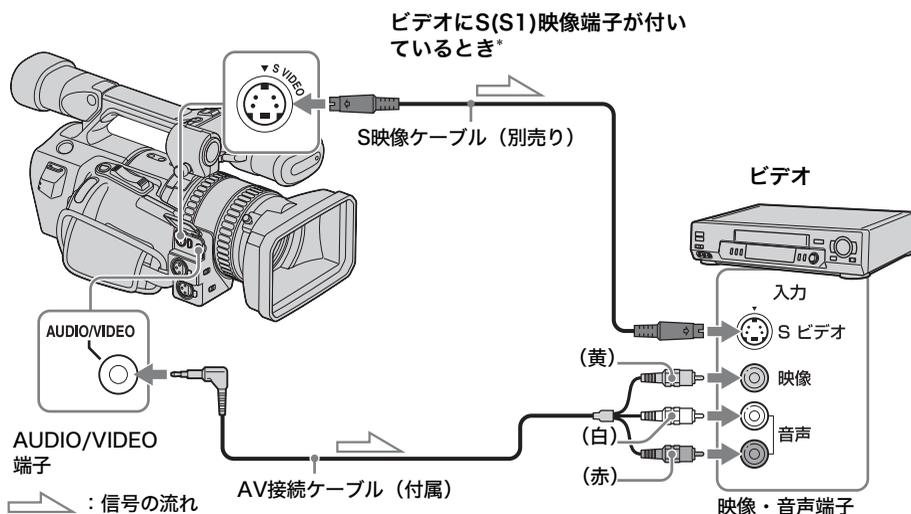
[VCR HDV/DV] を [AUTO] にしていても、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] が [OFF] になっていると、HDVで記録した部分は無記録部分としてダビングします（画像、音声は記録されません）。

[VCR HDV/DV] を [HDV] にすると、相手側のDVCAM (DV) 機器は、画像を認識することができません（無記録状態になります）。

[VCR HDV/DV] が [AUTO] のときは、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声途切れれます。

◆AV機器へダビングする

本機と録画機をAV接続ケーブル（付属）でつなぎます。



- * S(S1)映像端子が付いている機器には、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像ケーブル（別売り）で本機のS VIDEO端子とビデオのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。画像をより忠実に再現できます。DVCAM (DV) 方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [LCD PANEL] (お買い上げ時の設定) にしてください (83ページ)。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつなぎます。

ちょっと一言

- 日付などのデータコードをダビングしたいときは、データコードを表示させてください (56ページ)。

ダビングする

- 1 本機と相手機器をつなぐ (91ページ)。**
- 2 相手機器の準備をする。**

録画用カセットを入れる。
入力切り換えスイッチがある場合は「入力」にする。
- 3 本機の準備をする。**

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「VCR」にする。
- 4 本機で再生を始め、相手機器で録画する。**

詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。
- 5 ダビングが終わったら、相手機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

ご注意

i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像は、i.LINK端子から出力されません。

i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを記録することはできません。

ちょっと一言

i.LINKランプは、i.LINKケーブル接続時に出力される信号の規格のランプ（HDVまたはDV）が点灯します。

i.LINKケーブルで接続する場合、デジタル信号でやりとりするので、画質・音質の劣化がほとんどありません。

ビデオやテレビから 録画する

ビデオの画像やテレビ番組を本機のテープに録画できます。

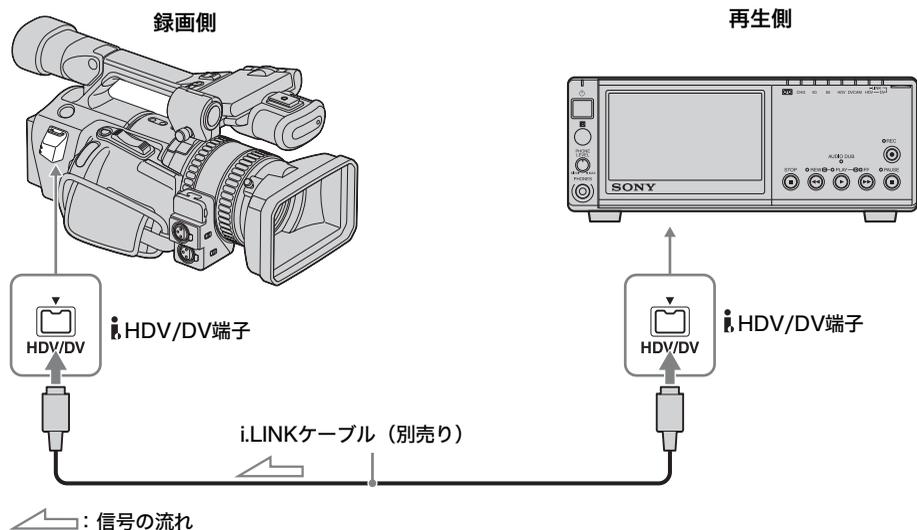
接続する

◆HDV対応機器から録画する

本機を録画機として使い、HDV対応のビデオの画像を録画・編集できます。

本機（録画側）の  (IN/OUT REC) × ニューで [VCR HDV/DV] (74ページ) を

[AUTO] にしてから、本機とHDV対応のビデオ機器をi.LINKケーブル（別売り）でつなぎます。



ご注意

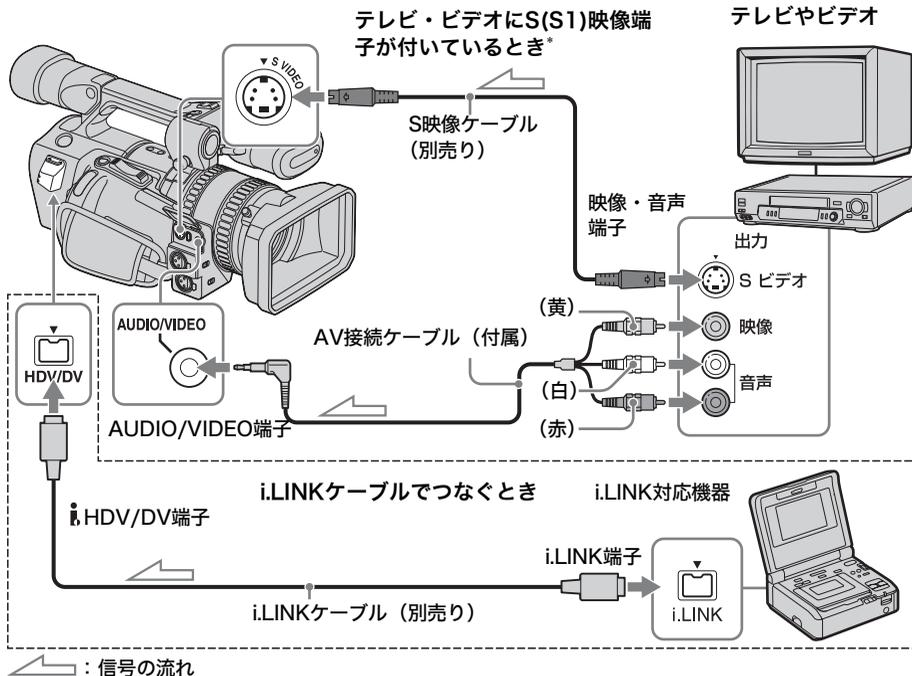
BSデジタル放送などの番組を  HDV/DV端子から入力することはできません。

◆DVCAM (DV)・AV機器から録画する

本機を録画機として使い、ビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

本機と録画機をAV接続ケーブル（付属）でつなぎます。DVCAM (DV) 対応のビデオ機器はi.LINKケーブル（別売り）でつなぐこともできます。

i.LINKケーブルを使ってDVCAM (DV) 機器から録画するときは、 (IN/OUT REC) メニューで [VCR HDV/DV] (74ページ) を [DV] または [AUTO] にしてから、つないでください。



：信号の流れ

S(S1)映像端子が付いている機器には、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像ケーブル（別売り）で本機のS VIDEO端子とビデオのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。画像をより忠実に再現できます。DVCAM (DV) 規格の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は入力されません。

ご注意

DVCAM (DV)・AV機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。AV接続ケーブル（付属）を使ってつなぐときは、 (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [LCD PANEL]（お買い上げ時の設定）にしてください（83ページ）。他機がモノラル（ひとつの音声出力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、

白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声出力へつなぎます。接続したプラグからの音声のみ記録されます。4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒くが表示されます。

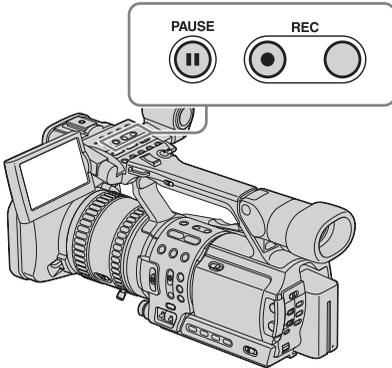
ちょっと一言

i.LINK端子搭載機器と接続するときは、i.LINKケーブル（別売り）でつなぐことをおすすめします。

録画する

あらかじめ本機に録画用カセットを入れておいてください。

- 1 テレビやビデオを再生機としてつなぐ (95、96ページ)。
- 2 ビデオの場合は、ダビングするカセットを入れる。
- 3 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。
- 4 本機を録画一時停止にする。
■PAUSEボタンを押したまま、●RECボタンを2つ同時に押す。



ビデオを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

- 6 録画を開始したい画面でもう一度■PAUSEボタンを押して、録画を始める。
- 7 ■STOPボタンを押して、録画を止める。

ご注意

i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。

i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを記録することはできません。

i.LINKケーブル接続時は、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。

ちょっと一言

i.LINKランプは、i.LINKケーブル接続時に入力される信号の規格のランプ (HDVまたはDV) が点灯します。

i.LINKケーブルで接続する場合、デジタル信号でやりとりするので、画質・音質の劣化がほとんどありません。

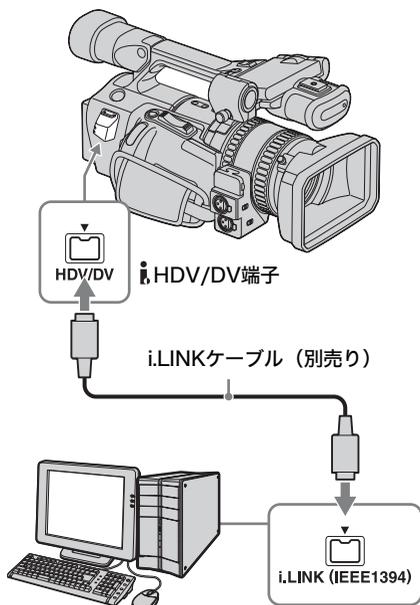
i.LINKケーブルでつなぐと、**HDV/DV**が表示されます。再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。

録画を始めると、自動的にインデックス信号がテープに記録されます。また、あらかじめASSIGNボタンにインデックス機能を割り当てたボタンを押して、録画中にインデックス信号を打ち込むこともできます。詳しくは50ページをご覧ください。

パソコンと接続する

i.LINKケーブルで本機とパソコンを接続するときは、お手持ちのパソコンにi.LINK端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトがインストールされている必要があります。

パソコンの推奨環境については、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。



◆パソコン接続時のご注意

- i.LINKケーブルをつなぐとき、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- i.LINKケーブルは、先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。

- i.LINKケーブルをつなぐ前に、 (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] と [i.LINK CONV] の設定をしてください。接続してから設定すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。

ご注意

- 点灯しているi.LINKランプの規格の信号を扱えることができるパソコンと接続してください。扱えない信号を入力すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。
- POWERスイッチが「CAMERA」のときに、[REC FORMAT] の設定を変えるときは、i.LINKケーブルを抜いてから行ってください。i.LINK接続中に [REC FORMAT] の設定を変えると、パソコンがハングアップすることがあります。

ちょっと一言

- i.LINKケーブル接続時は、入出力信号の規格のランプ (HDVまたはDV) が点灯します。

◆テープの画像をパソコンに取り込むときは

- HDV規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むときは、[VCR HDV/DV] を [HDV] に設定して (74ページ)、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [OFF] にしてください (77ページ)。DVCAM (DV) 規格で記録したテープをDVCAM (DV) 規格でパソコンに取り込むときは、[VCR HDV/DV] を [DV] に設定してください (74ページ)。HDV規格で記録したテープをDV規格のオーディオロックで取り込みたいときは、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [ON]、[AUDIO LOCK] を [LOCK MODE] にしてください (77ページ)。HDV規格で記録したテープをDV規格のオーディオアンロックで取り込みたいときは、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [ON]、[AUDIO LOCK] を [UNLOCK MODE] にしてください (77ページ)。

ご注意

使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく働かない場合があります。

DVCAM (DV) 規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

◆パソコンから本機に画像を取り込むときは

HDV規格で取り込むとき

[VCR HDV/DV] を [HDV] にして (74ページ)、[i.LINK CONV] の [HDV→DV CONV] を [OFF] にしてください (77ページ)。

DVCAM (DV) 規格で取り込むとき

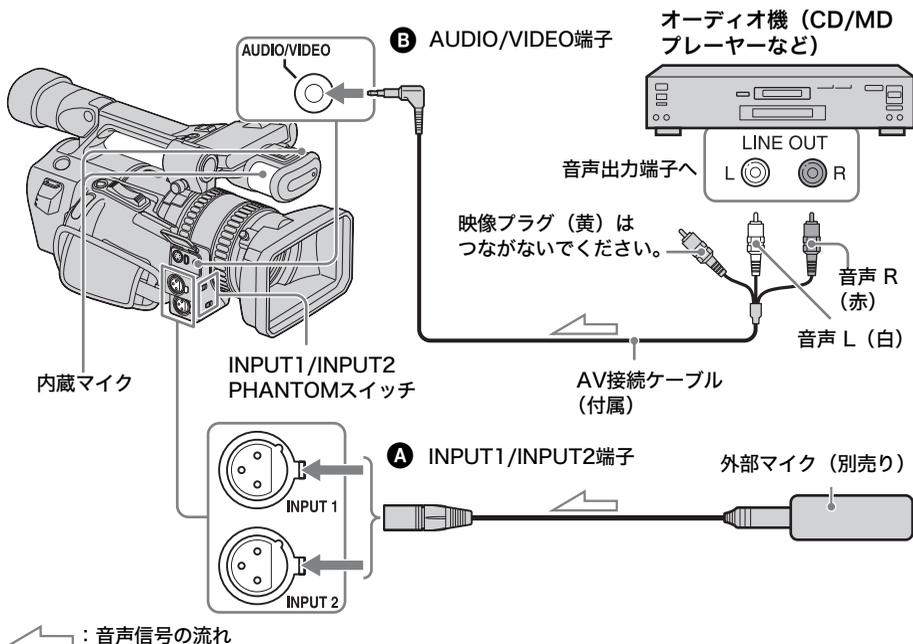
[VCR HDV/DV] を [DV] にしてください (74ページ)。

録画したテープに音声を追加する DVCAM

— アフレコ

DVCAM規格で記録したテープ（音声モードはFS32K）にあとから音声だけを追加できます。

アフレコ用に接続する



- 1 次のいずれかで音声を入力する。
内蔵マイクを使う（接続不要）。
INPUT1/INPUT2端子に別売りの外部マイクまたはオーディオ機器などをつなぐ (A)。
AUDIO/VIDEO端子に別売りのオーディオ機器などをつなぐ (B)。

- 2 ▶(AUDIO SET) メニューで [MIC SELECT] を [XLR] に設定する (70ページ)。
内蔵マイクを使う場合は、[INTERNAL MIC] を選んでください。

- 3 INPUT1/INPUT2端子につなぐときは、使用する端子と接続する機器にあわせて、メニューの設定をする。

マイクを取り付けるときは

INPUT1端子に取り付けるときは、
[INPUT1 LEVEL] を [MIC] にする。

INPUT2端子に取り付けるときは、
[INPUT2 LEVEL] を [MIC] にする。

外部電源対応のマイクを取り付けるときは、INPUT1/INPUT2 PHANTOMスイッチを「ON」にする。

オーディオ機器をつなぐときは

INPUT1端子につなぐときは、
[INPUT1 LEVEL] を [LINE] にして、INPUT1 PHANTOMスイッチを「OFF」にする。

INPUT2端子につなぐときは、
[INPUT2 LEVEL] を [LINE] にして、INPUT2 PHANTOMスイッチを「OFF」にする。

- HDV規格で録画されたテープ
- [REC MODE] が [DV SP] で録画されたテープ
- [AUDIO MODE] が [FS48K] で録画されたテープ
- iLINKケーブルが繋がれている
- テープの無記録部分
- カセットが誤消去防止状態
- 50i/60iの設定とテープ下地の方式が異なる場合

- 別売りの外部マイクを使ってアフレコ中の画像は、本機の液晶画面、またはコンポーネントビデオケーブルをつないだテレビの画面で確認できません。音声は、ヘッドホンをつないで確認できません。
- 他機で4CHマイクで記録されたテープにアフレコすると、音声システムデータが一部書き換えられることがあります。

アフレコする

あらかじめ、ASSIGNボタンにアフレコを割り当ててください。ASSIGNボタンの割り当てかたについては、89ページをご覧ください。

本機に録画したカセットを入れる。

POWERスイッチを「VCR」にする。

▶PLAYボタンを押して、テープを再生する。

4 アフレコする開始点で、
■PAUSEボタンを押す。
一時停止します。

5 アフレコ機能を割り当てた
ASSIGNボタンを押す。
画面上に ●■マークが表示されます。

◆アフレコする音声記録されるチャンネル

下表のようになります。

入力	[XLR CH SEL] × ニュー設定	記録される音声	
		チャンネル 3	チャンネル 4
AUDIO/ VIDEO	—	CH1	CH2
内蔵マイク	—	CH1	CH2
INPUT 1/2	CH1	INPUT1	INPUT2
	CH1, CH2	INPUT1	INPUT1
INPUT1	CH1	INPUT1	—
	CH1, CH2	INPUT1	INPUT1
INPUT2	CH1	—	INPUT2
	CH1, CH2	—	—

🔊 ご注意

- AUDIO/VIDEO端子を使ってアフレコするときには、AUDIO/VIDEO端子から映像は出力されません。映像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。
- 次のときはアフレコできません。

6 PAUSEボタンを押すと同時に、オーディオ機器やマイクで、追加する音声を出す。

アフレコ中は、画面上に●マークが表示されます。
画像を再生しながら、音声をチャンネル3と4に追加して記録します。

7 止めたいところで■STOPボタンを押す。

ご注意

本機で録画したテープにアフレコしてください。
他のビデオ（本機以外のHVR-Z1Jを含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

💡 ちょっと一言

アフレコ音の録音レベルを手動調節できます。

アフレコした音声を確認する

アフレコしたテープを再生する
(101ページ)。

MENUボタンを押す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して  (AUDIO SET) メニューを選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [AUDIO MIX] を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して出力する音声を選び、押して決定する。

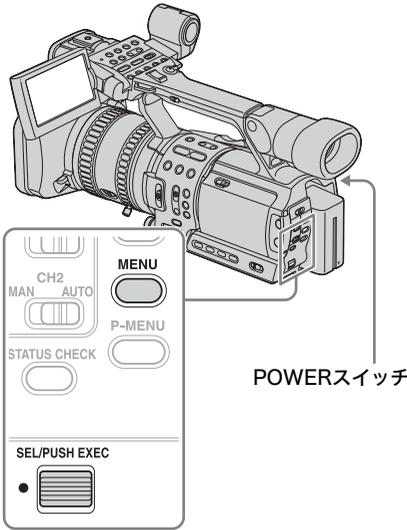
設定	意味
MIX	撮影時の音声（CH1、CH2）とアフレコした音声（CH3、CH4）を合成して出力する。
CH3、CH4	アフレコした音声（CH3、CH4）のみ出力する。

MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

タイムデータを設定する

本機では、タイムデータとして、タイムコードとユーザービットの設定ができます。

タイムコードを設定する



POWERスイッチを「VCR」または「CAMERA」にする。

MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して **00-00** (TC/UB SET) メニューを選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [TC MAKE] を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。

タイムコードを設定する。

- 1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [TC PRESET] を選び、押して決定する。
- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
- 4 手順3と同様にして、他の桁を設定する。
- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

タイムコードの記録方式を設定する。**60**

- 1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [TC FORMAT] を選び、押して決定する。
- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して記録方式を選び、押して決定する。

設定	意味
AUTO	すでにテープに設定されている方式に合わせる。
DF	ドロップフレーム方式で記録する。
NDF	ノンドロップフレーム方式で記録する。

8 タイムコードの歩進モードを設定する。

- 1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [TC RUN] を選び、押して決定する。

SEL/PUSH/EXECダイヤルを回して歩進モードを選び、押して決定する。

設定	意味
REC RUN	録画中のみタイムコードが進む。 つなぎ撮りすると、タイムコードも自動でつながる。
FREE RUN	録画停止中もタイムコードが進む。 [FREE RUN] に設定すると、すぐにタイムコードの歩進が始まる。

9 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

◆タイムコードの設定を中止するには

手順6の中の手順5で、[CANCEL] を選ぶ。

◆タイムコードをリセットするには

手順6の中の手順2で、[RESET] を選ぶ。またはリモコンのTC RESETボタンを押す。リモコンで操作したあとは、タイムコードが00:00:00:00になったことを確認してから、[REMOTE CTRL] を [OFF] にしてください。

◆ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに、実時間とタイムコードにズレが生じてきます。

これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのが、ドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。

このような補正のないものを、ノンドロップフレームと呼びます。

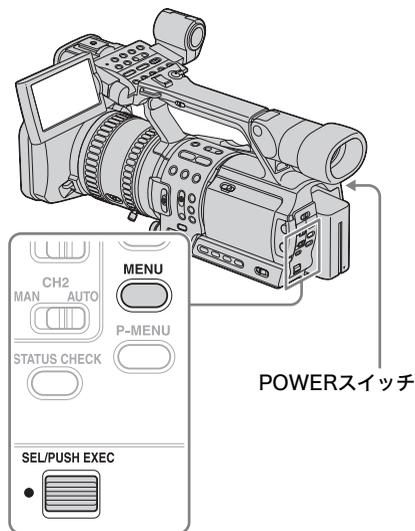
⚡ ご注意

- i.LINK入力時、映像信号がない状態で記録すると、タイムコードが乱れることがあります。

- HDVとDVCAM (DV) を混在して撮影すると、つなぎ目でタイムコードが初期化されることがあります。
- HDVとDVCAM (DV) を混在したテープを再生すると、つなぎ目で画像とタイムコードが一致しないことがあります。
- メニューの [TC MAKE] を [REGENERATE] に設定すると、メニューの [TC RUN] は自動的に [REC RUN] になります。
- [OTHERS] メニューで [50i/60i SEL] を 50iに設定しているときは、タイムコードの記録方式は、自動的にノンドロップフレームモードに設定されます。
- HDV記録時は、最大3フレームの誤差が生じることがあります。
- メニューの [TC MAKE] を [REGENERATE] に設定すると、リモコンのTC RESETは動作しません。

ユーザービットを設定する

16進数8桁までの情報（日付、時刻、シーン番号など）を、テープに記録できます。



POWERスイッチを「VCR」または「CAMERA」にする。

MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して「00:00」(TC/UB SET)メニューを選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して「UB PRESET」を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して「PRESET」を選び、押して決定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁を選び、押して決定する。

手順6と同様に他の桁を設定する。

SEL/PUSH EXECダイヤルを回して「OK」を選び、押して決定する。

MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

◆ユーザービットの設定を中止するには

手順8で、「CANCEL」を選ぶ。

◆ユーザービットをリセットするには

手順5で、「RESET」を選ぶ。

◆ユーザービットに時刻を記録するには

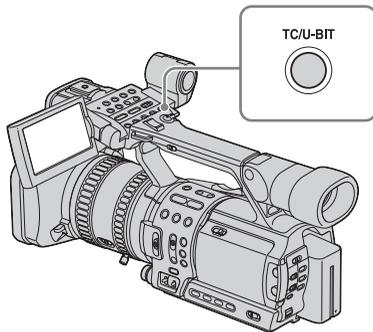
「00:00」(TC/UB SET)メニューの「UB TIME REC」で「ON」を選ぶ。

ご注意

- HDV規格で記録されたテープでは、ユーザービットタイムは3フレームおきに表示されます。

- HDVでi.LINK入力するとき、ユーザービットはコピーされますが、REGENERATE（テープ上のユーザービットに連続して記録すること）されません。

タイムデータの表示を出す・消す



TC/U-BITボタンを押す。

押すたびに、タイムコードとユーザービットが切り換わります。

TC: 「00:00:00:00」または「00:00:00:00」

U-BIT: 「00 00 00 00」

ご注意

- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機に対応していない方式のタイムコードを再生すると、タイムコードおよびユーザービットは正常に表示されません。
- HDVをi.LINK入力するとき、入力する映像のユーザービットは本機に書き込まれますが、取り込み中に表示することはできません。

本機を經由してビデオをパソコンにつなぐ

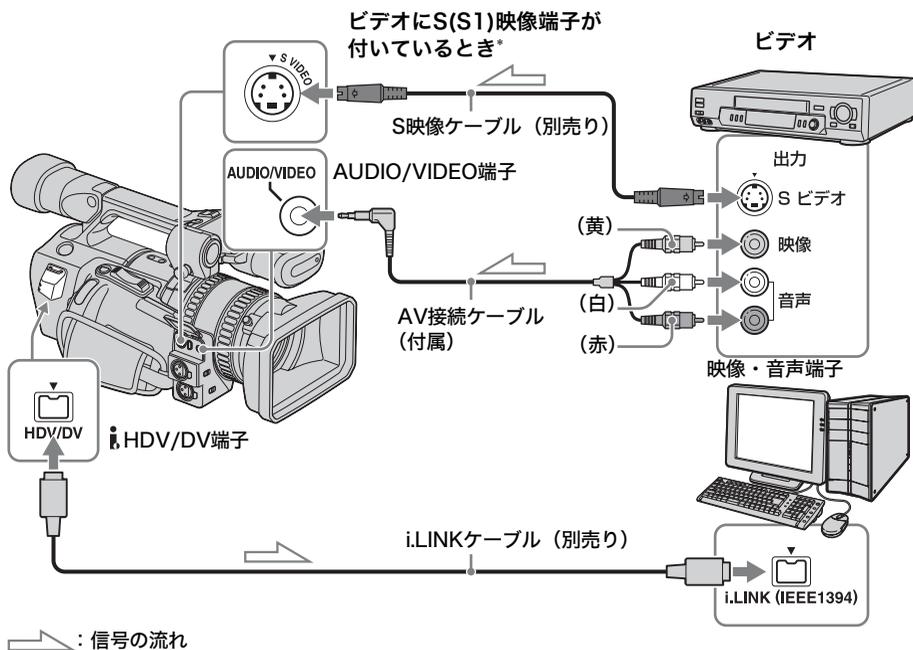
DVCAM DV SP デジタル変換機能

AV接続ケーブル（付属）とi.LINKケーブル（別売り）を使って、本機にアナログ機器とパソコンをつなぎます。ビデオなどのアナログ信号を本機でデジタル信号に変換して、パソコンなどのデジタル機器にダビングできます。

デジタル変換機能を使うには、ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがパソコンにインストールされている必要があります。

接続する

接続できるパソコンの推奨環境については、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [LCD PANEL]（お買い上げ時の設定）にしてください（83ページ）。
- i.LINKケーブルをつなぐ前に、⇄ (IN/OUT REC) メニューで [VCR HDV/DV] を [DV] にしてください（74ページ）。つないだまま設定を変えると、パソコンがハングアップしたり、本機を正しく認識しないことがあります。

画像を取り込む

- 1 アナログ機器の電源を入れる。**
- 2 POWERスイッチを「VCR」にする。**
電源は、付属の接続コード（DK-415）と別売りのACアダプター /チャージャーをお使いください。
- 3 MENUボタンを押す。**
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して  (IN/OUT REC) メニューを選び、押して決定する。**
- 5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [A/V→DV OUT] を選び、押して決定する。**
- 6 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ON] を選び、押して決定する。**
- 7 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。**
- 8 アナログ機器で再生を始める。**
- 9 パソコンで取り込みを始める。**
操作について詳しくはソフトウェアに付属の説明書、またはオンラインヘルプをご覧ください。

◆画像と音声を取り込んだあとは

パソコンの取り込みを停止し、アナログ機器の再生を停止する。

ご注意

本機に入力される映像信号の状態によっては、本機から正しく画像を出力できないことがあります。

著作権保護の信号が記録されているソフトウェアの画像は、本機を経由して出力しても、パソコンへ取り込めません。

アナログ入力した信号を、COMPONENT OUTPUT端子から出力することはできません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

また、液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」（□は数字）のように表示されたときは、自己診断表示機能が働いています。114ページをご覧ください。

全体操作について

症状	原因と対処のしかた
POWERスイッチを「CAMERA」または「VCR」にしても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの消耗または消耗間近、未装着。 →充電されたバッテリーを取り付ける（17ページ）。 →ACアダプター / チャージャーのプラグをコンセントに差し込む（19ページ）。 <p>ACアダプター / チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。</p> <p>→「ビデオ/カメラ」にする（19ページ）。</p>
電源が入っているのに操作できない。	<p>→電源（バッテリーまたはACアダプター / チャージャーの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESETボタンを先のがったもので押す。RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、パーソナルメニューやピクチャープロファイルで設定した内容は解除されません。</p>
POWERスイッチを「VCR」または「OFF」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がある。	<p>本機のレンズ機能の一部にリニア機構を採用しているため、故障ではありません。</p>
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	<p>→ (OTHERS) メニューで [REMOTE CTRL] を [ON] にする（83ページ）。</p> <p>→リモコンの乾電池の+極と-極を正しく入れる。それでも働かないときは、乾電池の寿命のため。新しい乾電池に交換する（137ページ）。</p> <p>→リモコンと本体リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。</p>
本体があたたかくなる。	<p>長時間電源を入れたままにしておいたため、故障ではありません。</p>

バッテリー・電源について

症状	原因と対処のしかた
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> • 周囲の温度が極端に低い、または充電が不十分です。故障ではありません。 →満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命なので、新しいバッテリーに交換する（17、123ページ）。
バッテリー残量が正しく表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している、または充電が不十分です。故障ではありません。 →満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命なので、新しいバッテリーに交換する（17、123ページ）。
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 残量表示にズレが生じている、または充電が不十分です。 →満充電し直すと残量が正しく表示される（17ページ）。
ACアダプター /チャージャーを使用中、本機に不具合が生じる。	→電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう一度電源をつなぐ。

カセットについて

症状	原因と対処のしかた
カセットが取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> →電源（バッテリーやACアダプター /チャージャー）が正しく接続されているか確認する（17、19ページ）。 →バッテリーをはずして、もう一度取り付ける（17ページ）。 →充電されたバッテリーを取り付ける（17ページ）。
カセットカバーを開けてもテープが出てこない。	• 本機が結露しかけている（126ページ）。
カセットメモリ付きカセットで、カセットメモリ表示やタイトル表示が出ない。	• 本機はカセットメモリに対応していないため、表示されません。
テープ残量表示が出ない。	→常に表示したいときは、  (OTHERS) メニューで  REMAINING を [ON] にする（82ページ）。

液晶画面・ファインダーについて

症状	原因と対処のしかた
見慣れない表示が出る。	→138ページをご覧ください。
ファインダーの画像がはっきりしない。	→視度調整つまみを動かして、画像がはっきり見えるようにする (21ページ)。
ファインダーの画像が消えている。	→液晶画面を閉じる。開いているとファインダーには画像は映りません (21ページ)。 [VF POWER] を [ON] にすると、両方に画像が映ります (73ページ)。

撮影について

症状	原因と対処のしかた
REC START/STOPボタンを押しても、テープが走行しない。	→POWERスイッチを「CAMERA」にする (20ページ)。 →テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 →カセットの誤消去防止ツマミをRECにする (120ページ)。または新しいカセットを入れる。 →結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す (126ページ)。
ハンドル部のREC START/STOPボタンを押しても、テープが走行しない。	→HOLDレバーを解除する (26ページ)。
電源が途中で切れる。	→バッテリーを充電する (17ページ)。
ズームが働かない。	→ZOOMスイッチの位置を確認する (27ページ)。 →リモコンでズームするときは、ZOOMスイッチを「LEVER/REMOTE」にする (28ページ)。
ハンドルズームが働かない。	→ハンドルズーム切替スイッチを「H」または「L」にする (28ページ)。
手ぶれ補正が働かない。	→手ぶれ補正を割り当てたASSIGNボタンを押す (89ページ)。 →  (CAMERA SET) メニューで [STEADYSHOT] を [ON] にする (65ページ)。
オートフォーカスが働かない。	→FOCUSスイッチを「AUTO」にして、オートフォーカスにする (37ページ)。 →オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる (37ページ)。

症状	原因と対処のしかた
フォーカスをオートにしているのに、フォーカスリングを回すとフォーカスが動く。	→オートにしている場合、フォーカスリングを回すと一時的に手動でピント合わせができます (37ページ)。
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	• 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	• スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。
画面に白点が出ることもある。	• シャッタースピードを遅くしたときに出る現象で、故障ではありません。
画面に斜めのしま模様が出る。	→ZEBRA/PEAKINGスイッチを「OFF」にする (36ページ)。
画面が白すぎて画像が見えない。	→逆光補正を解除する (30ページ)。

再生について

症状	原因と対処のしかた
再生できない。	→テープが最後まで行っているときは巻き戻す (53ページ)。
逆方向に変速再生ができない。	→HDV規格で記録したテープではできません。
画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかつたりする。	→ビデオヘッドが汚れているため。クリーニングカセットできれいにする (127ページ)。
細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。	→ピクチャープロファイルで [SHARPNESS] を一側 (やわらかな画像) に調整して撮影する (39ページ)。
音声小さい。または聞こえない。	→音量を大きくする (53ページ)。 → (AUDIO SET) メニューで [AUDIO MIX] を、[MIX] にする (69ページ)。 • S映像ケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルだけでつないでいる。 →AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ (57、59ページ)。
音声途切れる。	→ビデオヘッドが汚れているため。クリーニングカセットできれいにする (127ページ)。
日付サーチやインデックスサーチができない。	• テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。
記録開始点まで巻き戻しても、タイムコードが00:00:00:00にならない。	→記録開始付近のタイムコードは正しく表示されませんが、故障ではありません。再生を開始すれば、開始点からタイムコードも画像も正しく表示されます。

症状	原因と対処のしかた
早送り/巻き戻し中にユーザービットが正しく表示されない。	→HDVをiLINK入力したときで、入力する映像にユーザービットが無い信号を記録した場合、ユーザービットは正しく表示されません。再生時は[----]、早送り/巻き戻し中は[00 00 00 00]と表示されます。
[----] が表示される。	日付・時刻を設定しないで録画したテープを再生している。 テープの無記録部分を再生している。 テープに傷やノイズがあると、データコードを読めません。
エンドサーチが動かない。	POWERスイッチが「CAMERA」になっている。 撮影後にカセットを取り出したため (55ページ)。 カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1度も撮影していない。
エンドサーチが誤動作する。	テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。
エンドサーチ、レックレビューのときに画像が出ない。	同じテープにHDV規格とDVCAM (DV) 規格の撮影を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。
テレビにつないで再生するとき、コンポーネントビデオケーブルを正しく接続しているのに画像や音声が出ない。	→接続する機器に合わせて  (IN/OUT REC) メニューの [COMPONENT] を正しく設定する (77ページ)。 COMPONENT OUTPUT端子から音声は出力されません。 →AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ (57、59ページ)。
4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。	ワイドで撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象です。 →  (IN/OUT REC) メニューの [DOWN CONVERT] を設定して再生する (78ページ)。 →DVCAM (DV) 規格で撮影するときは、あらかじめ  (IN/OUT REC) メニューの [DV WIDE REC] を [OFF] にして撮影する (76ページ)。
画像が乱れ、画面上に 50i が表示される。	→  (OTHERS) メニューで [50i/60i SEL] を [50i] に変更して再生する (84ページ)。
画面上に 2/2-ST と表示される。	他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

ダビング・アフレコについて

症状	原因と対処のしかた
本機につないだ機器 (外部入力) の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。	→  (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [LCD PANEL] にする (83ページ)。

困ったときは

症状	原因と対処のしかた
AV接続ケーブルを使ってダビングができない。DVCAM DV 	→  (OTHERS) メニューで [DISP OUTPUT] を [LCD PANEL] にする (83ページ)。
ダビング編集、iLINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。	→ 接続する機器に合わせて  (IN/OUT REC) メニューの [VCR HDV/DV] を正しく設定する (74ページ)。
アフレコした音声が聞こえない。DVCAM DV 	→  (AUDIO SET) メニューで [AUDIO MIX] を、[MIX] または [CH3, CH4] にする (102ページ)。
EXPANDED FOCUSボタンを押したら、突然画像が途切れた。	DVCAM (DV) 規格で撮影中の画像を出力しているときにEXPANDED FOCUSボタンを押すと、通常の画面から拡大フォーカスの画面に切り換わるときに一時的に画像が途切れます。

警告表示とお知らせ メッセージ

自己診断表示・警告表示

液晶画面またはファインダーには、以下のように表示されます。詳しい説明は、() 内のページをご覧ください。

表示	原因と対処のしかた
C:□□:□□/E:□□:□□ (自己診断表示)	<p>お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。</p> <p>C:04:□□ “インフォリチウム” 以外のバッテリーが使われているため。必ず“インフォリチウム” バッテリーを使ってください (123ページ)。</p> <p>C:21:□□ 結露しているため。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す (126ページ)。</p> <p>C:22:□□ ビデオヘッドが汚れているため。クリーニングカセットできれいにする (127ページ)。</p> <p>C:31:□□/C:32:□□ 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう一度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください (126ページ)。 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作し直す。 テープを交換する。</p> <p>E:61:□□/E:62:□□ お客様自身では正常に戻せない症状です。ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせいただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。</p>
⚠ (バッテリー残量に関する警告)	<p>バッテリー残量が少ない。 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがあります。</p>

表示	原因と対処のしかた
☐ (結露の警告)*	カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する (126ページ)。
☒ (テープ関連の警告)	<p>遅い点滅 テープ残量が5分を切った。 カセットが入っていない。* カセットが誤消去防止状態になっている (120ページ)。*</p> <p>速い点滅 テープが終わっている。*</p>
▲ (テープを取り出す必要がある警告)*	<p>遅い点滅 カセットが誤消去防止状態になっている (120ページ)。</p> <p>速い点滅 結露している (126ページ)。 自己診断表示が表示されている (114ページ)。</p>

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「お知らせブザー (BEEP)」が鳴ります (81ページ)。

お知らせメッセージ一覧

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

項目	表示（日本語表示の場合）	原因と対処のしかた
バッテリー	Use the "InfoLITHIUM" battery pack. ("インフォリチウム"バッテリーを使ってください)	詳しくは123ページをご覧ください。
	Battery level is low. (バッテリーを取りかえてください)	17ページをご覧ください。
	Old battery. Use a new one. (このバッテリーは古くなりました 取りかえてください)	詳しくは124ページをご覧ください。
	▲ Re-attach the power source. (▲ 電源を取り付けなおしてください)	—
結露	☒▲ Moisture condensation. Eject the cassette. (☒▲ 結露しています カセットを取り出してください)	詳しくは126ページをご覧ください。
	☒ Moisture condensation. Turn off for 1H. (☒ 結露しています 約1時間放置してください)	詳しくは126ページをご覧ください。
カセット・テープ	☒☒ Insert a cassette. (☒☒ カセットを入れてください)	24ページをご覧ください。
	▲ Reinsert the cassette. (▲ カセットを入れなおしてください)	テープの損傷などがないか確認する。
	☒☒▲ The tape is locked - check the tab. (☒☒▲ カセットの誤消去防止ツマミを確認してください)	120ページをご覧ください。
	☒☒ The tape has reached the end. (☒☒ テープが終わっています)	—
その他	Cannot record due to copyright protection. (コピープロテクトされています 記録できません)	—
	Cannot add audio. Disconnect the i.LINK cable. (アフレコできません "i.LINK" ケーブルをぬいてください)	101ページをご覧ください。

項目	表示（日本語表示の場合）	原因と対処のしかた
その他	Not recorded in DVCAM mode. Cannot add audio. (DVCAM以外の録画モードで記録されている部分です アフレコできません)	101ページをご覧ください。
	Cannot add audio on the blank portion of a tape. (無記録部分です アフレコできません)	101ページをご覧ください。
	HDV recorded tape. Cannot add audio. (HDV記録テープです アフレコできません)	101ページをご覧ください。
	Cannot add audio. (アフレコできません)	101ページをご覧ください。
	No registered value set in SHOT-A. (ショットAが登録されていません)	Aに設定（ショット）を登録してください（45ページ）。
	No registered value set in SHOT-B. (ショットBが登録されていません)	Bに設定（ショット）を登録してください（45ページ）。
	Change to correct tape format. (非対応のフォーマットです)	対応していないフォーマットのため、再生できません。
	No output image in "VCR HDV/DV". Change format. (この“ビデオ HDV/DV”設定では表示できない信号です。表示するには設定を変更してください)	再生や信号入力を停止するか、[VCR HDV/DV]設定を変更してください（74ページ）。
	Already added to CAMERA mode's P-MENU. (カメラのP-MENUにはすでに登録されています)	—
	Already added to VCR mode's P-MENU. (ビデオのP-MENUにはすでに登録されています)	—
⊗  Dirty video head. Use a cleaning cassette. (⊗  ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください)	127ページをご覧ください。	

海外で使う

◆電源について

本機は、海外でも使えます。

別売りのACアダプター /チャージャー AC-VQ850 (ACCKIT-D10に付属)は、全世界の電源 (AC100V~240V・50/60Hz) で使えます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器 (トラベルコンバーター) は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
↓		
使用する変換プラグアダプター	不要です。	

◆カラーテレビ方式について

DVCAM DV 型

DVCAM/DV規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式 (NTSC、表参照) で、映像・音声入力端子付きのテレビ (またはモニター) と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式	対象
NTSC	アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

◆時差補正機能について

海外で使うとき、 (OTHERS) メニューの [WORLD TIME] を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます (81ページ)。

HDV規格と使えるビデオカセット

◆使えるビデオカセット

本機は、HDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DV規格で記録するときは、^{Mini} DV マークが付いたカセットをおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、

[DVCAM] マークが付いたカセットをおすすめします。

◆HDV (HDV) 規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション (HD) 映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1080本のインターレース方式 (1080i、画素数1440×1080ドット) を採用しています。

記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

◆再生について

本機では、DVCAM/DV規格、HDV規格の1080i方式を再生できます。

本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子 (i.HDV/DV端子) から出力することはできません。

◆著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。

このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに「Cannot record due to copyright protection.」(コピープロテクトされています 記録できません)が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

◆音声モードについて

DVCAM方式では、下記の2つがあります。

Fs32K (12ビット) モード

「チャンネル1/2」と「チャンネル3/4」に4つのチャンネルを使って記録できます。撮影時の音声は「チャンネル1/2」に、アフレコした音声は「チャンネル3/4」に記録されます。再生時やアフレコ中にメニューの[AUDIO MIX]で[MIX]を選ぶと、[CH1、CH2]と[CH3、CH4]の音声を合成して出力します。

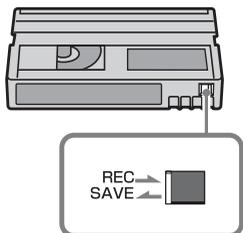
Fs48K (16ビット) モード

2つのチャンネルを使い高音質で記録できます。音声のアフレコはできません。音声モードは液晶画面またはファインダーで確認できます。DVCAMフォーマットで録画した場合でも、DVCAMフォーマットの条件を満たしていないとアフレコできないときがあります。このようなときは、「NS」と表示されます。詳しくは、「DVCAM/DVフォーマットの互換性」(121ページ)をご覧ください。

◆カセット取り扱い上のご注意

間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

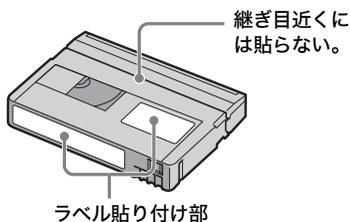


REC：録画できる。

SAVE：録画できない。(誤消去防止状態)

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。



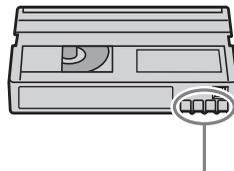
カセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください(画像や音声乱れる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



金メッキ端子

⚡ ご注意

- 本機はカセットメモリーに対応していません。

Mini DV Digital Video Cassette は商標です。

DVCAM は商標です。

HDVおよび **HDV** は、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名および製品名は、各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

◆ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, LLC., (住所 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

DVCAM/DVフォーマットの互換性

DVCAMフォーマットは、民生用のDVフォーマットに比べて、より信頼性を高めたフォーマットです。DVCAMフォーマットとDVフォーマットの仕様の違い、互換性、編集時の制約事項は、以下のとおりです。

◆DVCAMフォーマットとDVフォーマットの違い

仕様	DVCAM	DV
トラック幅	15 μ m	10 μ m
オーディオ	12bit:32kHz	12bit:32kHz
サンプリング	16bit:48kHz	16bit:32kHz
周波数		44.1kHz 48kHz
オーディオ記 録モード*	ロックモード	アンロックモード

* オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。一方、民生用のDVフォーマットで採用しているアンロックモードでは、オーディオとビデオのサンプリングクロックはそれぞれ独立しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。

◆カセットの互換性

録画機のフォーマットによって、記録されるフォーマットが決まります。

録画機	使用するカセットのフォーマット	記録されたフォーマット
DVCAM機	DVCAM DV	DVCAM
DV機	DVCAM DV	DV

- DVCAMフォーマットでミニDVカセットも使用できますが、DVCAMフォーマットの高い信頼性を生かすために、ミニDVCAMカセットをおすすめします。
- DVCAMフォーマットでミニDVカセットを使って録画する場合、録画再生可能時間がミニDVカセットに表示されている時間の約2/3になります。

◆再生時の互換性

再生テープのフォーマット	DVフォーマットの機種	DVCAMフォーマットの機種
DV	再生できる	SPモードで記録されたテープのみ再生できる
DVCAM	機種によっては再生できる場合もある	再生できる

◆DV端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、再生テープと使用する機器のフォーマットによって、作成できるテープのフォーマットが異なります。ダビングのしかたによっては、そのテープを使っての再生や編集に制約が生じることがあります。あらかじめ「編集時の制約」(122ページ)をお読みになってから、ダビングを行ってください。

再生テープのフォーマット	再生機	録画機	ダビングしたテープのフォーマット
DV (SPモードのみ)	DVCAM機	DVCAM機 DV機	DVCAM ¹⁾ DV

再生テープのフォーマット	再生機	録画機	ダビングしたテープのフォーマット
DV	DV機	DVCAM機 DV機	DVCAM ¹⁾ DV
DVCAM ²⁾	DVCAM機	DVCAM機 DV機	DVCAM DV
DVCAM ²⁾	DV機 ³⁾	DVCAM機	DVCAM (機種によってはできないものもある)
		DV機	DV

- 1) DVフォーマットで記録されたテープをミニDVCAM機を使ってDVダビングすると、作成したテープの記録フォーマットは以下のようなDVCAMフォーマットになります。
 - ー タイムコードの書式の一部に不整合がある (ただし、特殊な場合を除き編集精度に影響はありません)。
- 2) 1)のようなDVCAMフォーマットのテープの場合に作成したテープは、オーディオ記録モードがアンロックモードで、タイムコードの一部に不整合があるDVCAMフォーマットのテープになります。
- 3) 機器によって再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しいDVCAMフォーマットのテープを使用しても、作成したテープはタイムコードの一部に不整合があるDVCAMフォーマットのテープになります。

ご注意

- 上記1)~3)のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機のフォーマットにかかわらず、機能に制約を生じることがあります。

◆編集時の制約

HDV/DV端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、DVCAMフォーマットとDVフォーマットの違いにより、以下の制約が生じます。

- トラック幅が違うため、DVフォーマットで記録されたテープの上にDVCAMフォーマットの機器を使って編集することはできません。
- DVCAMフォーマットの機器によっては、オーディオ記録モードがアンロックモードになっているDVCAMフォーマットのテー

プの上に編集できないことがあります。このような場合は、AV接続ケーブルを使ってダビングし直してください。

InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Lシリーズには  InfoLITHIUM  マークがついています。

◆InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター / チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター / チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

◆充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30°Cの環境で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、バッテリーを取り外してください。

◆バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10°C未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前に本機に取り付けることをおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消費しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

◆バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する⬇️マークが点滅することがあります。

◆バッテリーの保管方法について

バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

本機でバッテリーを使い切るには、カセットをいれずに電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

◆バッテリーの寿命について

バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。

寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

i.LINK (アイリンク) について

本機のHDV/DV端子はi.LINKに準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

◆i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

⚡ ご注意

i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM (DV) 対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

💡 ちょっと一言

i.LINK (アイリンク) はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

◆i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100 (最大転送速度 約100Mbps)

S200 (最大転送速度 約200Mbps)

S400 (最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビットエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

◆本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については91ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器（パーソナルコンピュータ VAIOSシリーズなど）とも接続してご使用になります。なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機には対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM (DV) 対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

⚡ ご注意

i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

◆必要なi.LINKケーブル

ソニー製のi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ← → 4ピン (HDV/DVCAM (DV) ダビング時)

i.LINK、 はソニー株式会社の商標です。

取り扱い上のご注意と お手入れ

◆使用・保管について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

異常に高温や低温になる場所

炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。

強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。

TV、ラジオやチューナーの近く

雑音が入ることがあります。

砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

ファインダーや液晶画面、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
ファインダー内部や液晶画面を傷めます。

長時間使用しないときは

3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。

◆結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起これると、[Moisture condensation. Eject the cassette.]（結露しています カセットを取り出してください）または [Moisture condensation. Turn off for 1H.]（結露しています 約1時間放置してください）と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、OPEN/EJECT つまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても、や▲が点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがあります。故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

結露が起こりやすいのは

以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

スキー場のグレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき

冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき

スコールや夏の夕立の後
温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

◆ビデオヘッドについて

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかつたり、ノイズの多い再生画像になったり、音声途切れたりします。

以下のような症状になったときは、クリーニングカセットを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

一再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青1色の画面になる。



- 一再生画面が静止する。
- 一再生画面の一部が動かない。
- 一再生画像が出ない、または音声途切れする。

録画中に [⊗] Dirty video head. Use a cleaning cassette.] (ヘッドが汚れています。クリーニングカセットを使ってください) が表示される。

ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

◆液晶パネルについて

液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。

寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。

使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

液晶パネルに指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングキットを直接液晶パネ

ルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

◆本機表面の取り扱いについて

汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。

本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。

- 一シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け・殺虫剤のような化学薬品類
- 一上記が手についたまま本機を扱うこと
- 一ゴムやビニール製品との長時間の接触

◆レンズのお手入れと保管について

レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

◆内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3ヶ月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

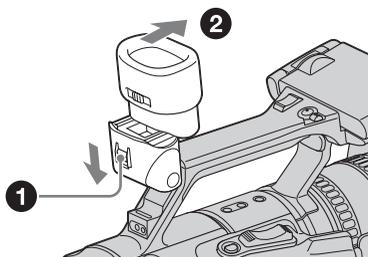
本機を別売りのACアダプター /チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッ

テリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

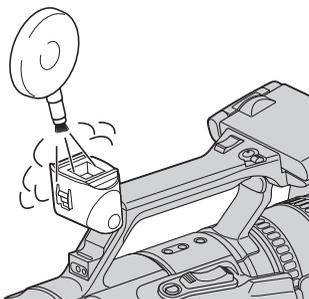
◆ファインダーのお手入れについて

1 接眼部をはずす。

- 1 ビューファインダー取りはずしスイッチを下にずらしたまま、
- 2 接眼部をずらして外す。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



主な仕様

◆システム

録画方式(HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式(DVCAM(DV))	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式(HDV)	回転2ヘッド MEPG-1 Audio Layer2 16ビット48kHz (ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式(DVCAM(DV))	回転2ヘッド 12ビットFs32kHz (チャンネル1/2、チャンネル3/4) 16ビットFs48kHz (チャンネル1/2)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式、1080/60i方式 PALカラー、CCIR標準方式、1080/50i方式
使用可能カセット	[DVCAM] マークのついたミニDVCAMカセット、 Mini [DV] マークのついたミニDVカセット
テープ速度(HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DVCAM)	約28.218mm/秒
テープ速度(DV)	SP：約18.812mm/秒
録画・再生時間(HDV)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
録画・再生時間(DVCAM)	41分 (PHDVM-63DM使用時)
録画・再生時間(DV SP)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
早送り、巻き戻し時間	約2分40秒 (PHDVM-63DM使用時)
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	6mm (1/3型) 3CCD固体撮像素子 総画素数：約112万画素 有効画素数：約107万画素
ズームレンズ	カール ツァイス パリオゾナー T* 12倍 (光学) f=4.5~54mm 35mmカメラ換算では 32.5~390mm

	(4:3では40~480) F1.6~2.8 フィルター径72mm
色温度切り換え	[AUTO]、 [ONE-PUSHA、B]、 [INDOOR] (3 200K)、 [OUTDOOR] (5 800K±7 段階)
最低被写体照度	6lx (ルクス) (F1.6)

◆入・出力端子

AUDIO/VIDEO端子	入力/出力自動切り換え 映像：1Vp-p、75Ω不平衡、 同期負 音声：327mV (47kΩ負荷 時)、入力インピーダンス 47kΩ以上、出力インピーダ ンス2.2kΩ以下
S VIDEO端子	入力/出力自動切り換え Y出力：1Vp-p、75Ω不平 衡、同期負 C出力：0.286Vp-p (バース ト/NTSC)、0.3Vp-p (バース ト/PAL)、75Ω不平衡
COMPONENT OUTPUT端子	Y：1Vp-p、75Ω不平衡 PB/PR (CB/CR)： 525mVp-p (75%カラー バー)
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック (Ø3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック (Ø2.5)
INPUT1/INPUT2端子	XLR3ピン、メス -60dBu：3kΩ +4dBu：10kΩ (0dB=0.775Vrms)
HDV/DV端子	i.LINK (IEEE1394、4ピンコ ネクター S400)

◆液晶画面

画面サイズ	8.8cm (3.5型)
総ドット数	250 000ドット 横1 120×縦224

◆電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V
消費電力 (バッテリー、外部マイク使用時)	ファインダー使用時、明るさ 標準： HDV記録時 8.0W (60Hz動 作時) * DVCAM (DV) 記録時 7.6W (60Hz動作時) * 液晶画面使用時、明るさ標 準： HDV記録時 8.5W (60Hz動 作時) * DVCAM (DV) 記録時 8.1W (60Hz動作時) * *50Hzのときは消費電力が 若干少なくなります。
動作温度	0°C~+40°C
保存温度	-20°C~+60°C
外形寸法	163×194×365mm (幅×高さ×奥行き) (最大突 起部を除く)
本体質量	約 2.1kg (レンズキャップ付 きフード含む)
撮影時総質量	約2.4kg (バッテリー NP-F970、テー プ (PHDVM-63DM)、レン ズキャップ付きフード含む)
付属品	16ページをご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

◆保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

◆アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーのお問い合わせ窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

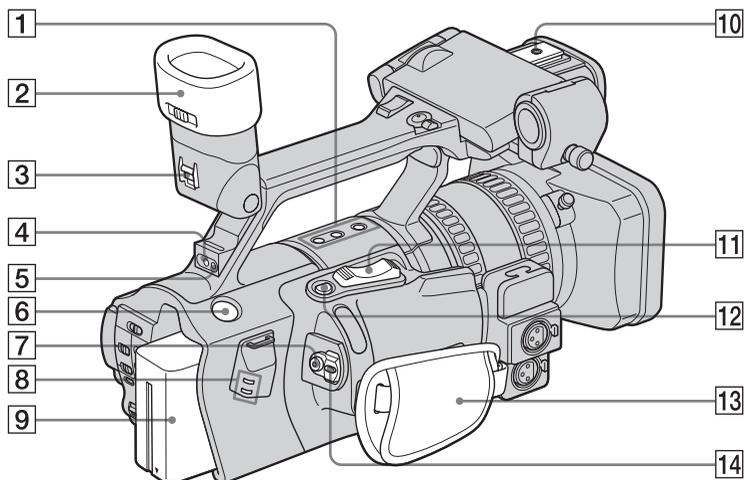
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

各部のなまえ

本体



1 SHOT TRANSITION操作部 (45ページ)

2 アイカップ (22ページ)

3 ビューファインダー取りはずしスイッチ (128ページ)

4 後部リモコン受光部

5 後部録画ランプ (25ページ)

6 BATT RELEASEボタン (18ページ)

7 REC START/STOPボタン (25ページ)

8 i.LINKランプ (94、97ページ)
i.LINK信号を扱う場合に点灯します。

9 バッテリーパック (17ページ)

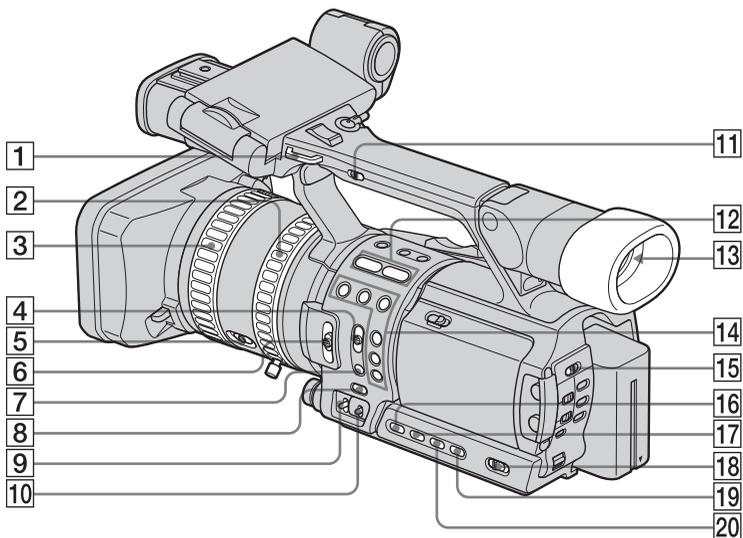
10 シューアダプター取り付け部 (136ページ)

11 ズームレバー (27ページ)

12 EXPANDED FOCUSボタン (38ページ)

13 グリップベルト (4ページ)

14 POWERスイッチ (20ページ)



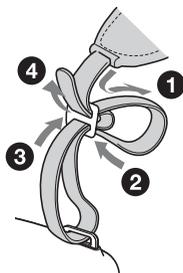
- 1 ショルダーストラップ取り付け部 (132ページ)
- 2 ズームリング (28ページ)
- 3 フォーカスリング (37ページ)
- 4 FOCUSスイッチ (AUTO/MAN/INFINITY) (37ページ)
- 5 ZOOMスイッチ (28ページ)
- 6 ND FILTERスイッチ (1/2/OFF) (35ページ)
- 7 PUSH AUTOボタン (37ページ)
- 8  (one-push) WHT BALボタン (31ページ)
- 9 GAINスイッチ (H/M/L) (34ページ)
- 10 WHT BALスイッチ (A/B/PRESET) (32ページ)
- 11 ハンドルズーム切換スイッチ (H/L/OFF) (28ページ)
- 12 フォーマットランプ (25ページ)
- 13 ファインダー (21ページ)
- 14 ASSIGNボタン* (1~6) (89ページ)
- 15 ZEBRA/PEAKINGスイッチ (36、39ページ)
- 16 IRISボタン (33ページ)
- 17 GAINボタン* (34ページ)

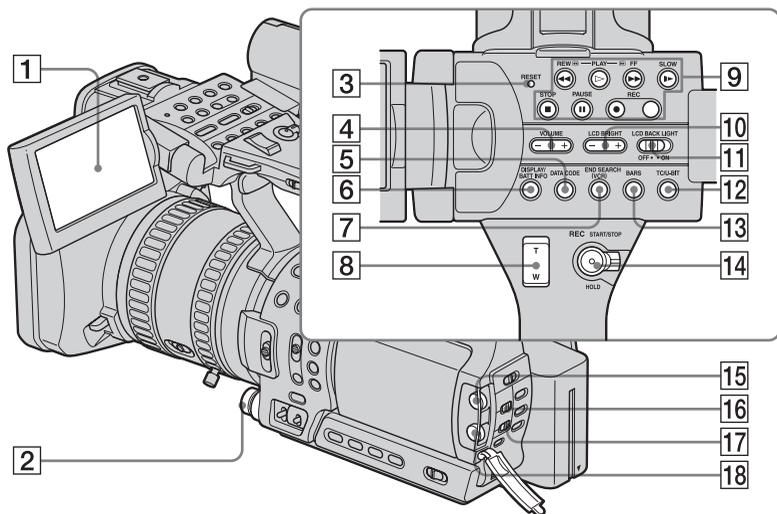
- 18 AUTO LOCKスイッチ (31、33、35ページ)
- 19 WHT BALボタン (31ページ)
- 20 SHUTTER SPEEDボタン (35ページ)

* ASSIGN 2・5ボタン、GAINボタンに凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

◆ショルダーストラップ (別売り) を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。

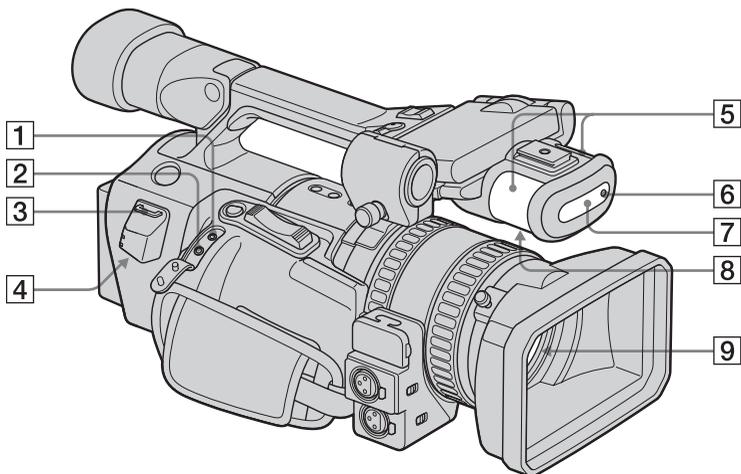




- 1 液晶画面 (4、21ページ)
- 2 IRISダイヤル (33ページ)
- 3 RESETボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、パーソナルメニューやピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。
- 4 VOLUME-/+ボタン* (53ページ)
- 5 DATA CODEボタン (56ページ)
- 6 DISPLAY/BATT INFOボタン (18、55ページ)
- 7 END SEARCH (VCR) ボタン (55ページ)
- 8 ハンドルズームレバー (28ページ)
- 9 ビデオ操作ボタン (REW・PLAY*・FF・PAUSE・STOP・SLOW・REC) (53ページ)
- 10 LCD BRIGHT-/+ボタン (21ページ)
- 11 LCD BACKLIGHTスイッチ (21ページ)
- 12 TC/U-BITボタン (105ページ)
- 13 BARSボタン (27ページ)
- 14 REC START/STOPボタン・HOLDレバー (26ページ)

- 15 AUDIO LEVEL CH1ダイヤル (42ページ)
- 16 AUDIO SELECT CH1スイッチ (42ページ)
- 17 AUDIO SELECT CH2スイッチ (42ページ)
- 18 AUDIO LEVEL CH2ダイヤル (42ページ)

* VOLUME+ボタン、PLAYボタンに凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。



1  LANC端子（青色）

 LANC端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

（ヘッドホン）端子

ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものを使ってください。ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

ショルダーストラップ取り付け部（132ページ）

 HDV/DV端子（57、91、92、95、96、98ページ）

内蔵ステレオマイク（100ページ）

前部録画ランプ（25ページ）

前部リモコン受光部

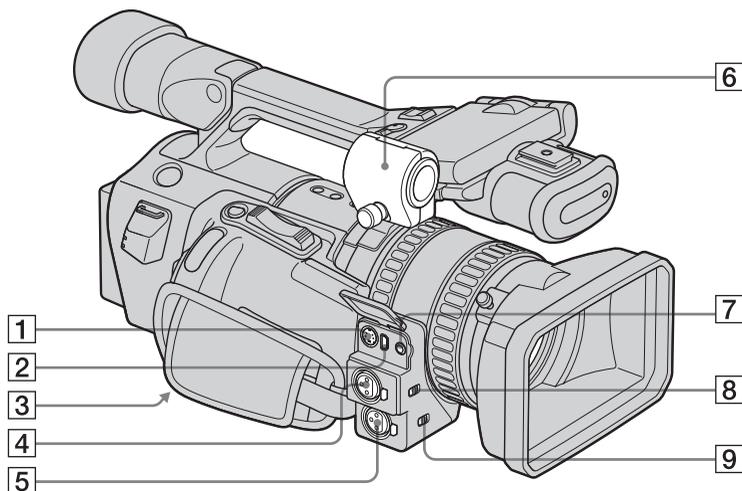
スピーカー

レンズ（カール ツァイスレンズ搭載）

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質が管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。



S VIDEO端子 (57、59、93、96ページ)

COMPONENT OUTPUT端子 (57、59ページ)

三脚用ネジ穴

三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm以下のものを使ってください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷付けることがあります。

INPUT 1端子 (XLR) (43、100ページ)

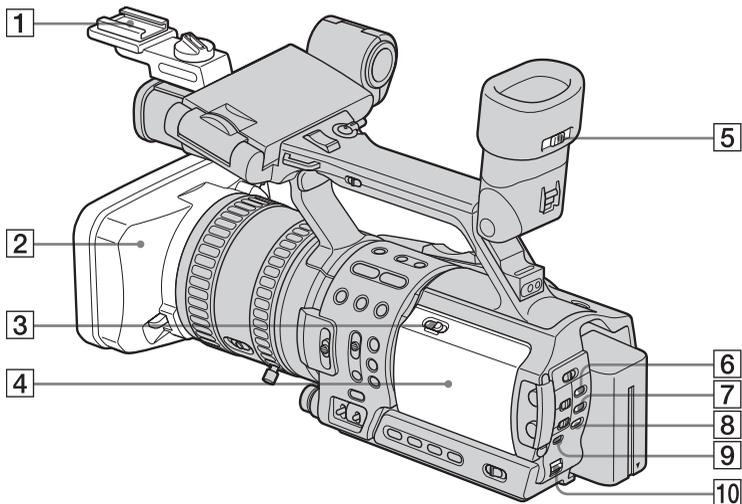
INPUT 2端子 (XLR) (43、100ページ)

外部マイク取り付け部 (43ページ)

AUDIO/VIDEO端子 (57、59、93、96、100ページ)

INPUT 1用PHANTOM電源スイッチ (44ページ)

INPUT 2用PHANTOM電源スイッチ (44ページ)



シューアダプター

アクセサリを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。アクセサリを取り外すときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながら外してください。シューアダプターを取り付けるとき、液晶パネルを傷つけないようにご注意ください。

レンズキャップ付きフード (25ページ)

OPEN/EJECT* つまみ (24ページ)

カセットカバー

視度調整つまみ (21ページ)

PICTURE PROFILEボタン (39ページ)

MENUボタン (62ページ)

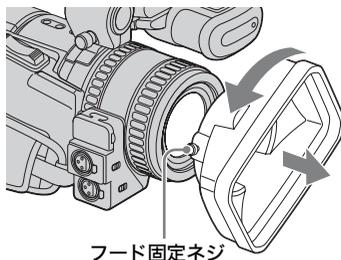
P-MENUボタン (85ページ)

STATUS CHECKボタン (29、56ページ)

SEL/PUSH EXECダイヤル (62ページ)

◆レンズキャップ付きフードを取り外すには

フード固定ネジをゆるめ、矢印の方向に回す。

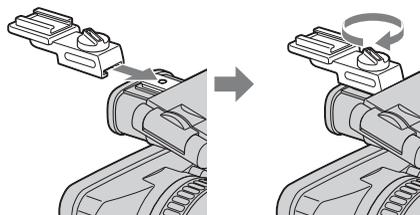


フード固定ネジ

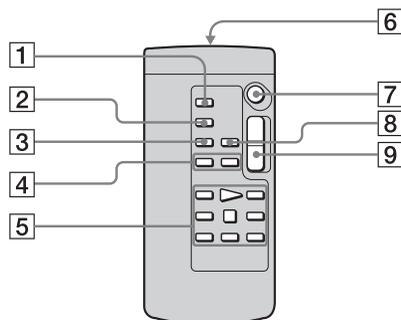
取り付けるには

本体とフードの印を合わせて、上図の矢印と反対方向に回す。フード固定ネジを締める。

◆シューアダプターを取り付けるには



ワイヤレスリモコン



EXECボタン (103ページ)

DISPLAYボタン (55ページ)

SEARCH MODEボタン (60ページ)

◀▶ボタン (60ページ)

ビデオ操作ボタン (REW・PLAY・FF・
PAUSE・STOP・コマ送り・SLOW・倍
速) (53ページ)

リモコン発光部

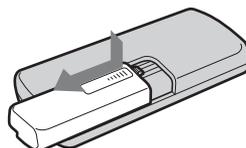
REC START/STOPボタン (25ページ)

DATA CODEボタン (56ページ)

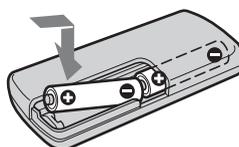
ズームボタン (27ページ)

◆電池を入れるには

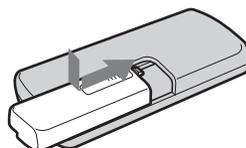
1 電池蓋を、押しながらずらさず。



2 +と-を確認して、乾電池を入れる。



3 電池蓋を元に戻す。「カチッ」と音がする
まで差し込む。



⚡ リモコンについてのご注意

本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。

コンバージョンレンズ (別売り) を付けていると、リモコン受光部をさまたげ、リモコンが正しく動作しないことがあります。

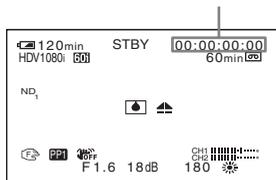
付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

撮影中や再生中、下記の表示やアイコンが出ます。() 内は参照ページです。

例：POWERスイッチが「CAMERA」のとき

タイムコード/ユーザービット (26) /テープ
カウンター (55) /自己診断 (114)



表示	意味
120min	バッテリー残量 (26)
HDV1080i、 DVCAM	録画フォーマット (25)
STBY/REC	撮影スタンバイ/撮影中
ND ₁ 、ND ₂ 、 ND _{OFF}	NDフィルター (35)
4:3	4:3テレビモード
32k、48k	音声モード (70、119) *
60min	テープ残量 (26)
	コマ撮り (68) *
A/V→DV	A/V→DV出力 (78) *
50i、60i	50i/60i表示 (84)
HDV/DVIN	HDV入力/DV入力 (97)
	警告 (114)
	手動フォーカス (37)
	逆光補正 (30)
	スポットライト (31)
	プリセットホワイトバ ランス (32)
A、 B	ワンプッシュホワイトバ ランス (31)
CLOSE	絞りが閉じている状態 (56)
	手ぶれ補正 切 (65、90)

表示	意味
	液晶画面バックライト 切 (21)
PP1 ~ PP6	ピクチャープロファイル (39)
	インデックス打ち込み (50)
	カラーコレクション (47)
EXT 、 EXT	外部RECコントロール (51)
HYPER	ハイパーゲイン (90)
OVERRIDE	AEオーバーライド (90)
2/2-ST	4CHマイク記録 (112) *

DV規格のみ表示されます。

索引

ア行

アイリス	33
アフレコ	100
インデックスサーチ	61
インデックス信号	50
インフォリチウム	
バッテリー	123
液晶画面	
明るさ	21
LCD BL LEVEL	73
LCD COLOR	73
エンドサーチ	55
大型アイカップ	22
おしらせブザー	81
お知らせメッセージ	114
音声ミックス	102
音量	53

カ行

海外使用	118
外部 REC コントロール	51
拡大フォーカス	38
カスタマイズ	85
カセット	24
カメラ明るさ調節	30
カメラデータ	56
画面表示	138
画面表示出力	55
カラーコレクション (COLOR CORRECT)	47
カラーテレビ方式	118
カラーバー	27
乾電池	137
逆光補正	30
クリーニングカセット	127
グリップベルト	4
警告表示	114
ゲイン	34
結露	126
広角	
ズームを参照	
高速アクセス	54
誤消去防止	120
コンポーネントビデオ	
ケーブル	57, 59

サ行

再生	
倍速再生	54
逆方向再生	54
コマ送り	54
スロー再生	54
再生時間	19
撮影時間	18
残量	
テープ	26
自己診断表示	114
絞り	33
シャッタースピード	35
シューアダプター	136
充電	17
手動ピント合わせ	37
ショットトランジション	45
ズーム	27
ズームリング	28
ステータスチェック	29, 56
スポットライト	31
接続コード	19
ゼブラパターン	36
ゼブラレベル	36
操作音	
BEEP を参照	

タ行

タイムコード	26, 103
タイムデータ	103
対面撮影	29
ダビング	91
つなぎ撮り	
エンドサーチを参照	
データコード	56
テープカウンター	55
テープ残量	
REMAINING を参照	
デジタル変換機能 (A/V→DV OUT)	78, 106

ナ行

日時あわせ	22
-------	----

ハ行

パーソナルメニュー	85
パソコン接続	98
バッテリー	
バッテリーインフォ	18
バッテリー残量表示	
26, 124	
バッテリーバック	17
ピーキング	39
ピクチャーサーチ	54
ピクチャープロファイル	39
日付サーチ	60

日付・時刻	22, 56
ビデオヘッド	127
ピント合わせ	37
ファインダー	
お手入れ	128
視度調節	21
VF B.LIGHT	73
VF COLOR	73
VF POWER	73
フェーダー	49
ヘッドホン端子	134
望遠	
ズームを参照	
ホワイトバランス	31

マ行

マイク音レベル	42
満充電	18
メニュー	
使いかた	62
AUDIO SET	69
CAMERA SET	63
IN/OUT REC	74
LCD/VF SET	73
OTHERS	81
TC/UB SET	79

ヤ行

ユーザービット	104
---------	-----

ラ行

リセットボタン	133
リモコン発光部	137
レックレビュー	52
レンズキャップ付き	
フード	136
ローアングル撮影	26

ワ行

ワイヤレスリモコン	137
-----------	-----

A

AE OVERRIDE	90
AE RESPONSE	65
AE SHIFT	40
AF ASSIST	65
AGC LIMIT	40
ALLSCAN MODE	90
ASSIGN BTN	89
ASSIGN 機能	89
AT IRIS LMT	40
ATW SENS	40
AUDIO LIMIT	70
AUDIO LOCK	70, 77
AUDIO MIX	69

AUDIO MODE.....	70
AUDIO MONI.....	69
AUDIO OUTPUT.....	69
AV 接続ケーブル	
... 57, 59, 93, 96, 100, 106	

B

BARS TYPE.....	67
BEEP.....	81
BLACK FADER.....	49
BLACK STRTCH.....	40

C

CINEFRAME.....	41
CINEMATONE γ	41
CLOCK SET.....	22
COLOR LEVEL.....	40
COLOR PHASE.....	40
COMPONENT.....	77
COMPONENT VIDEO	
端子.....	57, 59

D

DATA CODE.....	82
DATE REC.....	83
DISP OUTPUT.....	83
DOWN CONVERT.....	78
DRUM RUN.....	83
DVCAM	
REC MODE を参照	
DV WIDE REC.....	76
DV SP	
REC MODE を参照	

E

EDGE CROP.....	78
EXP. FOCUS.....	83
EXT REC CTRL.....	51

F

FLCKR REDUCE.....	66
FORMAT LAMP.....	82
FRAME REC.....	68

G

GAIN SETUP.....	63
-----------------	----

H

HANDLE ZOOM.....	67
HDV 規格.....	3, 119, 121
HDV→DV CONV.....	77
HOURS METER.....	83

HYPER GAIN.....	90
-----------------	----

I

INPUT1 LEVEL.....	71
INPUT1 TRIM.....	72
INPUT1 WIND.....	72
INPUT2 LEVEL.....	72
INPUT2 TRIM.....	72
INPUT2 WIND.....	72
INT MIC SENS.....	71
INT MIC SET.....	71
INT MIC WIND.....	71
IRIS DIAL.....	82
i.LINK.....	125
i.LINK CONV.....	77
i.LINK ケーブル	
57, 91, 92, 95, 96, 98, 106	

L

LANC 端子.....	134
LANGUAGE.....	81
LETTER BOX.....	78
LETTER SIZE.....	82

M

MARKER.....	66
MARKER SEL.....	66
MIC NR.....	70
MIC SELECT.....	70
MPEG2.....	3

N

ND フィルター.....	35
NTSC.....	118

O

OPERATION.....	83
----------------	----

P

PEAKING.....	65
--------------	----

Q

QUICK REC.....	81
----------------	----

R

REC FORMAT.....	75
REC LAMP.....	82
REC MODE.....	75
REMAINING.....	82
REMOTE CTRL.....	83

S

SETUP.....	67
SHARPNESS.....	40
SHOT TRANS.....	64
SKINTONE DTL.....	40
SKINTONE LVL.....	40
SQUEEZE.....	78
START TIMER.....	64
STDYSHOT TYP.....	65
STEADY SHOT.....	65
S1 映像端	
..... 57, 59, 93, 96, 106	

T

TAPE RUN.....	83
TC FORMAT.....	79
TC MAKE.....	79
TC PRESET.....	103
TC RUN.....	79
THREADING.....	83
TRANS CURVE.....	64
TRANS TIME.....	64

U

UB PRESET.....	105
UB TIME REC.....	80

V

VCR HDV/DV.....	74
-----------------	----

W

WB OUTDR LVL.....	63
WB PRESET.....	63
WB SHIFT.....	40
WHITE FADER.....	49
WORLD TIME.....	81

X

XLR AGC LINK.....	71
XLR CH SEL.....	71
XLR SET.....	71
XLR コネクター.....	44

Z

ZEBRA LEVEL.....	36
------------------	----

Numerics

50i/60i SEL.....	84
------------------	----

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan



2514606060